

淀川水系(琵琶湖分会)

流域治水プロジェクトの 進捗状況について

R7年度の流域治水プロジェクト個票の一覧表【琵琶湖(滋賀県)】

進捗度合	進捗度合の目安
予定なし	実施する予定にない
計画段階	実施内容等について検討中
準備段階	計画済みで、実施に向けて準備中
実施中	実施中である
概ね完了	完了間近である
完了	完了した

青字:修正、追加 黄色着色:新規事業

構成員	区分 (大項目)	対策内容 (中項目)	内容 (小項目)	事業名	個票 ページ	R7年度進捗度合				
						R6年度	R7年度	R8年度 (予定)	R9年度 (予定)	
国土交通省 琵琶湖河川事務所	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水氾濫対策	河川整備	瀬田川鹿跳溪谷改修事業	1	準備段階	実施中	実施中	実施中	
		まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	水害リスクマップの作成	水害リスク情報の活用(水害リスクマップ)	2	実施中	完了			
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	自治会や小学校等での水害出前講座の実施	自治会や小学校等での水害出前講座	3	実施中	実施中	実施中	実施中	
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラの設置と情報共有	4	実施中	実施中	実施中	実施中	
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	水防団や地域住民が参加する、洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	水防団や地域住民が参加する、洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	5	実施中	実施中	実施中	実施中	
		避難体制等の強化	マイタイムラインの作成	マイタイムラインの普及・啓発	6	実施中	実施中	実施中	実施中	
		関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	河川防災ステーション(水防拠点)整備	MIZBESTステーション(水防拠点)整備	7	準備段階	実施中	実施中	実施中	
		関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	被災自治体に対する支援	被災自治体に対する支援	8	実施中	実施中	実施中	実施中	
		インフラDX等の新技術の活用	3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化	三次元管内図の活用による河川管理業務の効率化及び高度化	9	実施中	実施中	実施中	実施中	
		インフラDX等の新技術の活用	ドローンの活用	ドローンを活用した巡視の効率化	10	実施中	実施中	実施中	実施中	
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	ヨシ帯再生	ヨシ帯再生	11	実施中	実施中	実施中	実施中		
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	かわまちづくり	野洲市MIZBESTステーションかわまちづくり	7	準備段階	実施中	実施中	実施中		
国土交通省 大戸川ダム工事事務所	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	ダム整備	大戸川ダム建設事業	12	実施中	実施中	実施中	実施中	
水資源機構 琵琶湖総合管理所	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	内水氾濫対策	琵琶湖沿岸の内水排除	内水排除対策	13	実施中	実施中	実施中	実施中	
		自然環境が有する多様な機能活用の取組み	地域や小中学校と連携した環境学習	お魚里帰り大作戦	14	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備	広域河川改修事業・総合流域防災事業	15	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備	大規模特定河川事業	16	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備	障害防止対策事業	17	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備	単独河川改良事業	18	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川環境保全	みずべ・みらい再生事業	19	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	ダム改良	ダム環境改良事業	20	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流水の貯留機能の拡大	ダムの事前放流	治水ダムにおける事前放流	21	実施中	実施中	実施中	実施中	
		土砂災害対策	砂防施設整備	砂防閘施設整備事業	22	実施中	実施中	実施中	実施中	
滋賀県 流域政策局	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	浸水警戒区域指定による建築規制	浸水警戒区域の指定	23	実施中	実施中	実施中	実施中	
		水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	浸水警戒区域内での嵩上げ等安全な住まいの支援	宅地の嵩上げ、避難場所整備への助成	24	実施中	実施中	実施中	実施中	
		水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	盛土構造物の設置等に対する配慮	盛土構造物の設置等に対する配慮	25	実施中	実施中	実施中	実施中	
		まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	地先の安全度マップによる想定浸水深等の公表、更新	想定浸水深等(地先の安全度マップ)の設定、公表	26	実施中	実施中	実施中	実施中	
		水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	土砂災害警戒区域等の指定	土砂災害警戒区域等の指定	27	実施中	実施中	実施中	実施中	
		土地の水災害リスク情報の充実	地先の安全度マップによる想定浸水深等の公表、更新	想定浸水深等(地先の安全度マップ)の設定、公表	26	実施中	実施中	実施中	実施中	
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	情報基盤総合整備事業	28	実施中	実施中	実施中	実施中	
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	中小河川の洪水浸水想定区域図の作成、公表	29	実施中	実施中	完了	完了	
		避難体制等の強化	水害に強い地域づくりの取組	水害・土砂災害に強い地域づくりの取組	30	実施中	実施中	実施中	実施中	
		土地の水災害リスク情報の充実	水害履歴調査結果の公表	水害履歴調査の実施	31	実施中	実施中	実施中	実施中	
グリーンインフラの取組	避難体制等の強化	要配慮者利用施設における避難計画等の策定支援	要配慮者利用施設に対する支援	32	実施中	実施中	実施中	実施中		
	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	不動産取引における水害リスクの情報提供	不動産取引における水害リスクの情報提供	33	実施中	実施中	実施中	実施中		
	治水対策における多自然川づくり	樹木管理	河畔林の適正な維持管理	34	実施中	実施中	実施中	実施中		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	地域や小中学校と連携した環境学習	ピートープ自然観察会	36	実施中	実施中	実施中	実施中		
	全域に係る取組み	水辺空間創出への連携・支援	在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究	37	実施中	実施中	実施中	実施中		
	治水対策における多自然川づくり	良好な景観形成	緑の斜面(沖島)	38	完了	完了				
	治水対策における多自然川づくり	良好な景観形成	緑の環境(枝江支川支流環境)	39	完了	完了				
	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設の整備	グリーンインフラ活用型都市構想支援事業	40	実施中	完了	完了	完了		
	滋賀県 都市計画課	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	宅地嵩上げ	土地区画整理事業	41	実施中	実施中	実施中	実施中
			水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	災害ハザードからの移転	都市構造再編成支援事業	42	実施中	実施中	実施中	実施中
水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫			災害ハザードからの移転	防災集団移転促進事業	43	実施中	実施中	実施中	実施中	
水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫			立地適正化計画策定、集約都市形成等の支援	集約都市(コンパクトシティ)形成支援事業	44	実施中	実施中	実施中	実施中	
水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫			都市計画の決定または変更	区域区分に関する都市計画の決定または変更	45	実施中	実施中	実施中	実施中	
安全な避難先の確保			避難先、避難場所等の整備	都市防災総合推進事業	46	実施中	実施中	実施中	実施中	
安全な避難先の確保			避難先、避難場所等の整備	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	47	実施中	実施中	実施中	実施中	
インフラDX等の新技術の活用			3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化	都市空間情報デジタル基盤構築支援事業	48	実施中	実施中	実施中	実施中	
自然環境が有する多様な機能活用の取組み			地域や小中学校と連携した環境学習	県民との共同による森づくり	49	実施中	実施中	実施中	実施中	
全域に係る取組み			水辺空間創出への連携・支援	みどりやみずへの特来ビジョン	50	実施中	実施中	実施中	実施中	
滋賀県 道路課	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留浸透施設の設置	地下浸透対策(歩道の透水性舗装)	51	実施中	実施中	実施中	実施中	
		内水氾濫対策	流域下水道(雨水)管渠の整備	琵琶湖流域下水道守山東栗雨幹線	52	完了	完了	完了	完了	
滋賀県 下水道課	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	内水浸水リスクマネジメント推進事業	琵琶湖流域下水道守山東栗雨幹線(雨水出水浸水想定区域図)	53	実施中	完了	完了	完了	
		自然環境が有する多様な機能活用の取組み	水質浄化	市街地排水浄化対策事業	54	実施中	実施中	実施中	実施中	
滋賀県 森林保全課	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	流域の雨水貯留機能の向上	治山対策	補助治山事業、農山漁村地域整備交付金	55	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	森林の整備・保全	森林整備事業	56	実施中	実施中	実施中	実施中	
滋賀県 琵琶湖保全再生課	グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生、治水対策における多自然川づくり、自然環境が有する多様な機能活用の取組み	内湖再生、ヨシ帯再生、連続性を確保する整備、地域や小中学校と連携した環境学習	早崎内湖再生事業	57	実施中	実施中	実施中	実施中	
		避難体制等の強化	防災士の養成支援	防災士養成講座の開催	58	実施中	実施中	実施中	実施中	
滋賀県 防災危機管理課	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	避難行動要支援者の個別避難計画の策定支援	防災と保健・福祉の連携モデル構築事業	59	実施中	実施中	実施中	実施中	
		避難体制等の強化	地区防災計画の策定支援	地区防災計画策定推進モデル事業	60	実施中	実施中	実施中	実施中	
滋賀県 農政水産部	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	流域の雨水貯留機能の向上	避難行動に資する情報発信等の充実	「生活防災」の実証促進および逃げ遅れゼロ実現事業	61	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	ため池整備	多面的機能支払交付金(県事業名:世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策)	64	実施中	実施中	実施中	実施中	
近畿農政局	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	流水の貯留機能の拡大	ダムの事前放流(犬上川ダム)	農業者ダムにおける事前放流等	63	実施中	実施中	実施中	実施中	
		全域に係る取組み	農地・農業水利施設の整備・保全	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策	64	実施中	実施中	実施中	実施中	
近畿中国森林管理員 滋賀森林管理署	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	流域の雨水貯留機能の向上	森林の整備・保全、治山対策	森林整備事業、治山事業	69、70	実施中	実施中	実施中	実施中	
		全域に係る取組み	森林整備	森林整備事業、治山事業	71	実施中	実施中	実施中	実施中	
気象庁 産根地方気象台	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	地域の防災力向上の支援	地域防災支援業務の推進	72	実施中	実施中	実施中	実施中	

進捗度合	進捗度合の目安
予定なし	実施する予定にない
計画段階	実施内容等について検討中
準備段階	計画済みで、実施に向けて準備中
実施中	実施中である
概ね完了	完了前近である
完了	完了した

青字：修正、追加 黄色着色：新規事業

構成員	区分 (大項目)	対策内容 (中項目)	内容 (小項目)	事業名	備考 ページ	R7年度進捗度合				
						R6年度	R7年度	R8年度 (予定)	R9年度 (予定)	
国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター 近畿北陸整備局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	森林の整備・保全	流域における対策	73	実施中	実施中	実施中	実施中	
大津市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	雨水渠整備事業	74	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地の保全	都市農地の多面的機能の発揮	75	準備段階	準備段階	準備段階	準備段階	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金	76	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	ため池整備・保全、治水利用	農業用ため池の防災対策	77	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留透透施設の設置助成	雨水貯留タンク・ますの設置	78	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害対象を減少させるための対策	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	立地適正化計画の作成	立地適正化計画の作成	79	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ハザードマップの作成・全戸配布	80	実施中	実施中	実施中	実施中	
	グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	ヨシ帯再生	ヨシ保全事業	81	実施中	実施中	実施中	実施中	
		治水対策における多自然川づくり	多自然型護岸工・環境護岸工	多自然型護岸工・環境護岸工	82	実施中	実施中	実施中	実施中	
		自然環境が有する多様な機能活用の取組み	地域や小中学校と連携した環境学習	大津子ども環境探偵団	83	実施中	実施中	実施中	実施中	
内水氾濫対策		公共下水道(雨水)管渠等の整備	公共下水道事業による雨水幹線の整備	84	実施中	実施中	実施中	実施中		
洪水氾濫対策		河川整備	市管理河川単独整備事業	85	完了	完了	完了	完了		
彦根市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設の整備	雨水流出抑制施設の設置	86	実施中	実施中	実施中	実施中	
		まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	内水浸水リスクマネジメント推進事業	公共下水道事業による雨水管理計画の策定	87	実施中	概ね完了	完了	完了	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ハザードマップ作成事業	88	完了	完了	完了	完了	
	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区)	89	完了	完了	完了	完了	
		内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	長浜公共下水道(雨水)事業(高月第3排水区)	90	実施中	実施中	実施中	実施中	
洪水氾濫対策		河川整備	単独河川改良事業	90, 91	完了	完了	完了	完了		
被害対象を減少させるための対策	流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	93	実施中	実施中	実施中	実施中		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	ハザードマップの作成	総合防災マップの作製	97	完了	準備段階	概ね完了	完了		
長浜市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	長浜公共下水道(雨水)事業(高月第3排水区)	90	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備	単独河川改良事業	90, 91	完了	完了	完了	完了	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	93	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	農業生産活動の維持	中山間地域等直接支払交付金事業	94	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備活動	河川愛護活動事業	95	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害対象を減少させるための対策	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	内水浸水リスクマネジメント推進事業	雨水出水浸水想定区域図の作成	96	実施中	実施中	完了	完了	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	総合防災マップの作製	97	完了	準備段階	概ね完了	完了	
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	ドローンを活用した災害状況の確認	ドローンを活用した災害支援活動等「災害連携協定」の締結	98	完了	完了	完了	完了		
	近江八幡市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護事業	99	実施中	実施中	実施中	実施中
			内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	公共下水道事業による雨水管理総合計画の策定	100	概ね完了	概ね完了	完了	完了
被害対象を減少させるための対策		水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	立地適正化計画の作成	立地適正化計画の作成	101	完了	完了	完了	完了	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ハザードマップ作成(水害、土砂災害)	102	完了	完了	実施中	完了	
草津市		氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	公共下水道(雨水)整備事業	103	実施中	実施中	実施中	実施中
	洪水氾濫対策		河川整備	市内河川改修工事	104	実施中	実施中	実施中	実施中	
	洪水氾濫対策		河川愛護活動	河川愛護活動	105	実施中	実施中	実施中	実施中	
	流域の雨水貯留機能の向上	調整池整備	調整池の整備	106	実施中	実施中	実施中	実施中		
	被害対象を減少させるための対策	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	内水浸水リスクマネジメント推進事業	雨水出水浸水想定区域図の作成	107	実施中	完了	完了	完了	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	水害・土砂災害	-	完了				
守山市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動	108	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	109	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害対象を減少させるための対策	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	立地適正化計画の作成	立地適正化計画の作成	110	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	防災マップの作製	111	完了	完了	完了	完了	
	栗東市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	雨水幹線の整備	112	実施中	実施中	実施中	実施中
まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実			内水浸水リスクマネジメント推進事業	雨水出水浸水想定区域図の作成	113	実施中	実施中	実施中		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	総合防災マップの作成	114	実施中	実施中	実施中	実施中	
甲賀市		氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業、河川防災活動事業	115	実施中	実施中	実施中	実施中
	内水氾濫対策		公共下水道(雨水)管渠等の整備	公共下水道(雨水)管渠等の整備	116	実施中	実施中	実施中	実施中	
	流域の雨水貯留機能の向上		農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	117	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害対象を減少させるための対策	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	立地適正化計画の作成	立地適正化計画の作成	120	実施中	実施中	実施中	実施中	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	甲賀市宅地嵩上げ浸水対策促進事業	121	実施中	実施中	実施中	実施中	
		ため池ハザードマップの作成	ため池ハザードマップ作成	甲賀市防災マップ作成事業	122	実施中	完了	完了	完了	
甲賀市防災マップ作成事業		甲賀市防災マップ作成事業	JR野洲駅前浸水対策事業	123	実施中	実施中	実施中	実施中		
野洲市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	公共下水道(雨水)管渠等の整備	124	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	125	実施中	実施中	実施中	実施中	
		まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	内水浸水リスクマネジメント推進事業	公共下水道事業による雨水管理総合計画の策定	126	実施中	完了			
		関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	河川防災ステーション(水防拠点)整備	MIZBEステーション(水防拠点)整備	127	実施中	実施中	実施中	実施中	
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	浸水センサー、カメラによる中小河川の状況把握	128	実施中	実施中	実施中	実施中	
	グリーンインフラの取組	魅力ある水辺空間・賑わい創出	野洲市MIZNEステーションかわまちづくり	かわまちづくり	127	実施中	実施中	実施中	実施中	
		自然環境の保全・復元などの自然再生、治水対策における多自然川づくり	希少種保全(ビワマスの遡上・繁殖環境の整備)	栗塚川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト	130	実施中	実施中	実施中	実施中	
		自然環境の保全・復元などの自然再生、自然環境が有する多様な機能活用の取組み	ヨシ帯再生、地域や小中学校と連携した環境学習	ヨシ群落再生事業	131	実施中	実施中	実施中	実施中	
		内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	浸水対策事業による雨水幹線整備	132	完了	完了	完了	完了	
		内水氾濫対策	農業用水路の整備	浸水対策事業による用水路整備	133	準備段階	実施中	実施中	実施中	
湖南市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川整備	河川愛護活動事業	134	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金(世代をつなぐ農村まるごと保全型対策交付金)	135	実施中	実施中	実施中	概ね完了	
		被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	総合防災マップの作成と利活用	136	実施中	実施中	実施中	準備段階
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	137	実施中	実施中	実施中	実施中	
		洪水氾濫対策	河川整備	普通河川整備事業	138	実施中	実施中	実施中	実施中	
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	139	実施中	実施中	実施中	実施中	
高島市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	農業生産活動の維持	中山間地域等直接支払交付金事業	140	実施中	実施中	実施中	実施中	
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	防災ハザードマップの作成・啓発	141	実施中	実施中	実施中	実施中	
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	河川防災カメラによる状況把握	142	実施中	実施中	実施中	実施中	
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	防災情報システムの導入、河川への監視体制および災害対応の強化	高島市総合防災情報システムによる状況把握	143	準備段階	実施中	実施中	実施中	
	グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生、自然環境が有する多様な機能活用の取組み	ヨシ帯再生、地域や小中学校と連携した環境学習	ヨシ群落保全事業	144	実施中	実施中	実施中	実施中	
		自然環境が有する多様な機能活用の取組み	多様な主体の参画による外来生物の駆除	特定外来水生植物除去事業	145	実施中	実施中	実施中	実施中	
		自然環境が有する多様な機能活用の取組み	固有種産卵繁殖場の保全	産卵繁殖場保全事業	146	実施中	実施中	実施中	実施中	

進捗度合	進捗度合の目安
予定なし	実施する予定にない
計画段階	実施内容等について検討中
準備段階	計画済みで、実施に向けて準備中
実施中	実施中である
概ね完了	完了前近である
完了	完了した

青字：修正、追加 黄色着色：新規事業

構成員	区分 (大項目)	対策内容 (中項目)	内容 (小項目)	事業名	備考 ページ	R7年度進捗度合			
						R6年度	R7年度	R8年度 (予定)	R9年度 (予定)
東近江市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	147	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留浸透施設の設置	雨水浸透槽設置事業(股込槽の設置)	148	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金	149	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	調整池整備	開発区域内における調整池等流出抑制施設の設置(都市計画法第33条第1項第3号関連)	150	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	林業の担い手育成支援	林業従事者就業育成事業	151	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	森林業の集約化支援	農業集約化促進組織支援事業	152	完了	完了	完了	完了
	被害対象を減少させるための対策	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	輪中堤整備	向田川排水対策築堤事業	153	完了	完了	完了	完了
		水害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の運用	集約都市形成支援事業(立地適正化計画)	154	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	避難行動に資する情報発信等の充実	利水ダム操作情報の伝達	155	実施中	実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	土のうステーションの設置による水防体制の強化	共助・自動の補助事業(土のうステーションの設置)	156	実施中	実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	河川カメラによる状況把握	157	実施中	実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	水防団や地域住民が参加する、洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	重要水防区域の河川ハトロール	158	実施中	実施中	実施中	実施中
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ハザードマップ作成事業	159	完了	完了	完了	完了
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	防災マップ普及啓発事業	160	実施中	実施中	実施中	実施中
		内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	内水氾濫対策	161	実施中	実施中	実施中	実施中
		洪水氾濫対策	河川愛護活動	内水氾濫対策	162	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	調整池整備	流域の雨水貯留機能の向上	163	完了	完了	完了	完了
		流域の雨水貯留機能の向上	雨水パイプ管整備	流域の雨水貯留機能の向上	164	完了	完了	完了	完了
米原市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	浸水警戒区域内での嵩上げ等安全な住まい方の支援	水害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	165	実施中	実施中	実施中	実施中
		まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	内水浸水リスクマネジメント推進事業	下水道浸水被害軽減総合事業	166	実施中	実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	土のう袋配布、姉川ダム管理講習	洪水氾濫対策	167	実施中	実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	内水排除に関する情報交換会	洪水氾濫対策	168	実施中	実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	洪水氾濫対策	169	完了	完了	完了	完了
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	避難体制等の強化	170	完了	完了	完了	完了
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	避難行動要支援者の個別避難計画の策定支援	避難体制等の強化	171	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	地域の防災訓練の支援	避難体制等の強化	172	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	要配慮者利用施設における避難計画等の策定及び避難訓練の実施	避難体制等の強化	173	実施中	実施中	実施中	実施中
		関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	ドローンを活用した災害状況の確認及び災害訓練	避難体制等の強化	174	実施中	実施中	実施中	実施中
		関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	電気自動車を活用した「災害連携協定」の締結	避難体制等の強化	175	実施中	実施中	実施中	実施中
		関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	運送車両提供に関する「災害連携協定」の締結	避難体制等の強化	176	完了	完了	完了	完了
	グリーンインフラの取組	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	生活物資供給および駐車場の一部使用に関する「災害連携協定」の締結 損害調査結果の提供および利用に関する「災害連携協定」の締結	避難体制等の強化	177		実施中	実施中	実施中
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	気象防災ワークショップ	避難体制等の強化	178	実施中	実施中	実施中	実施中
		自然環境の保全・復元などの自然再生、治水対策における多自然川づくり	希少種保全(ピワマスの遡上・繁殖環境の整備)	天野川ピワマス遡上プロジェクト会議	179	完了	完了	完了	完了
		内水氾濫対策	公共下水道(雨水)管渠等の整備	公共下水道事業 雨水排水対策	180	実施中	実施中	実施中	実施中
		洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	181	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	防災マップの作成	182	概ね完了	概ね完了	概ね完了	概ね完了
日野町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	183	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	184	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	竜王町洪水・土砂災害ハザードマップ作成業務	185	完了	準備段階	実施中	完了
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ため池ハザードマップ作成事業	186	完了	完了		
		あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	河川水位計や河川カメラの設置と情報共有	竜王町内水監視システム(IOT水位センサー)設置事業	187		実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	防災士の養成支援	防災士養成講座の開催	188		実施中	実施中	実施中
竜王町	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	189	実施中	実施中	実施中	実施中	
	避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ハザードマップ更新事業	190	完了	完了	完了	完了	
愛宕町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	多面的機能支払交付金事業	191	実施中	実施中	実施中	実施中
		洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	192	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	豊郷町総合防災マップ更新事業	193	完了	実施中	実施中	完了
豊郷町	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動事業	194	実施中	実施中	実施中	実施中
		流域の雨水貯留機能の向上	農地や水路の維持管理	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策	195	実施中	実施中	実施中	実施中
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	甲良町総合防災マップ作成事業	196	完了	完了	実施中	実施中
甲良町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動	197	完了	完了		
		避難体制等の強化	ハザードマップの作成	ため池ハザードマップ	197	完了	完了		
多賀町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川愛護活動	河川愛護活動	198	実施中	実施中	実施中	実施中

構成員 国土交通省 琵琶湖河川事務所

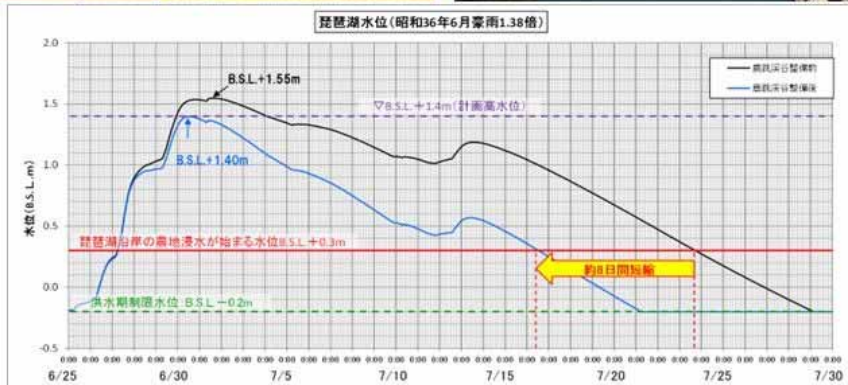
(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：瀬田川鹿跳溪谷改修事業

琵琶湖河川事務所

○ 琵琶湖に流入している河川17本に対して、琵琶湖から流出する河川は瀬田川1本であり、洪水時には瀬田川洗堰の全閉操作等によりさらに琵琶湖水位が上昇する。そのため、鹿跳溪谷を改修することにより上昇のピーク水位を抑制するとともに、上昇した琵琶湖水位を速やかに低下させるものである。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	瀬田川鹿跳溪谷改修 景観・環境・親水性等に配慮した河川整備について調査・設計を実施。 令和8年度以降に実施する瀬田川の河床掘削に必要な工事用道路を設置。 鹿跳溪谷改修に着手。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	瀬田川鹿跳溪谷改修 景観・環境・親水性等に配慮した河川整備について調査・設計を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	瀬田川鹿跳溪谷改修 引き続き整備を推進。			

構成員 国土交通省 琵琶湖河川事務所

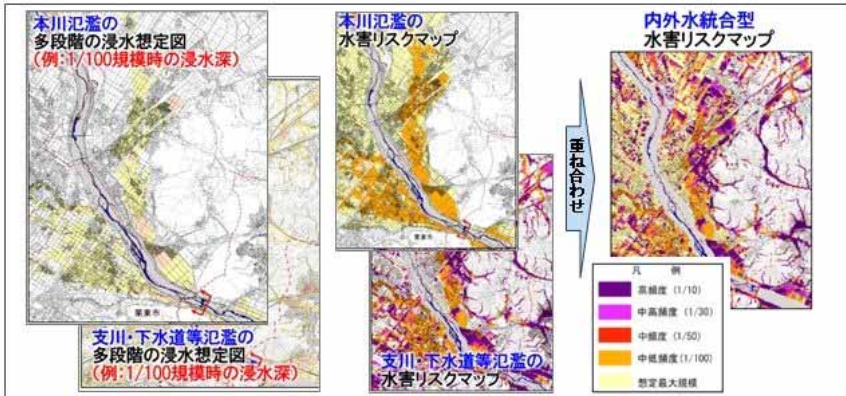
(個票)

被害対象を減少させるための対策

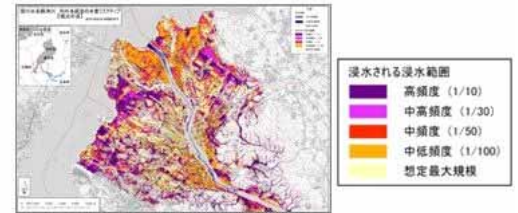
事業名：水害リスク情報の活用(水害リスクマップ)

琵琶湖河川事務所

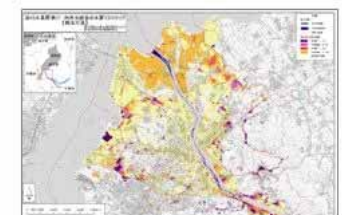
・外水氾濫のみの多段階の浸水想定図・水害リスクマップと、中小河川や下水道等からの内水氾濫による多段階の浸水想定図・水害リスクマップとを重ね合わせ、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した内外水統合の水害リスクマップを作成



〇公表図のイメージ



①浸水が想定される範囲



②浸水深50cm以上(床上浸水相当以上)



③浸水深3m以上(1階居室浸水相当以上)

・国管理区間の外水氾濫のみによる多段階の浸水想定図に加え、中小河川や下水道等からの内水氾濫についても、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた多段階の浸水想定図を作成



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害リスク情報の活用(水害リスクマップ) 水害リスクを踏まえた、まちづくりや企業の立地選択等での更なる活用促進に向け、流域治水協議会等を通じて情報共有を図る。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 国土交通省 琵琶湖河川事務所

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：自治会や小学校等での水害出前講座

琵琶湖河川事務所

- ・琵琶湖河川事務所管内における地域住民を対象とした水防災に関する出前講座を実施しています。
- ・水防災意識の向上を目的として、河川の特徴や過去の水害の状況、現在のハード・ソフト対策の取組の状況、避難に関する考え方等について説明します。



・瀬田川・大戸川流域や野洲川流域での流域治水の取り組みや流域治水の考え方をパネル展示によりPRを行った。
 ・AR技術を用いた浸水体験により、水害リスクや避難等の防災意識を醸成し、激甚化・頻発化する水災害を自分事として捉え、自らの行動を深化していただくきっかけづくりを行った。



・南郷小学校において、防災に関する話をパンフレットを用いて説明。
 ・子供たちと防災かまど作り体験を実施。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会や小学校等での水害出前講座 大津市南郷小学校において防災に関する話をパンフレットを用いて説明を行う。 甲賀市総合防災訓練および野洲川健康ファミリーマラソン大会等において、パネル展示による野洲川・瀬田川流域の流域治水の説明及びAR技術を用いた浸水体験を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会や小学校等での水害出前講座 継続して実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会や小学校等での水害出前講座 継続して実施予定。			

構成員 国土交通省 琵琶湖河川事務所

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラの設置と情報共有

琵琶湖河川事務所

- ・危機管理や住民の避難行動にかかるリアルタイムの水位情報の重要性を踏まえ、河川管理者や住民がスマートフォン、タブレット、PC等を用いて、簡単に閲覧できるシステムの開発・運用。
- ・河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラの設置。

各観測所におけるリアルタイムの川の水位と水位変化を見ることができ、氾濫の危険度がわかります。

高性能のレーダ雨量や観測における降雨量を見ることができます。

河川監視用のCCTVカメラの画像から、各地点のリアルタイムの川の様子を見ることができます。

氾濫した場合、どのくらいの深さまで水が浸水する危険性があるかなどを、浸水想定区域図で見ることができます。また、各市町のハザードマップのページへ移動し、見ることができます。

簡易カメラ (野洲川16.8k左岸)

危機管理型水位計 (野洲川13.2k右岸)

パソコン兼スマートフォン: <https://www.river.go.jp/>

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラの設置と情報共有 洪水時に住民の適切な避難に資するため、情報の受け手の立場に立った情報発信に努める。 設置された水位計・カメラ等を適切に維持・管理する。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラの設置と情報共有 洪水時に住民の適切な避難に資するため、情報の受け手の立場に立った情報発信に努める。 設置された水位計・カメラ等を適切に維持・管理する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラの設置と情報共有 洪水時に住民の適切な避難に資するため、情報の受け手の立場に立った情報発信に努める。 設置された水位計・カメラ等を適切に維持・管理する。			

構成員 国土交通省 琵琶湖河川事務所

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：水防団や地域住民が参加する
洪水に対しリスクが高い区間の共同点検

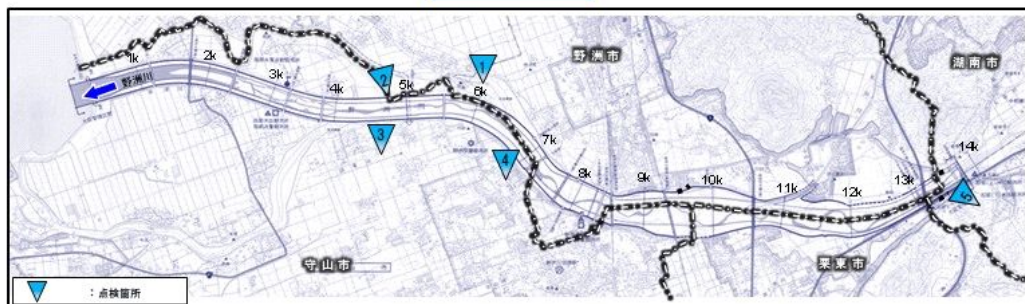
琵琶湖河川事務所

・琵琶湖河川事務所管内直轄河川における重要水防箇所において、沿川自治体の水防関係者と共に共同点検を実施する。

瀬田川位置図



野洲川位置図



現地での共同点検状況

瀬田川

野洲川



水防備蓄倉庫について説明・確認



重要水防箇所(陸間)について説明・確認



重要水防箇所(野洲市三宅地先)について説明・確認



重要水防箇所(湖南市石部地先)について説明・確認

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 沿川自治体の水防関係者と共に、洪水対しリスクが高い区間の共同点検を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 共同点検を継続実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 共同点検を継続実施予定。			

構成員 国土交通省 琵琶湖河川事務所

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：マイ・タイムラインの普及・啓発

琵琶湖河川事務所

・自宅の水害リスク、避難場所や避難時に必要なもの等を確認し、大雨時の気象情報や野洲川の水位上昇を避難スイッチとして、自分自身にとるべき防災行動を時系列に整理した「しがマイ・タイムライン」を普及・啓発する。

マイ・タイムラインの普及・啓発促進

- ・地元住民向けの出前講座やイベントなどを通じて、洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画について、住民一人ひとりが自分自身で作成するためのサポートを実施する。
- ・マイ・タイムラインの作成により、居住地の水害リスクや入手する防災情報を「知る」ことから始まり、避難行動に向けた課題に「きづく」こと促し、どのように「行動するか」を考える場面を創出する。



しがマイタイムライン掲載(滋賀県HP)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/322749.html>



「自助」から「共助」への展開、地域全体の防災力の向上へ

マイ・タイムラインの作成を通じて、住民同士の意見交換から、ひとりでは気づかなかった「避難の備えやタイミング」「避難場所の選定や逃げ方」を知ることができる。



琵琶湖河川事務所が、湖南市・滋賀県防災士の協力のもと、気象キャスターを講師に招き、湖南市にお住いの市民を対象に、『マイ・タイムライン講習会』を実施。

令和7年1月18日実施

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	マイ・タイムラインの普及・啓発 湖南市・滋賀県防災士の協力のもと、気象キャスターを講師に招き、『マイ・タイムライン作成講座』を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	マイ・タイムラインの普及・啓発 地元住民向けの出前講座やイベントなどを通じて、マイ・タイムラインの普及・啓発活動を継続して実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	マイ・タイムラインの普及・啓発 地元住民向けの出前講座やイベントなどを通じて、マイ・タイムラインの普及・啓発活動を継続して実施。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 グリーンインフラの取組

事業名：MIZBEステーション(水防拠点)整備

琵琶湖河川事務所

- ・水防活動や物資輸送等の拠点となるヘリポートなどを備えたMIZBEステーションを整備する。
- ・自治体と連携してMIZBEステーションの整備について検討し、調整・実施する。
- ・基盤整備を河川管理者が実施し、水防活動を実施するための水防センター等の施設は自治体等が整備する。

概要・必要性・目的

野洲川が位置する淀川水系では、洪水時における円滑で効果的な水防活動や災害時の緊急復旧活動等を実施・支援する防災拠点・搬入路等の整備も十分でないことが課題となっている。このため、淀川水系整備計画では、広域的な活用が可能な水防拠点やMIZBEステーションの整備促進を図ることを計画している。現在、協議会の場等を活用して、河川防災ステーションの整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市町村等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整している。

整備エリア(案)

整備エリアは、下記3つのエリアとし、各エリアには整備エリアの目的に応じた施設整備を行う。

- ・平常時はスポーツを主な活動の場とするスポーツパーク
- ・MIZBEステーション(河川防災ステーション)の備蓄土砂を活用したサイクルパーク
- ・水防センター、駐車場、堤防上と河川敷を活用した広場

位置図



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	MIZBEステーション(水防拠点)整備 自治体と連携し、水防活動や物資輸送等の拠点となるMIZBEステーション整備について、自治体と調整すると共に、基盤整備を行う。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	MIZBEステーション(水防拠点)整備 自治体と連携し、水防活動や物資輸送等の拠点となるMIZBEステーション整備について、自治体と調整すると共に、基盤整備を行う。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	MIZBEステーション(水防拠点)整備 自治体と連携し、水防活動や物資輸送等の拠点となるMIZBEステーション整備について、自治体と調整すると共に、基盤整備を行う。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：被災自治体に対する支援

琵琶湖河川事務所

・国土交通省TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)は、大規模時自然災害が発生した場合、発生する恐れがある場合に被災自治体に派遣し「被害状況の迅速な把握」や「被害の発生及び拡大の防止」、「被災地の早期復旧」等の支援を行います。

緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) とは

- ★ 地震、水害・土砂災害等から国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務
- ★ 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、人員・資機材の派遣体制等の充実を図り、危機管理体制を強化
- ★ 大規模自然災害時に、被災地方公共団体等の行う災害対応について、効率的な支援を実施

これまでの国による緊急支援は、その都度、それぞれの整備局により派遣体制をとって対応
 → あらかじめ職員をTEC-FORCE隊員に任命
 事前に人員・資機材の派遣体制を整備し、本省の総括的指揮のもとに活動

緊急災害対策派遣隊の特徴

- ◇ 隊員は、平時から災害対応に関する技術の研鑽(スキルアップ)をはかることが可能
- ◇ 災害発生時には速やかに被災地での活動を開始することが可能(派遣にかかる体制整備の手間を省略)
- ◇ 本省災害対策本部が総合調整、本部長の総括的指揮の下、複数地帯の派遣隊が効率的に活動することが可能(地帯間の派遣調整の手間を省略)
- ◇ 派遣隊の活動に要する費用は、基本的に新たに創設された横断的調査費を用いるため、資金面での負担が軽減

<ul style="list-style-type: none"> ■ 被災状況調査 <ul style="list-style-type: none"> - 災害対策用ドローンによる空中調査 - 現地調査 など ■ 被災状況調査 <ul style="list-style-type: none"> - ヘルコプターによる広域調査 - 被災地における現地調査 ■ 被災地対策本部運営支援 <ul style="list-style-type: none"> - 情報の収集、整理、伝達など被災地対策の業務支援 - 被災地対策本部の運営支援、関係と本部の連携強化の支援 ■ 高度な技術指導 <ul style="list-style-type: none"> - 斜面や建築物の危険度評価 - 専門性の要する応急対策について技術指導 ■ 応急対策、被害の拡大防止 <ul style="list-style-type: none"> - コンプレータ - 無人化施工機械を用いた土砂の撤去 - 土砂の崩壊による土砂の流出 ■ その他、復旧・復興にかかる支援 <ul style="list-style-type: none"> - 災害復旧事業の申請書類作成の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 被災状況調査 <ul style="list-style-type: none"> - ヘルコプターによる広域調査 - 被災地における現地調査 ■ 情報通信支援 <ul style="list-style-type: none"> - 現地対策本部の通信回線構築 - 現場と本部の連携促進 ■ 高度な技術指導 <ul style="list-style-type: none"> - 斜面や建築物の危険度評価 - 専門性の要する応急対策について技術指導 ■ 応急対策、被害の拡大防止 <ul style="list-style-type: none"> - 排水ポンプ車による応急対策支援 - 無人化施工機械を用いた応急対策支援
---	---

TEC-FORCEの活動状況(令和6年能登半島地震)



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	被災自治体に対する支援 円滑に災害対応支援が可能となる対策を継続して実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	被災自治体に対する支援 円滑に災害対応支援が可能となる対策を継続して実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	被災自治体に対する支援 円滑に災害対応支援が可能となる対策を継続して実施。			

構成員 琵琶湖河川事務所

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

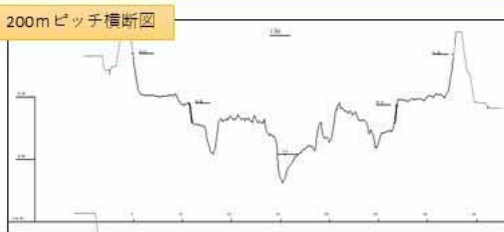
事業名：三次元管内図の活用による河川管理業務の効率化及び高度化

琵琶湖河川事務所

- 航空レーザ測量成果を活用し、三次元管内図を作成
- 河川現況台帳のデジタル化と連携により、河川管理業務の効率化及び高度化

現状と課題

- ▶ 広範な河川空間を200mピッチ縦横断と二次元地形の限られた情報だけで管理
- ▶ 紙資料等で管理、確認
- ▶ 計画堤防高、重要水防箇所、工事履歴、占用許可情報等の各種管理情報の確認が煩雑で、一元管理が必要

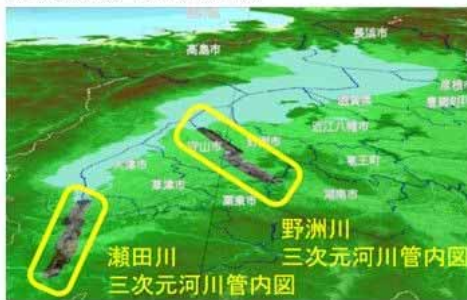


取組の効果

- ◆ 河川管理の迅速化・可視化・高度化、行政サービスの利便性向上

【三次元管内図の活用事例】

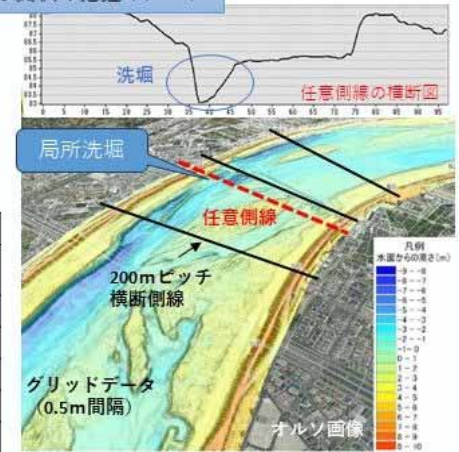
- ◆ 地域住民へのわかりやすい説明資料として利用、理解促進
- ◆ 三次元計測から任意の断面特性の把握
- ◆ 面的な変状、土量等の把握



三次元河川管内図のデータ構成

分類	項目	
測量	グリッドデータ	0.5m間隔の面データ
	オルソ画像	航空写真
基礎データ	地図関連	・地理院地図・行政界
	河川関連	・距離標・保安区域等
	構造物関連	・堰・水門・橋梁等
	追加データ	・計画断面・点検結果等

面的な変状の把握イメージ



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	最新の航空レーザ測量データに更新(野洲川) 格納データの種別を精査 等			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	三次元管内図システムの活用 等			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	三次元管内図システムの活用 等			

構成員 琵琶湖河川事務所

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ドローンを活用した巡視の効率化

琵琶湖河川事務所

- 既存のドローンを活用した各種取り組みの情報収集を踏まえ、巡視に適用可能な計画を立案
- 機材選定や運用計画を検討のうえ、実証実験を重ね、新体制としての運用を目指す

現状と課題

- ▶ 瀬田川洗堰の放流前巡視では徒歩+車両により目視（最大6名）で実施しているが、省人化および夜間等の識別レベル向上が必要
- ▶ 広域となる下流の放流影響区間において、放流前巡視による河川利用者等の発見と退避の促しについて、ドローンを活用した識別により効率化及び高度化を図る



取組の効果

- ◆ ドローン自律巡航による赤外線カメラの画像検出により、河川利用者等を迅速に発見し退避の促しを検証・試行。
- ◆ 体制の運用 (3班→1班+ドローン)



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	・レベル3.5飛行申請及び試験飛行 ・運用面・技術面での課題整理			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	・運用面・技術面での課題の改善策の検討			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	・運用面・技術面での課題の改善 ・実装			

グリーンインフラの取組

事業名：ヨシ帯再生

琵琶湖河川事務所

- ・グリーンインフラの一環として、野洲川河口部のヨシ帯のモニタリングを継続して実施しています。
- ・地域住民等との連携による維持管理の実現に向け、活動団体等との協議・調整、協働したモニタリング調査等を実施し、良好なヨシ帯を継続できる管理手法の検討・整備を行っています。



事前説明・ヨシ学習



ヨシ苗を移植

守山市の地元小学生の環境学習に取り入れて、守山市・淡海環境保全財団と連携し、約3ヶ月にわたってヨシ移植を実施。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	野洲川河口部のヨシ帯モニタリング 野洲川河口部ヨシ帯の魚類調査等のモニタリングを実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	野洲川河口部のヨシ帯モニタリング 継続してモニタリングを実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	野洲川河口部のヨシ帯モニタリング 継続してモニタリングを実施。			

構成員 大戸川ダム工事事務所

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：大戸川ダム建設事業

大戸川ダム工事事務所

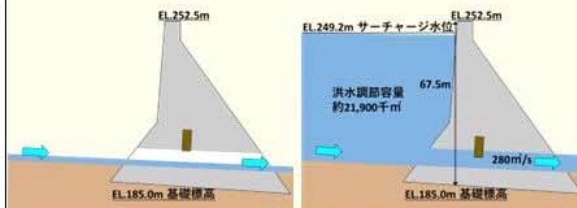
- 大戸川上流に、洪水調節を目的とした流水型ダムを建設
- 大戸川ダムの集水面積152km²、洪水調節容量約21,900千m³
- 大戸川ダムについては、環境影響を出来る限り回避・低減するための環境調査を含め、必要な調査等を行ったうえで本体工事を実施

事業メニューの内容、イメージ

- ダムの諸元
 - 建設位置
 - (左岸)：滋賀県大津市上田上牧町
 - (右岸)：滋賀県大津市上田上桐生町
 - ダム型式：重力式コンクリートダム
 - 堤高：約67.5m
 - 堤頂長：約183.2m
 - 洪水調節
 - 容量：約21,900千m³
- ダムの目的
 - 大戸川・宇治川・淀川の洪水調節
- 総事業費
 - 約1,163億円

【平常時】

【洪水調節時】



※ 今後の調査・設計等により変更する可能性があります。

事業メニューの実施事例

【流水型、重力式コンクリートダムの事例】



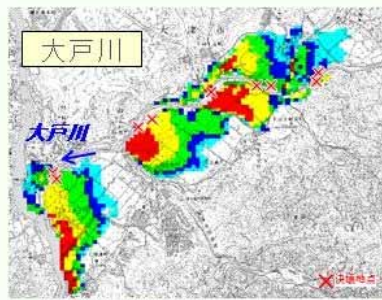
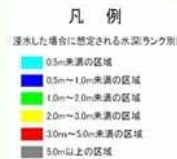
大分県：玉来ダム (R4竣工)



熊本県：阿蘇立野ダム (R6竣工)

事業メニューの効果

河川整備基本方針規模の洪水を条件としては氾濫解析を行った結果、右図の被害が想定されますが、大戸川ダム建設事業の実施により浸水被害の軽減が図られます。
※滋賀県内での効果を描出



【計算条件】※事業実施前 (大戸川) 昭和57年台風10号型洪水の1.15倍

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	・ダム本体工事に向けた準備工事(付替道路(栗東信楽線)、工事用道路) ・ダム本体関連調査・設計 等			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	・ダム本体工事に向けた準備工事(付替道路(栗東信楽線)、工事用道路) ・ダム本体関連調査・設計 等			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	・ダム本体工事に向けた準備工事(付替道路(栗東信楽線)、工事用道路) ・ダム本体関連調査・設計 等			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：内水排除対策

水資源機構

- 琵琶湖沿岸の低標高地における浸水被害の低減を目的に、12流域に14箇所の内水排除施設を設置。
- 全ての洪水に対し完全治水を目標としたものではなく、水田の浸水時間低減を目標に各排水機場の排水ポンプ規模を決定。
- 洪水により琵琶湖水位がB.S.L.+0.3m以上になった場合、現地の流況に応じて内水排除操作を実施。

事業メニューの内容・イメージ



【内水排除操作】
大雨により琵琶湖の水位が上昇すると、水門・樋門を閉め排水ポンプを運転し、堤内地側の水を琵琶湖に排水し浸水時間を低減します。

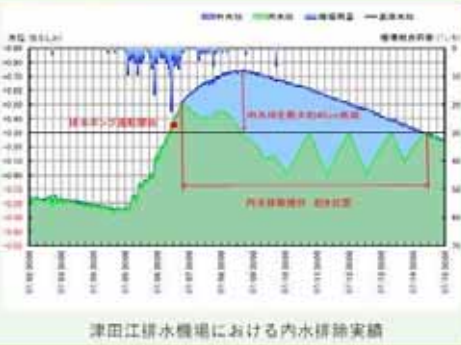
事業メニューの実施事例

平成30年7月豪雨における内水排除操作一例



事業メニューの効果

平成4年4月から琵琶湖開発事業の管理を開始し、これまでに10回の内水排除操作を実施。
(例)平成30年7月豪雨における内水排除実績
・平成30年7月5日～7月8日にかけて琵琶湖流域では、累計273.1mmの降雨を記録。
・この豪雨により琵琶湖水位は上昇し、7月8日には、B.S.L.+0.75m(6:00時点)を記録。
・琵琶湖沿岸にある14箇所全ての内水排除施設が稼働。
・津田江排水機場では、7月7日～7月14日の約8日間に渡り内水排除操作を行い、内水位を最大約45cm低減し、琵琶湖沿岸の浸水被害の低減に努めました。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水排除対策 琵琶湖水位が内水排除操作基準水位に達することは無かった。このため、内水排除を行っていない。 排水機場設備について点検を実施し施設の健全性を確保している。また、大同川排水機場については、老朽化対策として排水設備(ポンプ)の整備を実施(令和7年度整備完了)。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水排除対策 引き続き、内水排除操作を的確に実施していく。 また、排水機場設備について点検を実施し施設の健全性を確保していく。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水排除対策 引き続き、内水排除操作を的確に実施していく。 また、排水機場設備について点検を実施し施設の健全性を確保していく。			

グリーンインフラの取組

事業名：お魚里帰り大作戦

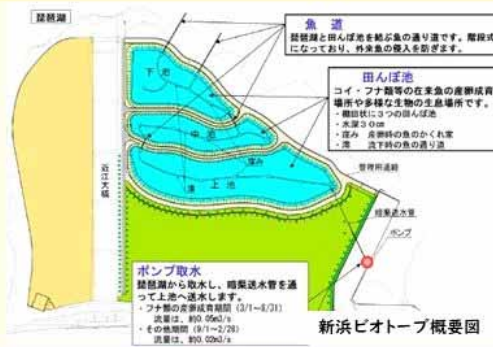
水資源機構

- 琵琶湖で減少しているフナ・コイなどの在来魚の産卵・生育の場として「新浜ビオトープ」を整備
- 毎年ビオトープでは琵琶湖の生物と環境の大切さを学ぶためのイベント「お魚里帰り大作戦」を計画
- 例年10月頃に一般参加者と協働して、在来魚の捕獲・琵琶湖への放流、外来魚の駆除を実施

事業メニューの内容、イメージ

草津市新浜町の湖岸堤前面にある管理地において、フナ・コイ類などの産卵・育成の場として2008(平成20)年8月に1.5haのビオトープを設けた。以来、ビオトープには毎年フナ等の生息が確認されている。

2012(平成24)年度より、一般の方から参加者を募り、体験型の環境学習イベントとして、ビオトープ内の在来魚の捕獲・琵琶湖への放流、外来魚の駆除を行っている。



事業メニューの実施事例

イベント参加者



魚捕獲状況



事業メニューの効果

新浜ビオトープは、これまでの調査によりフナ・コイ類の繁殖・生育の場として機能している事を確認しており、琵琶湖の水辺環境の保全に役立っている。

本年度のイベントでは、一般から20名の参加があり、約300匹の在来魚の捕獲・放流、外来魚約400匹の駆除を行った。イベントを通じて、琵琶湖の環境保全に関する啓発を行った。

■至近5カ年の新浜ビオトープで捕獲した在来魚数(外来魚は駆除)

実施年月	捕獲数(匹)	備考
2021(R3)年10月	1,600	上池
2022(R4)年10月	1,300	上池
2023(R5)年11月	4,300	上・中・下池
2024(R6)年10月	12,600	上・中・下池
2025(R7)年10月	2,600	上池

※捕獲数はイベント実施後に捕獲した数を含む

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	お魚里帰り大作戦 11月にお魚里帰り大作戦2025を実施した。一般から20人の参加があり、在来魚約300匹を琵琶湖へ放流、外来魚約400匹を駆除した。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	お魚里帰り大作戦 引き続き、在来魚の繁殖に適する環境を保持し、適切な時期に琵琶湖へ放流する活動を実施していく。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	お魚里帰り大作戦 引き続き、在来魚の繁殖に適する環境を保持し、適切な時期に琵琶湖へ放流する活動を実施していく。			

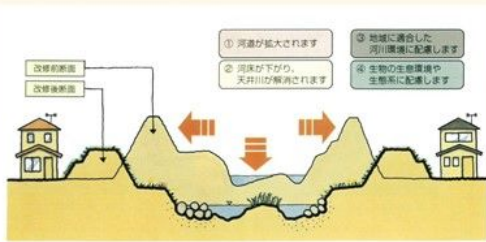
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：広域河川改修事業・総合流域防災事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 降った雨を河川に安全に流す対策として河道掘削および護岸の整備等を実施
- 河川改修により、治水安全度の向上(河川水位の低減)を確認
- 防災・安全交付金(国土交通省)を活用して事業実施

事業メニューの内容、イメージ



- ・現況よりも河道を拡大する
- ・河床を現況よりも下げることで天井川を解消する
- ・植生が復元しやすい護岸とするなど自然環境にも配慮

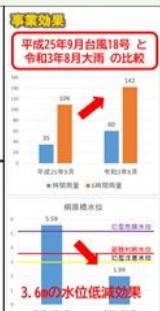
事業メニューの実施事例

・河道掘削および護岸の整備を実施し、流下能力を向上させている。

日野川



事業メニューの効果



・整備後の河川水位と、降雨状況を比較することで河川改修による効果を確認できる。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	異常豪雨等による浸水被害リスクの増大に対し、安心安全な県民生活を確保するため、総合的な治水対策を推進する。 各圏域ごとの河川整備計画、滋賀県河川整備5か年プランに基づき、河道掘削、築堤、護岸などの改修を実施。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	異常豪雨等による浸水被害リスクの増大に対し、安心安全な県民生活を確保するため、総合的な治水対策を推進する。 同上			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	異常豪雨等による浸水被害リスクの増大に対し、安心安全な県民生活を確保するため、総合的な治水対策を推進する。 同上			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：大規模特定河川事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 計画規模の洪水が生じた場合に氾濫する危険性が著しく高い区間で橋梁改築や放水路整備、大規模掘削等を実施
- 想定浸水区域(想定最大降雨)や浸水リスクを明示した想定図が公表されている河川を対象に実施する国土交通省の補助事業

事業メニューの内容、イメージ

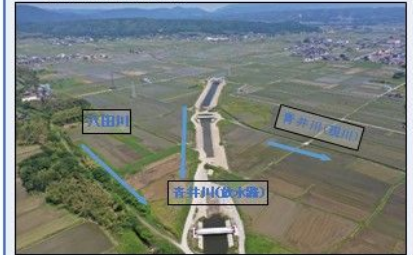
- 大規模特定河川改修：日野川、不飲川
計画高水量に対して流下能力が低く、氾濫の恐れがある区間で橋梁の改築や放水路の整備等の集中的な投資が必要な区間において、概ね10年以内で完了し、事業費が10億円以上の事業
- 氾濫危険区域河道掘削：姉川・高時川、日野川
川幅が狭い区間や堤防未整備区間などの流下能力が不足している区間や、バックウォーターの恐れがある区間等での、河川の水位を低くする河道掘削等の集中的かつ重点的な投資が必要な区間において、概ね5年以内で完了し、事業費が5億円以上
- 特定構造物改築等：
計画高水量に対して流下能力が低く、洪水の安全な流下を阻害している橋梁や堰等の改築・撤去を実施する事業で、概ね10年以内で完了し、事業費が5億円以上の事業
- 上記(1)から(3)で、かつ下記要件に該当
・原則、施工を行う同一都道府県内におけるすべての河川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図が公表されていること。ただし、令和7年度までに採択された河川事業は除く。

事業メニューの実施事例

・河道掘削(山賀川)



・放水路整備(青井川)



事業メニューの効果



・特定の区間に計画的、集中的な対策を実施することにより、当該箇所治水安全度が早期の向上

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画規模の洪水が生じた場合に氾濫する危険性が著しく高い区間において、橋りょう改築や大規模掘削等を実施する。 各圏域ごとの河川整備計画、滋賀県河川整備5か年プランに基づき、大規模掘削、横断工作物の改築などの改修を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画規模の洪水が生じた場合に氾濫する危険性が著しく高い区間において、橋りょう改築や放水路整備、大規模掘削等を実施する。 同上			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画規模の洪水が生じた場合に氾濫する危険性が著しく高い区間において、橋りょう改築や放水路整備、大規模掘削等を実施する。 同上			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：障害防止対策事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 饗庭野演習場の荒廃等により流出量が増加した降雨を安全に流下させるため石田川の河川改修を実施
- 自衛隊の防衛施設と周辺施設の調和を図ることを目的とした補助事業(防衛省)

事業メニューの内容、イメージ

- ・演習場の荒廃、大型車両の通行などによって生ずる障害を防止、軽減するため、河川改修等に対して助成（周辺対策事業）
- ・饗庭野演習場からの流出水を受ける石田川の河川整備を平成9年度から継続して実施



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- ・本事業の完了により、石田川における河川整備計画の一連区間の整備が完了し、当該箇所治水安全度が向上

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	饗庭野演習場の荒廃等により流出量が増加した降雨を安全に流下させるため、石田川の河川改修を実施する。 ・4号床止工 1基 護岸工 86m			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	饗庭野演習場の荒廃等により流出量が増加した降雨を安全に流下させるため、石田川の河川改修を実施する。 ・4号床止工 1基 護岸工 61m			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	饗庭野演習場の荒廃等により流出量が増加した降雨を安全に流下させるため、石田川の河川改修を実施する。 ・八ッ川原橋橋梁架替着手			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

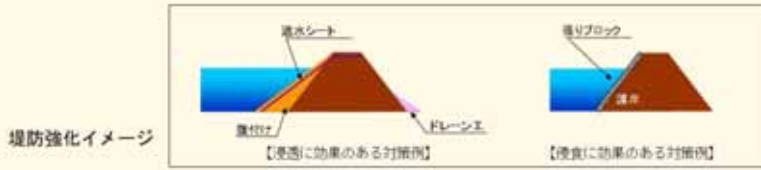
事業名：単独河川改良事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 国の補助・交付金事業と相互連携し、県全体としての治水安全度の向上に貢献
- 国の補助・交付金事業の採択要件に合致しない比較的小規模な事業について、県単独費により実施

事業メニューの内容、イメージ

- ・量の確保（流下能力）の向上を図る事業
河道掘削、護岸整備等の工事の他、予備設計や検討業務等も実施
- ・施設（堤防）の質的向上を図る事業
整備計画期間内に計画的な河川整備のおよばない河川において、氾濫時に人的被害が予見される区間について堤防の質的強化や氾濫流制御を図る
- ・令和元年度からは、緊急自然災害防止対策事業債を活用し河川改修を推進



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- ・下流区間の河川改修と平行して、上流区間で堤防強化を実施し治水安全度を確保



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	洪水の安全な流下を図るために必要な河川改修等を実施する。 各圏域ごとの河川整備計画、滋賀県河川整備5か年プランや緊急自然災害防止対策事業債の計画等に基づき、河道掘削、築堤、護岸などの改修や堤防強化を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	洪水の安全な流下を図るために必要な河川改修等を実施する。 同上			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	洪水の安全な流下を図るために必要な河川改修等を実施する。 同上			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：みずべ・みらい再生事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

○ 治水、利水機能と調和を図りつつ、地域に親しまれる河川となるよう、河川環境の保全と整備を行う

事業メニューの内容

- ・ 浚渫
河道内に堆積した土砂を除去し、河川の疎通能力を回復させるとともに、河川環境の保全を行う。令和2年度から11年度までは、緊急浚渫推進事業債を活用し、緊急に浚渫等を進める。
- ・ 草木伐開等
河道内に繁茂した樹木等を除去し、河川の疎通能力を回復させるとともに、堤体を良好な状態に保つよう、また堤防の表面の変状等を把握できるよう除草をおこなう。
- ・ 維持補修
堤防や護岸等、河川管理施設において、施設の機能に支障を及ぼしているものについては、必要な対策を実施する。
- ・ 河川愛護活動事業
地域が行う河川の維持管理（除草や川ざらえなど）の活動に対して、市町を介して委託により費用を助成する。
- ・ 地域活動支援
地域が河川愛護活動を行うにあたって、階段や通路等の施設整備をおこない支援する。

事業メニューの効果

- ・ 河道内の堆積土砂の除去や繁茂した竹木を伐採し、河川の疎通能力を回復させるとともに、河川環境の保全を行う。
- ・ また、河川が持つ本来の機能を最大限に発揮させることにより、水害の発生を未然に防止し、県民の「生命」を守り、「不安」を「安心」に変えることで、災害に強い安全な地域づくりを行う。

事業メニューの実施事例



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川環境の保全と整備			
	出水後の状態把握や巡視点検結果および緊急浚渫推進事業債の計画等に基づき、浚渫、草木伐開、維持補修を実施。 地域と協働で管理を行う、除草や川ざらえなどの河川愛護活動や階段や通路の整備を行う地域活動支援を実施。				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川環境の保全と整備			
	同上				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川環境の保全と整備			
	同上				

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：ダム堰堤改良事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 治水ダム長寿命化計画に基づきダム管理に必要な改良を実施
- 放流制御、機器制御の確実性・信頼性を確保し、計画的にダム機能の健全性を向上
- ダムメンテナンス事業補助金(国土交通省)を活用して事業実施

事業メニューの内容、イメージ

ダム施設全体をより健全な状態で維持しながら、長期にわたり安定した管理・運用を行うにあたり、効果的・効率的・予防保全的な維持補修・更新を行うため「ダム長寿命化計画」を策定。

令和3年6月に示された「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）」に基づき、長寿命化計画に新技術等の活用などの短期的な数値目標及びコスト縮減効果を記載し更新する。

【ダム長寿命化計画策定状況】

余呉湖ダム	日野川ダム	石田川ダム	宇曾川ダム	青土ダム	姉川ダム
H27策定	H25策定	H26策定	H25策定	H27策定	H26策定
R06更新	R06更新	R06更新	R07更新	R06更新	R07更新

ダム長寿命化計画に基づき、ダム本体、放流設備、ダム管理用制御処理設備、観測設備、貯水池等の改良を計画的に行う。

事業メニューの効果

施設の老朽化によりダムの機能が不十分であるものに対し、ダムの持つ治水、利水等の機能の回復または向上を図り、ダムの安全な操作を確保することで、ダム下流地域の安全・安心に寄与する。

【ダム諸元】

	余呉湖	日野川	石田川	宇曾川	青土	姉川
運用開始	S35.7	S41.4	S45.4	S55.4	S63.4	H14.4
洪水調節容量(千m³)	2,000	920	1,870	2,350	4,100	4,700
利水容量(千m³)	8,900	302	1,270	250	2,500	1,800

(洪水期の容量を示す)

事業メニューの実施事例

【石田川ダム：ゲートスクリーン改良】



洪水吐ゲートスクリーンの改良により、目詰まりによる閉塞を解消

【石田川ダム：ダムコン改良】



ダム管理制御処理装置の改良により、ダム諸量処理機能、ダム操作支援機能等が向上

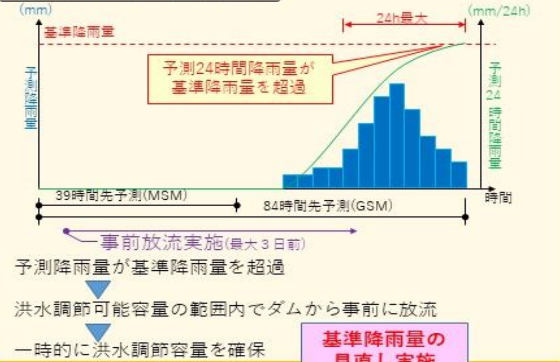
年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	石田川ダム、宇曾川ダム、姉川ダム ●宇曾川・姉川のダム長寿命化更新業務を実施。 ●宇曾川(取水塔スクリーン改良工)を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	日野川ダム、石田川ダム、宇曾川ダム ●宇曾川ダム(ダム管理用制御処理設備改良工)を実施予定 ●ダム長寿命化計画を基にしたダムメンテナンス事業実施計画に則り実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	日野川ダム、石田川ダム、宇曾川ダム、青土ダム ●ダムメンテナンス事業実施計画に基づき実施予定。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：治水ダムにおける事前放流 滋賀県土木交通部
流域政策局

- 利水のためにダムで貯めている水をあらかじめ放流し、一時的に洪水調節するための容量を確保
- 河川での洪水被害の回避・軽減
- 多目的ダム(青土ダム)においては、利水者の協力のもとに実施

事業メニューの内容、イメージ

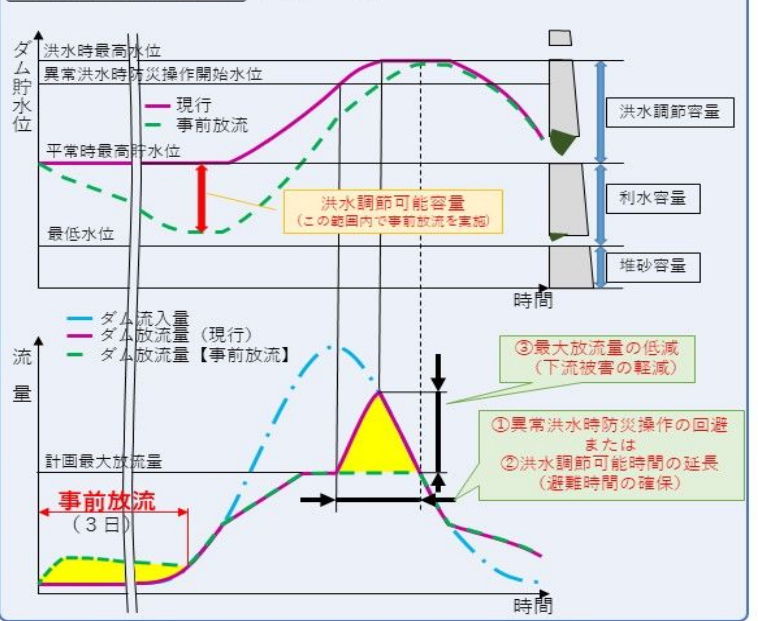


事業メニューの効果

- 洪水調節可能容量の確保
利水容量の一部を事前に放流し洪水調節に活用
- 河川での洪水被害の回避・軽減
 - ① 異常洪水時防災操作の回避
 - ② 洪水調節可能時間の延長 (避難時間の確保)
 - ③ 最大放流量の低減 (下流被害の低減)

ダム名	基準降雨量 (mm/24h)		洪水調節可能容量 (万m³)
	旧	新	
糸島湖	251	165	440
日野川	592	377	30
石田川	285	260	127
宇曾川	545	512	25
青土	654	538	250
純川	815	431.9	180

事業メニューの実施事例 (イメージ)



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流基準の見直し、ダム流入予測システムの運用 ●事前放流の基準降雨量について、淀川水系ダム洪水調節機能協議会の合意を得たため、事前放流実施要領等の改定を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	各ダムにおいて事前放流の運用実施 ●ダム流入予測システムを活用し、見直した事前放流基準により、運用			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	各ダムにおいて事前放流の運用実施 ●ダム流入予測システムを活用し、見直した事前放流基準により、運用			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：砂防関係施設整備事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 土石流や流木等から人家等を保全するための砂防えん堤等の整備を実施
- 砂防関係施設の整備により、土砂災害特別警戒区域の範囲を縮小する
- 個別補助金、防災・安全交付金(国土交通省)を活用して事業実施

事業メニューの内容、イメージ



砂防えん堤等の整備により、豪雨等で発生した土石流や流木をくい止め、下流への流出を低減させることにより、人家等の保全を図る。

また、上流からの土砂が下流河川へ流出し、河道閉塞を起こすなど土砂・洪水氾濫のリスクが高い地域における調査を行い、必要な対策を図る。

事業メニューの実施事例

事業効果

(後谷川砂防えん堤)



土石流を捕捉し下流にある保全対象への被害を防止した



事業メニューの効果

砂防施設整備により、特に生命の危険が生じるおそれの高い土砂災害特別警戒区域の範囲が縮小されることが確認できる。



(イメージ)

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	土石流被害から人家等を保全するための砂防えん堤等の整備 滋賀県下全域において、砂防えん堤整備事業を49箇所を実施中(測量、設計等実施中を含む)。4箇所を整備完了予定。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	土石流被害から人家等を保全するための砂防えん堤等の整備 滋賀県下全域において、砂防えん堤整備事業を61箇所を実施予定(測量、設計等実施中を含む)。 2箇所を整備完了予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	土石流被害から人家等を保全するための砂防えん堤等の整備 滋賀県下全域において、砂防えん堤整備事業を56箇所を実施予定(測量、設計等実施中を含む)。 6箇所を整備完了予定。			

被害対象を減少させるための対策

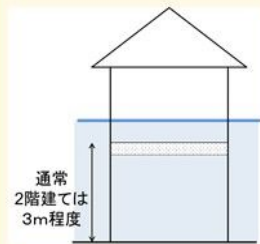
事業名：浸水警戒区域の指定

滋賀県土木交通部
流域政策局

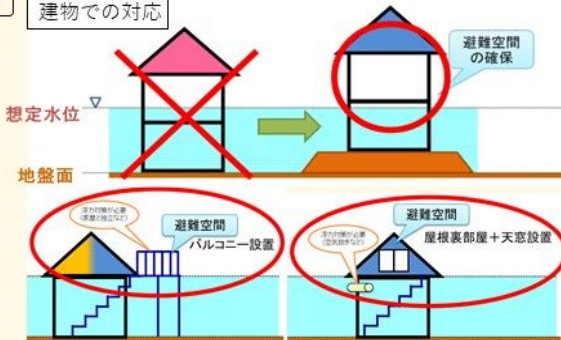
- 将来にわたって安心して住める水害に強い地域とするため、滋賀県流域治水条例第13条に基づき、地先の安全度マップの200年確率降雨時に概ね3m以上の浸水が予想される区域を、浸水警戒区域(=災害危険区域)に指定する。
- 浸水警戒区域の指定にあたっては、地域住民や市町とともに、避難計画の作成や安全な住まい方の検討などを実施したうえで、地域の合意形成を図り「水害に強い地域づくり計画」を作成する。
- 浸水警戒区域の指定後は、区域内で改築および新築する時に、安全な避難空間が確保できているかを県が確認する。

事業メニューの内容、イメージ

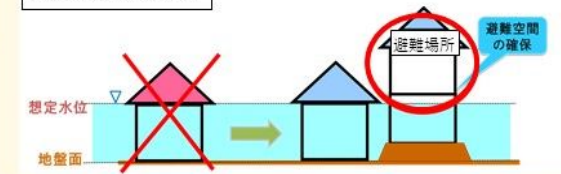
通常、2階の床面は地盤高から約3mであり、3m以上の浸水が予測される区域では、水害時に命を守るため安全な避難空間を確保することが重要。
浸水警戒区域内では、改築および新築時の建築確認の前に、浸水に対する安全性を知事が確認する。



建物での対応



避難場所での対応



事業メニューの実施事例

平成26年より特に浸水リスクの高い県内の約50地区において、水害に強い地域づくりの取組を順次実施している。
これまで21地区において、「水害に強い地域づくり計画」を作成し、浸水警戒区域を指定した。(R7.12時点)



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の指定 令和7年度末までに4地区を浸水警戒区域に指定する予定で、滋賀県流域治水条例に基づき手続きを進めている。 これまでに指定した地区においては、安全な住まい方を実現できるよう建築制限を実施している。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の指定 重点地区における取組の進捗にあわせ、順次浸水警戒区域を指定する。 指定した地区においては、安全な住まい方の実現できるよう建築制限を実施する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の指定 重点地区における取組の進捗にあわせ、順次浸水警戒区域を指定する。 指定した地区においては、安全な住まい方の実現できるよう建築制限を実施する。			

被害対象を減少させるための対策

事業名：宅地の嵩上げ、避難場所整備への助成

滋賀県土木交通部
流域政策局

○安全な住まい方を推進し、将来にわたって安心して住める水害に強い地域を目指すため、浸水警戒区域指定時に安全な避難空間がない住宅を対象として、「宅地嵩上げ浸水対策促進事業」および「避難場所整備事業」を実施している。

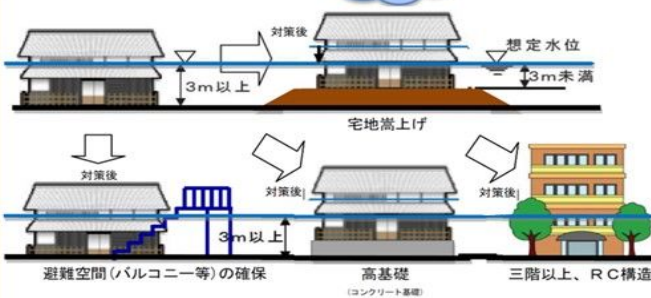
事業メニューの内容、イメージ

宅地嵩上げ浸水対策促進事業

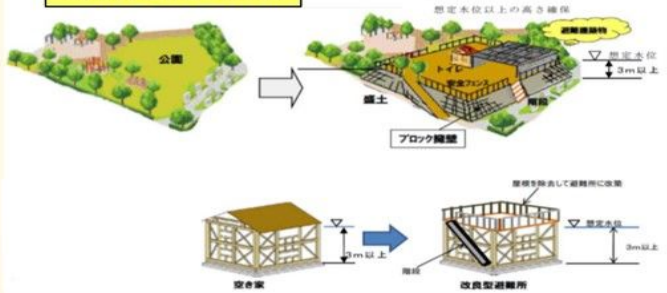
避難場所整備事業

(1)住宅の嵩上げへの助成

基本



(2)避難場所等への助成



宅地嵩上げ浸水対策促進事業は、改築（建て替え）および増築する時に、地盤の嵩上げ（盛土、法面保護）工事、RC造、ピロティ化等工事の費用を助成する。

浸水リスクに応じて、個人住宅を安全な住まい方に誘導することを基本とすることから、地区の特性等から避難場所整備が合理的な場合のみ「避難場所整備事業」による補助を利用できる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	浸水警戒区域内における事業の周知			
		令和7年5月に浸水警戒区域内の家屋所有者を対象に、家屋の建替、増改築または宅地嵩上げ等に係る意向調査を実施し、複数の所有者から「今後建替等の可能性あり」と回答があったが、現時点における具体的な要望はなく、事業を適用する案件はなかった。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域内における事業の周知および実施 引き続き浸水警戒区域内の家屋所有者を対象に周知を行い、事業適用の対象となる区域内既存不適格住宅の建替等に助成を実施する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域内における事業の周知および実施 引き続き浸水警戒区域内の家屋所有者を対象に周知を行い、事業適用の対象となる区域内既存不適格住宅の建替等に助成を実施する。			

被害対象を減少させるための対策

事業名：盛土構造物の設置等に対する配慮

滋賀県土木交通部
流域政策局

○道路や鉄道等による大規模な盛土構造物の設置や改変をしようとする事業者に対し、滋賀県流域治水条例第25条に基づき、設置等により著しい浸水被害が生じないよう配慮する義務を課している。

事業メニューの内容、イメージ

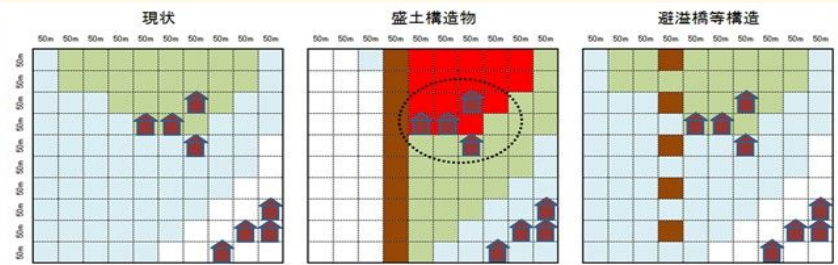


過去には県内で、新幹線や高速道路の建設時に水害リスクの変化を考慮し、盛土ではなく避溢橋にした例がある。

【配慮内容の具体的な検討手法】

一定以上大規模な盛土構造物を設置する道路等の事業計画にて、シミュレーションを実施し、連続盛土構造物設置等による水害リスクの変化を定量的に評価。設置等により著しい浸水被害が生じていないかを確認。
生じている場合は、開口部（ボックスカルバート等）の設置など盛土構造物への配慮の具体的な内容を検討する。

盛土構造物設置等への配慮案 【凡例：赤色(3m以上)、緑色(0.5m以上)、水色(0.5m以下)】



シミュレーションの結果連続盛土構造物の設置により著しい浸水被害が発生することが判明

盛土構造物に開口部を設けることで、著しい浸水被害の発生を回避

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	盛土設置事業者との協議の実施			
		盛土構造物設置等ガイドラインに基づき、盛土を設置する事業者との協議を3件実施した。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	盛土設置事業者との協議の実施			
		必要に応じ、盛土を設置する事業者とガイドラインに基づく協議を実施する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	盛土設置事業者との協議の実施			
		必要に応じ、盛土を設置する事業者とガイドラインに基づく協議を実施する。			

被害対象を減少させるための対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

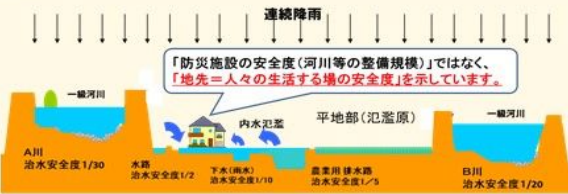
事業名：想定浸水深等（地先の安全度マップ）の設定、公表

滋賀県土木交通部
流域政策局

○流域治水対策を検討するための基礎情報として、滋賀県流域治水条例第8条に基づき、想定浸水深等（地先の安全度マップ）を公表し、おおむね5年ごとに更新する。

事業メニューの内容、イメージ

想定浸水深等（地先の安全度マップ）は、大河川の氾濫だけでなく、中小河川や身近な用水路等の氾濫も考慮した、より実現象に近い浸水リスク図である。



大きな川だけではなく、中小河川や身近な水路の氾濫も考慮しています。
→実現象に近い予測です。

※琵琶湖からの氾濫は考慮していません



事業メニューの実施事例

想定浸水深図の条件と用途

降雨確率	10年に一度	100年に一度	200年に一度
雨の強さ	最大50mm/hr	最大109mm/hr	最大131mm/hr
24時間雨量	170mm/24hr	529mm/24hr	634mm/24hr
気象予報用語	非常に激しい雨	猛烈な雨	
人の受けるイメージ	・滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	・息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	
施策における用途	市街化区域への新規編入に係る判断指標	洪水浸水想定区域図の浸水リスク情報を補完	建築制限に係る判断指標

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	想定浸水深を公表および氾濫解析等 流域治水条例に基づき、令和2年3月に更新した「地先の安全度マップ」を継続して公表。 次回更新(令和8年6月予定)に向け、氾濫解析および図面作成を完了。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	想定浸水深を公表および入力データの更新 流域治水条例に基づき、令和2年3月に更新した「地先の安全度マップ」を継続して公表。令和8年6月に更新予定。 ハザードマップ更新に必要なデータを市町に提供。 次々回更新に向けた準備(データ収集等)も実施。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	想定浸水深を公表および入力データの更新 流域治水条例に基づき、令和8年6月に更新した「地先の安全度マップ」を継続して公表。 次々回更新に向けた準備(データ収集等)も実施。			

被害対象を減少させるための対策

事業名：土砂災害警戒区域等の指定

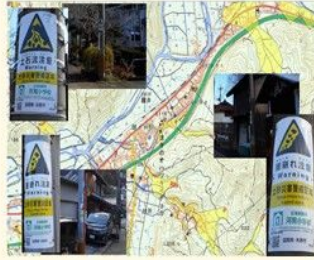
滋賀県土木交通部
流域政策局

- 土砂災害のおそれのある区域を調査し、区域指定することにより、警戒避難体制の整備を図る。
- 豪雨災害時の適切な避難行動につながるための土砂災害リスク情報の周知を行う。
- 防災・安全交付金(国土交通省)を活用して事業実施。

事業メニューの内容、イメージ



土砂災害警戒区域等の指定



現地標識の設置

土砂災害のおそれのある区域を調査し警戒区域として指定するとともに、指定区域の現地標識の設置により、土砂災害リスクを周知し、適切な避難行動を促す。

事業メニューの実事例

調査時から土地利用の変化を踏まえ、県内全域の既指定区域の見直し調査を継続する。
また、地形改変箇所など、調査精度を高めることにより、これらリスク情報の周知を図る。

地形改変に伴う見直し調査の例



砂防出前講座によるリスク周知



事業メニューの効果

県内における土砂災害警戒区域に関する調査結果について、水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の取組や、出前講座等を通じて土砂災害リスクの周知啓発により、土砂災害発生前の事前避難等が実施されるなどの事例がある。

国土交通省HPより→

地帯7月事例 住民との事前の取組により早めの避難が実施できた事例(滋賀県長浜市)

○滋賀県長浜市末之本町大見地区は、土砂災害警戒区域内に位置している。
○土石流により、避難路に障害する危険性が確認。
○地区内住民から危険状況を確認し、事前に急ぎに避難所を開設することで早めの避難が実施できた。

【災害の経緯 令和2年7月事例】(赤字=住民の行動)

8月17日 大雨警報発表
8月18日 自主的に避難所を開設
03:10 土砂災害警戒情報発表
04:00 避難開始(一住民4名以上避難)
04:30 長浜市災害警戒本部設置
08:00 避難準備情報発表(一向区避難所法一住民10人避難)
08:30 避難所土石流発生(車庫・車庫が一部破壊)
09:20 土砂災害警戒情報解除

大見地区でのこれまでの取組
事前調査 02/28まで 国土調査 03/01まで
避難所開設 03/15まで

国土交通省HPより→

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	土砂災害警戒区域等の指定 県内全事務所管内で基礎調査を実施。 基礎調査が完了した区域から順次基礎調査結果の公表、土砂災害警戒区域等の指定を行う。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	土砂災害警戒区域等の指定 県内全事務所管内で基礎調査を実施予定。 基礎調査が完了した区域から順次基礎調査結果の公表、土砂災害警戒区域等の指定を行う。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	土砂災害警戒区域等の指定 県内全事務所管内で基礎調査を実施予定。 基礎調査が完了した区域から順次基礎調査結果の公表、土砂災害警戒区域等の指定を行う。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：情報基盤総合整備事業

滋賀県土木交通部
流域政策局

- 水位計や河川防災カメラの整備
- 防災・安全交付金(国土交通省)を活用して事業実施

事業メニューの内容、イメージ

○ 防災気象情報の変更に伴う対応

警戒レベル 相応 相応 相応 相応	現行防災気象情報				警戒レベル 相応 相応 相応	新防災気象情報		
	氾濫河川	洪水害	大雨 洪水害	土砂災害		洪水に 関する情報	大雨に 関する情報	土砂災害に 関する情報
6	氾濫発生情報	大雨特報(大雨型)	大雨特報(土砂災害)	大雨特報(土砂災害)	5	レベル5 氾濫発生情報	レベル5 大雨特報(大雨型)	レベル5 土砂災害特報
4	氾濫発生情報		本邦気象警報	本邦気象警報	4	レベル4 氾濫発生情報	レベル4 大雨特報(大雨型)	レベル4 土砂災害特報
3	氾濫発生情報	洪水警報	大雨警報(洪水型)	大雨警報(土砂災害)	3	レベル3 氾濫発生情報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害特報
2	氾濫発生情報	洪水警報	大雨警報	大雨警報	2	レベル2 氾濫発生情報	レベル2 大雨警報	レベル2 土砂災害特報

○ 危機管理型水位計の設置



事業メニューの実施事例

・水位計(約100箇所)



・河川防災カメラ(約60箇所)



事業メニューの効果

○ シンプルでわかりやすい防災気象情報の伝達。

○ 危機管理型水位計の情報をリアルタイムで配信し、防災アプリ等と連携することで氾濫の危険が迫った場合に避難を呼びかけることを可能とする。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	情報基盤総合整備事業 防災気象情報の変更に伴う対応。 危機管理型水位計の設置。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	情報基盤総合整備事業 防災気象情報の変更に伴う対応。 危機管理型水位計の設置。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	情報基盤総合整備事業 危機管理型水位計の設置。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：中小河川の洪水浸水想定区域図の作成、公表

滋賀県土木交通部
流域政策局

○ 水防法の改正(令和3年7月15日施行)に伴い、新たに洪水浸水想定区域の指定対象となった県管理河川について、令和7年度までに洪水浸水想定区域図の作成、公表を行う。

事業メニューの内容、イメージ

○水防法の改正(令和3年7月15日施行)に伴い、新たに洪水浸水想定区域の指定対象となった県管理河川について、令和7年度まで「想定し得る最大規模の降雨」に対応した洪水浸水想定区域図の作成、公表を行う。
県下を7つの圏域に分割し、圏域ごとに「想定し得る最大規模の降雨」を設定し、各圏域で計算を行う。



事業メニューの効果

○現在公表している洪水浸水想定区域図の水害リスク情報の空白域の解消を図る。

現在公表している洪水浸水想定区域図(姉川および高時川と天野川の重ね合わせ)



水害リスク情報の空白域解消

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	公表完了			
		中小河川の洪水浸水想定区域図を作成し、公表する。 ハザードマップ更新に必要なデータを市町に提供する。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公表完了 R7年度中に中小河川の洪水浸水想定区域図の作成、公表が完了。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公表完了 R7年度中に中小河川の洪水浸水想定区域図の作成、公表が完了。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：水害・土砂災害に強い地域づくりの取組

滋賀県土木交通部
流域政策局

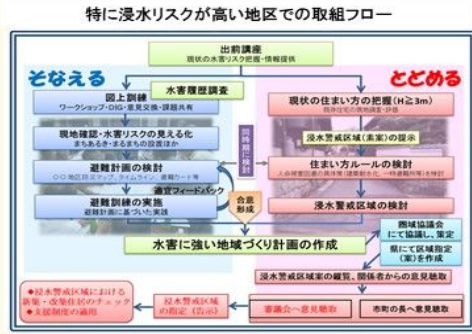
○ 地域住民や市町など関係行政機関と協働し、住民向けの出前講座や図上訓練の実施、地区の避難体制整備の支援(そなえる対策)、安全な住まい方の検討(とどめる対策)、水害・土砂災害に強い地域づくり協議会の開催など、水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施している。

事業メニューの内容、イメージ

○ 住民向けの出前講座や図上訓練などを通じ、浸水リスク、正しい避難行動、安全な住まい方の意識啓発を図る。

○ 特に浸水リスクの高い地区において、住民や市町とともに、避難体制の整備(そなえる対策)および浸水警戒区域の指定を含む安全な住まい方の検討(とどめる対策)を実施し、将来にわたって安全な地域を目指す取組を行う。

○ 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(大規模はん濫減災協議会)や防災情報ワーキンググループにおいて、関係行政機関と、地域における浸水被害の回避または軽減に関し必要な対策について協議を行う。



事業メニューの実事例



事業メニューの効果

- 平成26年度から令和7年度の12年間で、589件約3.2万人に出前講座等を実施。(R7.12時点)
- 特に浸水リスクの高い約50地区において、水害に強い地域づくりの取組に着手。21地区において浸水警戒区域を指定。(R7.12時点)
- 各圏域の水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(地域安全協議会を含む)で策定した「取組方針」に基づき、各構成員が取組を実施。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施 住民等向けの出前講座を34回約2,000人に実施した(R7.12時点)。また、特に浸水リスクの高い地区において、そなえる対策およびとどめる対策を検討する住民ワーキンググループを実施するとともに、県内全域において水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(地域安全協議会を含む)や担当者会議、ワーキンググループを開催した。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施 引き続き、関係住民や市町などと連携し、水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施する。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施 引き続き、関係住民や市町などと連携し、水害・土砂災害に強い地域づくりのための取組を実施する。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：水害履歴調査の実施

滋賀県土木交通部
流域政策局

○水害経験を聞き取り調査し、整理、公表することで、水害記録の継承および県民の防災意識向上を図る。

事業メニューの内容、イメージ

地域防災力を強化するためには、まず、地域の水害に対するリスク情報の共有が必要である。しかし、水害体験者の高齢化などにより、「地域の過去の水害履歴」が若い世代に伝わりにくくなっている。
そこで、地域の水害に関する「記録と記憶」を収集・整理し、日頃から水害に関する情報を見えていただくことにより、県民のみなさんの防災意識を高め、それぞれの地域での災害への備えがより積極的なものとなることを目指している。
また、多くの地区において大学と協働で実施している。



事業メニューの実施事例

聞き取り調査した結果は、語りの記録やマップに取りまとめ、ホームページで公開している。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害経験を聞き取り、整理、公表 市町等に話者の紹介を依頼し、県内2市6地区で聞き取り調査を実施し、調査結果をホームページに掲載した。うち1地区では、関西大学と連携して調査を実施した。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害経験を聞き取り、整理、公表 引き続き、市町や関西大学と連携しながら聞き取りを実施する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害経験を聞き取り、整理、公表 引き続き、市町や関西大学と連携しながら聞き取りを実施する。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：要配慮者利用施設に対する支援

滋賀県土木交通部
流域政策局

○要配慮者利用施設の避難確保計画策定にあたり、モデル施設での計画作成など、市町と連携し、技術的な支援等を実施する。

事業メニューの内容、イメージ

各市町の地域防災計画で位置づけられた全要配慮者利用施設において、令和4年3月までに避難確保計画の作成と避難訓練の実施を目指し、モデル施設での計画作成や様式データのホームページ公開、関係者との調整などを実施してきた。引き続き、未作成の施設において避難確保計画が作成されるよう支援を行っている。

事業メニューの実施事例

各要配慮者利用施設において避難確保計画を作成する際、利用できる手引き・参考様式(ワード形式)をホームページで公開している。
【特徴】・水害だけでなく土砂災害リスクにも対応している
・☑やプルダウンメニューで簡単に入力できる
・最新のガイドラインにも対応している



モデル施設での協議状況

施設管理者向けの説明会をWEB開催



流域治水政策室 公式
YouTubeチャンネル
のご案内

流域治水政策室公式YouTubeチャンネルでは、土防防災情報システムや河川防災カメラの同様方法など、さまざまな動画を発信しています。大層時の情報収集などに、ぜひご利用ください。

説明会の動画を
YouTubeにて一般公開

要配慮者利用施設に係る
避難確保計画作成の手引き(案)
【水害・土砂災害編】
(滋賀県版)

平成30年1月
令和3年10月改訂
令和4年7月改訂
滋賀県

最新ガイドラインに対応

プルダウンメニューから選択

クリックすると、☑が入る

【防災体制確立の判断時期及び役割分担】
※参考とする「情報の種類」に記入し、適宜、記入後はプルダウンメニューより選択する
※監視レベルに応じて実施する「活動内容」に記入する。
※対応の状況に応じて追加した「活動内容」は「その他」に記入し、具体的な内容を詳細の「活動内容」について対応する「対応策」が明確になるように「対応策」を記入する。

体系	情報の種類	活動内容
①大規模・中規模の災害	①大規模・中規模の災害	①大規模・中規模の災害
	②小規模の災害	②小規模の災害
②小規模の災害	①大規模・中規模の災害	①大規模・中規模の災害
	②小規模の災害	②小規模の災害

水害・土砂災害の
避難確保計画

【施設： 〇〇〇〇〇〇】

モデル施設で作成した避難確保計画

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画策定にむけた市町支援の実施 6月に各市町の担当者に、国の動向や避難確保計画の作成状況等を共有。 令和8年1月に庁内連絡調整会議で、避難確保計画の作成状況等を共有し、各市町や施設への支援について検討。新規登録された県所管施設のリストを作成し、年度末までに各市町へ情報提供予定。 適宜市町へ助言を行い、施設からの問合せに対応。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画策定にむけた市町支援の実施 適宜、未策定の施設および新規に策定が必要となった施設等で策定が進むよう、市町へ支援を行う。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画策定にむけた市町支援の実施 適宜、未策定の施設および新規に策定が必要となった施設等で策定が進むよう、市町へ支援を行う。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：不動産取引における水害リスクの情報提供

滋賀県土木交通部
流域政策局

○宅地建物取引業者に対し、滋賀県流域治水条例第29条に基づき、不動産取引の相手方等への水害リスク情報提供を努力義務化している。

事業メニューの内容、イメージ

条例では、①「地先の安全度マップ」の想定浸水深 および ②水防法第14条第1項に規定する洪水浸水想定区域 の情報を提供することを努力義務化している。
なお、令和2年8月から、水防法第15条第3項の規定に基づいて市町が提供する水害（洪水、雨水出水）ハザードマップは、宅地建物取引業法における重要事項説明の対象となった。

①想定浸水深図

(例：地先の安全度マップ200年確率降雨)



②洪水浸水想定区域図

(例：芹川想定最大規模)



事業メニューの実施事例

当該事業の不動産業者や住民への周知については、次の方法で実施している。

- ・関係団体への通知
- ・関係団体や当県のホームページにおける情報提供
- ・関係団体が実施する研修会での周知
- ・出前講座等におけるチラシや啓発グッズを利用した住民への周知

事業メニューの効果等

平成27、28年、令和元年に実施した不動産取引業者へのアンケート調査では、約6割の業者が、水害リスク情報を提供していると回答した。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	不動産業者や住民への周知 不動産取引の相手方等に対する水害リスクに関する情報提供が円滑に行われるよう、県ホームページに水害リスク情報に関するチラシを掲載しているほか、宅地建物取引業者向け説明動画の活用を関係団体に向けて周知した。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	不動産業者や住民への周知 引き続き、出前講座や不動産関係団体を通じて周知を実施する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	不動産業者や住民への周知 引き続き、出前講座や不動産関係団体を通じて周知を実施する。			

グリーンインフラの取組

事業名： 統合河川環境整備事業・総合流域防災事業(河川環境整備)

滋賀県土木交通部
流域政策局

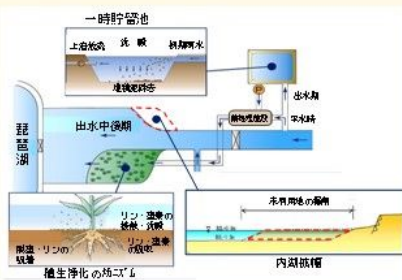
○ 汚濁の著しい河川の水質改善事業、自然環境が著しく阻害されている河川の自然環境の再生事業を行い、良好な河川環境を保全、復元、および創出する。

事業メニューの内容、イメージ

○水質改善(河川浄化)事業

・水質改善対策(覆土・護岸工・植生工等)、流入河川対策(植生浄化、内湖拡幅等)を実施。

【流入河川対策】



○自然環境の再生事業

・湖岸保全のための砂浜侵食対策(突堤工、緩傾斜護岸工、養浜等)等を実施。

事業メニューの効果

・水質改善事業の実施により、琵琶湖への流入汚濁負荷を削減し、健全な水循環系(水環境)の確保に寄与。
・自然環境の再生事業の実施により、自然環境の保全・復元、景観保全、湖岸利用上の安全確保に寄与。

事業メニューの実施事例

【水質改善対策：植生護岸工】



【流入河川対策：植生浄化池】



【砂浜侵食対策：突堤工】



【砂浜侵食対策：緩傾斜護岸工】



【砂浜侵食対策：養浜】



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川の水質改善事業、河川の自然環境の再生事業 赤野井湾:内湖拡幅 木浜内湖:覆土、植生護岸工 マイアミ浜:突堤工 湖西圏域:突堤工、緩傾斜護岸工			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川の水質改善事業、河川の自然環境の再生事業 赤野井湾:内湖拡幅 木浜内湖:浚渫工 マイアミ浜:突堤工 湖西圏域:養浜、突堤工、緩傾斜護岸工			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川の水質改善事業、河川の自然環境の再生事業 赤野井湾:内湖拡幅 木浜内湖:浚渫工 マイアミ浜:緩傾斜護岸工 湖西圏域:養浜、突堤工、緩傾斜護岸工 わに浜・北小松浜:養浜、突堤工			

グリーンインフラの取組

事業名：河畔林の適正な維持管理

滋賀県土木交通部
流域政策局

○ 治水と環境保全の両立を目指した河畔林管理を実施する。

事業メニューの内容、イメージ

○ 河畔林とは、河川の周辺に繁茂する森林や竹林のことで、治水・生態系・水質・景観などの保全や創出に大きな役割を担っている。
 一方で、適正な維持管理がなされない河畔林は、河積の阻害(流水の妨げ)や流木の発生源になる等、治水機能に悪影響を生じさせる原因になっている。
 ○ そのため、従来は河畔林の伐採を基本とする河川整備が行われてきたが、平成9年の河川法改正以後、その環境機能が見直され、近年では河道計画の基本方針として、河畔林は「洪水に対する安全性、樹木の管理体制、流木対策等を十分に検討した上で、保全することが望ましい」とされている。
 ○ 県下でも安曇川・愛知川・野洲川等で河畔林が形成されているが、ここでは河畔林の適正な維持管理について、愛知川の事例をとりあげて紹介する。



↑写真
愛知川河畔林位置図(国土院院航空写真)

事業メニューの実施事例

○ 地域住民や学識経験者、行政関係代表等が集まり愛知川河畔林の保全を検討する場として発足した協議会の活動を経て、平成17年に「愛知川河畔林の会」が発足。
 ○ 河畔林の会による定期的な竹林の手入れを実施するとともに、県工事でも維持管理を行っている。
 ○ また、河畔林の会では、広く一般の方に河畔林に親しんでもらい、河畔林の会の活動について知ってもらうために、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施している。



↑上写真
管理されなくなった河畔林

↙右上写真
河畔林の会による整備状況
→右写真
整備後の河畔林

事業メニューの効果

○ 平成25年9月の台風18号による災害では、愛知川でもはん濫危険水位を超える水位上昇があり、複数箇所では被災を受けたが、河畔林の会による整備ができていた区間は、周辺の整備ができていなかった区間と比べて被害を免れている傾向が見られた。(適正な維持管理により河畔林の治水効果が発揮された)

○ 散策道を整備して、竹林管理を行っていることで、河川の親水空間としての機能も向上している。タケノコやカブトムシといった河畔林の自然を求めて、多くの方が河畔林を訪れるようになった。

↑写真
洪水後も流れなかったチップ(切り出した竹をチップ化したものを利用して、散策道の安定化のためのマルチングを行っている)



↑写真
河畔林を利用した活動状況(整備活動の体験や河畔林の自然を利用したイベントが実施されている)



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河畔林の会による毎月の定例活動で河畔林の手入れを実施。また、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施。 河畔林の会による河畔林の手入れやイベントを実施。県も維持管理工事を発注・施工。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河畔林の会による毎月の定例活動で河畔林の手入れを実施。また、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施。 河畔林の会による手入れやイベントを継続するとともに、県工事でも維持管理を実施していく。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河畔林の会による毎月の定例活動で河畔林の手入れを実施。また、季節に応じた河畔林の自然を利用したイベントを実施。 河畔林の会による手入れやイベントを継続するとともに、県工事でも維持管理を実施していく。			

グリーンインフラの取組

事業名：ビオトープ自然観察会

大津市・野洲市

○琵琶湖の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために、ビオトープを活用した自然観察会を開催している。
 * 大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにぐるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。
 * 野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催

事業メニューの内容、イメージ

- 木の岡ビオトープは琵琶湖の西岸に位置し、市街地にありながら抽水植物から湿地林まで奥行きのある、多様なエコトーンを含む貴重なビオトープを形成し、希少な動植物を含めた多くの生物を育む自然環境となっている。おにぐるみの学校と地元企業、県が定期的な保全活動を実施し維持している。
- 家棟川ビオトープは、内湖機能を検証するため琵琶湖河川事務所が設置した人工的ビオトープである。現在は周辺に田園風景が広がるリゾンの群生地がある豊かな自然のなか、一級河川の家棟川が琵琶湖へ流れ込む勇壮な景観とともに美しい自然の姿を保持している。
- 豊かな自然を保つ2つのビオトープを活用した自然観察会を通して、広く県民に環境学習を行うことで、自然環境や生物多様性についての理解を促し、琵琶湖に至る貴重な自然環境を未来に残していく。



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- 自然観察会の参加者数は、木の岡ビオトープ延べ1900名、家棟川ビオトープ延べ1200名を超えた。様々な専門分野の講師が、多様な環境学習を季節に応じておこなうことで、参加者は楽しく学ぶことができる。その結果、複数の参加者が、その体験を周囲へ伝え、誘い合い、継続して参加している様子が見受けられる。このことは、参加者がこの活動の目的を深く理解し、自ら自然環境や生命の大切さを伝え広げる実効活動につながっている。
- 木の岡ビオトープ、家棟川ビオトープ共に運営連絡会を設置し自然観察会の運営の他に、定期的な保全活動を実施している。その結果、自然を維持することができ、希少種も含む固有の動植物が多種生息していることが確認されている。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ビオトープ自然観察会 ■大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにぐるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。 ■野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ビオトープ自然観察会 ■大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにぐるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。 ■野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間1回(夏)に開催。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ビオトープ自然観察会 ■大津市木の岡ビオトープ⇒主催の「おにぐるみの学校(任意団体)」と協働し、年間3回(夏・冬・春)開催。 ■野洲市家棟川ビオトープ⇒NPO法人、専門家、行政機関が協働し、年間2回(夏・冬)に開催。			

グリーンインフラの取組

事業名：在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究 全域

- 水系(森-川-湖)のつながりの視点から在来魚のにぎわい復活に向けた研究を琵琶湖環境科学研究センターと共同で行っている。
- 「生物の生息環境、多様な河川環境の保全・創出」に向けた取り組み。

事業メニューの内容、イメージ

在来魚の保全を目指し、「森-川-湖」の水と土砂のつながりを再生するため、「1 森林域から河口までの土砂つながりの研究」、「2 環境変遷モニタリング手法の開発」、「3 多様な主体の協働による在来魚保全・再生活動の展開に関する研究」の3つの視点から研究を行っている。

森

- シカ食害による土砂流出
- 人工林の下層植生減少に伴う土砂流出

川(上流域)

- 河川構造物の土砂堆積

琵琶湖と川と森のつながり

湖

- 土砂供給不足による湖岸浸食(浜欠け)

川(中下流域)

- 粗粒化やアーマーコート化
- 攪乱土砂減少に伴う河道内樹林化
- 砂礫減少に伴う連過機能の低下

事業メニューの実施事例

- 希少種・生態系保全に向けたiRICを用いた河川シミュレーションによる可視化検討

希少種が存在するワンドを残す

浚渫前

浚渫後

基礎洗場の恐れ... 堆積土砂の... 運搬・侵食... 清筋を中央にすることで... 運砂量への洗掃を低減... IRICを用いた河川シミュレーションにより掃流力を可視化... ワンドを残す... 運砂が中央になることで... 自然環境への負荷を低減...

多様な主体による在来魚保全・再生活動展開に関する研究

小さな自然再生 魚道の復活

事業メニューの効果

- 固定化砂礫堆の河床耕耘により、整流化が見られ、耕耘翌年はアユ等が耕耘区間に定着していた。
- ドローンにより河床の地形変動モニタリングと3次元測量が簡易に
- 多様な主体の協働による「小さな自然再生」により、回遊性魚類の遡上環境を回復。

河床耕耘

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究 在来魚を保全するため、実社会への応用(社会実装)を目指して流域環境改善方法を他機関と共同で研究する。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究 在来魚を保全するため、実社会への応用(社会実装)を目指して流域環境改善方法を他機関と共同で研究する。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	在来魚保全のための水系のつながり再生に向けた研究 在来魚を保全するため、実社会への応用(社会実装)を目指して流域環境改善方法を他機関と共同で研究する。			

グリーンインフラの取組

事業名：緑の斜面（沖島）

近江八幡市

○沖島は、北東部の尾山(標高220m)と南東部の頭山(標高140m)の2つの山で構成されており、土砂災害特別警戒区域に指定されている。
 ○人家を保全するため、急傾斜地崩壊対策が喫緊の課題となっている。
 ○沖島の希少な植生と景観を象徴するエリアでの大規模な工事は沖島の自然環境を未来永劫失いかねないことから、植生の早期回復と景観の保全を図りながら工事を実施することを目的としている。

事業メニューの内容、イメージ

吹付法枠内の中詰工については従来であれば予め種子を配合した植生基材吹付工が基本となるが、無播種植生基材吹付工と環境配慮型マット工を隣接地で試験施工を実施し、より早期に自然回復が期待できる工種を選定することとした。



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

試験施工の結果から環境配慮型マット工の方が植生回復が良好であったことから、環境配慮型マット工を施工することとした。施工後の追跡調査では法枠が見えなくなるほど順調に回復していることが確認できた。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	沖島地区は近江八幡市の沖合約1.3kmに浮かぶ琵琶湖最大の島で急斜面を背に狭い平坦地に人家が集中しており、急傾斜地崩壊対策を実施している。グリーンインフラとして斜面对策を過年度に実施し、完了している。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

グリーンインフラの取組

事業名：緑の堰堤（妓王井川支流堰堤）

野洲市

- 堰堤下流にある集落への土石流災害に対する防災・減災対策を確実に行う。
- 三上山（近江富士）の景観保持、周辺の自然環境との調和、環境負荷の軽減に適切に配慮したものとす。
- 土石流災害を防止する、強靱で効果的な砂防堰堤の築造。
- 三上山（近江富士）の風景を保護する、堰堤の緑化。
- CO2の排出削減や騒音の発生抑制等環境負荷の軽減を図る、掘削発生土砂の利活用。

事業メニューの内容、イメージ

- ・堰堤の堤体について、現地発生土砂を利用したダブルウォール構造とした。
- ・堰堤が風景に溶け込むよう、堤体壁面を緑化した。



事業メニューの実施事例



施工前(2017年9月の状況)



施工後(2022年8月の状況)

事業メニューの効果

- ・堤体の緑化が確実に図られ、三上山を望む緑空間に堰堤が完全に同化している。
- ・現地発生土砂の有効利用により、残土の排出量や生コンなど資材搬入量を大幅に削減できた。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	妓王井川支流は、野洲市三上に位置する土砂災害危険溪流であり、砂防事業を実施している。三上山(近江富士)の景観保護、環境負荷軽減を考慮した砂防堰堤を築造した。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

国土交通省

○ 官民連携・分野横断により、積極的・戦略的に緑や水を活かした都市空間の形成を図るグリーンインフラ※の整備を支援することにより、都市型水害対策や都市の生産性・快適性向上等を推進する。

※グリーンインフラ：社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

事業メニューの内容、イメージ

●事業目的

- 公園緑地が有する多様な機能を引き出し、戦略的に複数の地域課題の解決を目指す
- 官民連携による都市公園の整備や民間建築物又は公共施設等の緑化を総合的に支援

グリーンインフラの導入計画に基づく官民連携の取組をハード・ソフト両面から支援

●支援対象

- 緑や水が持つ多面的機能の発揮を目的とした目標を3つ以上設定し、そのうち2つ以上は定量的な目標であること
- 1年以内かつ5年以上の事業、又は複数の事業主体で取り組むグリーンインフラ導入も支援
- グリーンインフラ活用型都市構築支援事業：民間事業者等へ補助（連携補助：1/2）
- 都市公園・緑地等事業：地方公共団体へ補助（連携補助：1/2、関係補助：1/3）

<p>ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園緑地の整備 公共施設等の緑化 民間建築物の緑化（屋上緑化等） 市民農園の整備 既存緑地の保全・利用施設の整備（水辺の緑地等） 緑化施設の整備（グリーン屋根等） 	+	<p>ソフト</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラに関する計画策定 整備効果の検証
---	---	--

事業メニューの実施事例

●事業実施イメージ

複数の地域課題（例）

- 都市部に浸水する恐れがあり、総合的な治水対策が必要【治水地域】
- 賑わいある空間づくりが必要【商業地区】
- 夏でも滞在できる地域の空間づくりが必要【観光地域】

グリーンインフラを戦略的に都市づくりに取り入れ、自然環境が有する機能を社会資本整備や土地利用等にうまく生かすことで、より効果的・効率的に課題克服や魅力ある都市づくりを進めようとする

事業メニューの効果


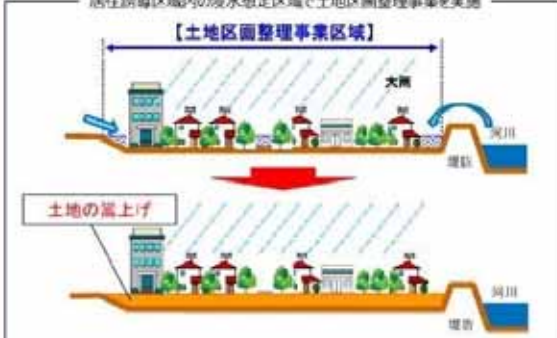
緑の基本計画等に基づいた目標達成に必要なグリーンインフラの導入計画を策定

■目標と具体的に必要なグリーンインフラのイメージ

目標（例）	目標の具体的な内容	目標達成に必要なグリーンインフラ
目標① 雨水流出の抑制	下水道施設への負荷軽減	都市公園の整備 レインガーデンの整備
目標② 都市の生産性向上	事業集積区域内の店舗出店数・歩行者数	建築物の緑化 共生広場の整備
目標③ 暑熱対策による都市環境改善	夏季における事業集積区域内の気温低減	公共施設等の緑化 建築物のミスト付き緑化

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	完了済み。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

被害対象を減少させるための対策

事業名：土地区画整理事業	国土交通省
<p>○ 居住誘導区域内の浸水被害の防止・低減を図るため、都市再生区画整理事業を拡充し、立地適正化計画に位置づけた防災対策として実施する土地区画整理事業について、一定の要件を満たす場合に、土地の嵩上げ費用を補助する。</p>	
<p>土地区画整理事業とは</p> <p>(1)土地区画整理事業とは 都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るため、(中略)土地の区画形質の変更及び公共施設の建設又は変更に関する事業 (土地区画整理法第2条)</p> <p>(2)基本的な仕組み 土地区画整理事業は一般の公共事業のような用地買収方式によらず、換地手法による。</p>  <p>出 発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 換地等の公共施設の整備費 ○ 通知等の移転補償費 ○ 地割の配分費 等 <p>入 入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共料の支拂 ・ 交付金 ・ 公共施設管理運営補助金 ・ 公共施設建設費 ○ 算入費外分費 等 	<p>土地の嵩上げによる浸水対策のイメージ</p> <p>【土地の嵩上げによる浸水対策のイメージ】 区画整理事業にあわせて土地の嵩上げをすることにより、地区内の浸水被害を軽減</p> <p>居住誘導区域内の浸水想定区域で土地区画整理事業を実施</p>  <p>【土地区画整理事業区域】</p> <p>大雨</p> <p>河川</p> <p>堤防</p> <p>土地の嵩上げ</p>

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	実績なし			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	実施予定なし			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	未定			

被害対象を減少させるための対策

事業名：都市構造再編集中支援事業

国土交通省

- 災害ハザードエリアから病院・福祉施設等の都市機能誘導施設の自主的移転を促進
- 誘導施設(医療、社会福祉、教育文化、子育て支援施設)の整備
- 支援対象：民間事業者等(独立行政法人都市再生推進機構、特定非営利活動法人等を含む)

事業メニューの内容、イメージ

○ 次の全てに適合する誘導施設(病院・診療所などの医療施設、社会福祉施設、認定こども園や小学校・図書館などの教育文化施設、託児所などの子育て支援施設)の整備

- ① 立地適正化計画に定められた都市機能誘導区域内における誘導施設を整備する事業であること
- ② 都市再生整備計画において都市構造再編集中支援事業として位置付けがあること
- ③ 市町村又は都道府県が事業主体に対して公的不動産等活用支援[※]を行う事業であること
(ただし、都道府県が当該支援を行う場合にあつては、市町村が財政上のその他の支援を請じる事業であること。)

※ 事業主体に公的不動産の譲渡若しくは賃貸する際の価格の減免、誘導施設又は誘導施設に存する土地(事業主体が所有するものに限る。)に係る固定資産税若しくは都市計画税を減免すること。

○ 支援額の算出方法

事業主体に対する市町村からの支援額と補助基本額(補助対象事業費の2/3)の1/2のいずれか低い額を支援
補助対象事業費(設計費、土地整備費、用地取得費、共同施設整備費、専有部整備費、負担増分用地費、賃借料)

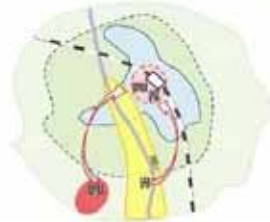


補助対象費のかさ上げ

災害ハザードエリアから移転を行う事業(立地適正化計画に記載された防災指針に即した事業)に限り、誘導施設に係る補助対象費を1.2倍にかさ上げ。

凡例

- ハザードエリア
- 浸水想定区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域



<補助対象事業費のかさ上げのイメージ>



- ※ 補助対象事業費：設計費、土地整備費、用地取得費^{※1}、共同施設整備費、専有部整備費^{※2}、負担増分用地費、賃借料
- ※1 用地取得費については、解体、広場、通路等の公共的用に供する敷地に相当する部分に限る。
- ※2 専有部整備費は、トイレ、専有部整備に要する費用の2.3%とする。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	実績なし			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	実施予定なし			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	未定			

被害対象を減少させるための対策

事業名:防災集団移転促進事業

国土交通省

- 住民の生命等を災害から保護するため、**住民の居住に適当でない**と認められる区域内にある住居の**集団的移転**を促進することが目的
- 地域の合意形成の下、地域まるごとの集団移転を行い、地域コミュニティの維持、防災性向上を実現

事業メニューの内容、イメージ

○市町村は、移転促進区域の設定、住宅団地の設定、移転者に対する助成等について、集団移転促進事業計画を定める

- ①住宅団地の用地取得及び造成に要する費用
(団地を移転者に分譲する場合は国庫補助対象外)
- ②移転者の住宅建設・土地購入に対する補助に要する経費
(住宅ローンの利子相当額)
- ③住宅団地の係る道路、飲料水供給施設、集会所等の公共施設の整備に要する経費
- ④移転促進区域内の土地の買取に要する経費
(やむを得ない場合を除き、移転促進区域内のすべての住宅の用に供する土地を買い取る場合に限り)
- ⑤移転者の住居の移転経費(引っ越し費用等)に対する補助に要する経費
- ⑥事業計画等の策定に必要な経費○支援額の算出方法



事業メニューの効果等

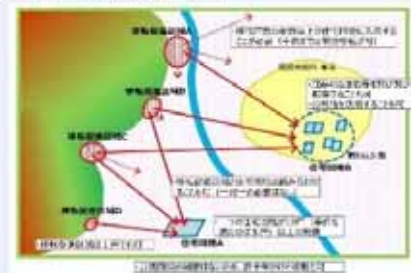
- 地域・集落が抱える防災上の課題
 - ・洪水や津波、土砂災害など、自然災害リスクが高い
 - ・堤防整備など、ハード整備が困難
 - ・地域から、住宅の移転要望がある



市町による事業の実施
移転者への支援
同による特別な支援

集団移転による安全・安心な暮らしの実現

事業メニューの活用イメージ



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	実績なし			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	実施予定なし			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	未定			

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名:集約都市(コンパクトシティ)形成支援事業

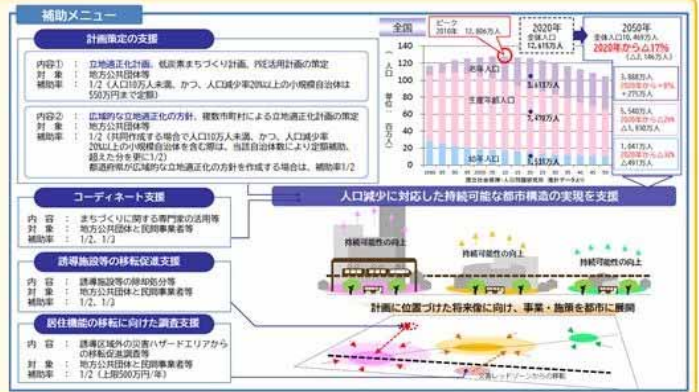
国土交通省

コンパクトなまちづくりを推進するため、立地適正化計画の計画策定や、医療、福祉施設等の集約地域への移転促進、移転跡地の都市的土地利用からの転換等に対する支援を行う

事業メニューの内容、イメージ

- 全国的な人口減少に対応した都市構造の実現を目指すため、立地適正化計画等の計画策定や、医療、福祉施設、居住機能の移転の促進等、コンパクトなまちづくりを推進する地方公共団体に対して、各種事業支援を実施。

- 併せて、立地適正化計画の実効性を高めていくため、各市町村がそれぞれの域内で取組を行うのみならず、都道府県を含めた市町村域を越えた広域的な取組を進めていくことが重要であることから、広域的な取組への支援を実施。



事業メニューの効果等

- リスクの提示**
床上浸水の頻度が高い地域など、災害リスクの高い地域を提示。まちづくりに関する協議会等に河川管理者や下水道管理者等が積極的に参画して関係者と災害リスク情報を共有。
- 住居や都市機能の誘導**
災害リスクの低い地域への住居や都市機能を誘導
- ハザードへの対策**
居住等を誘導すべき区域等の災害リスクを低減させる、河川や下水道、雨水貯留施設、浸透施設等の整備や、土地、家屋の嵩上げ、避難路・避難場所の整備等を重点的に推進

安全・安心な暮らしの実現

事業メニューの活用イメージ

居住機能の移転促進に向けた調査支援

事業主体: 地方公共団体
補助率: 1/2(上限額: 500万円)

(調査内容の具体例)

- 地域・集落における移転の意向
- 望まれる移転先の場所
- 移転先に望まれる施設や機能
- 移転に必要な費用な試算(不動産鑑定等も可)
- 移転後の跡地の処理方法
- 移転先における居住体験と評価
- 移転計画のモデル的な実施



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	当該事業を活用し、長浜市および守山市が防災指針を位置付けた立地適正化計画の策定・見直しを公表し、竜王町が立地適正化計画の策定に取り組んでいる。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	希望する市町において実施する予定。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	希望する市町において実施する予定。			

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

被害対象を減少させるための対策

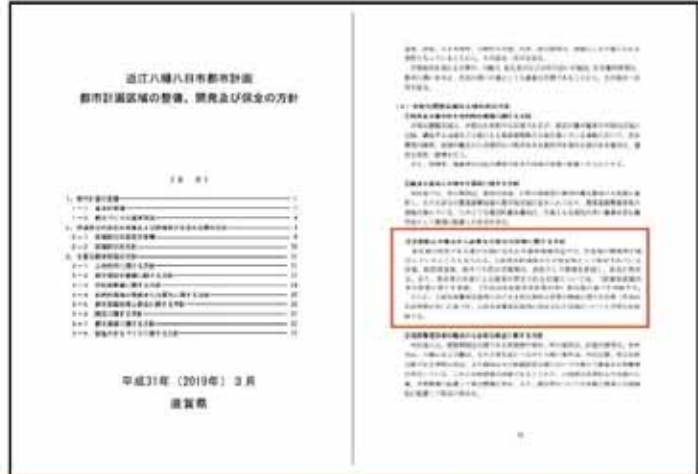
業務名：区域区分に関する都市計画の決定または変更

滋賀県

- 都市計画区域の「整備、開発及び保全の方針」に、防災関連の記載
- 滋賀県流域治水の推進に関する条例に基づき、市街化区域への編入条件を強化

内容

- ①都市計画区域の「整備、開発及び保全の方針」に災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針を決定
(左に記載の例は、近江八幡八日市都市計画都市計画区域の整備、開発及び方針の抜粋)
- ②「都市計画法による市街化区域および市街化区域の区域区分と治水事業との調整措置等に関する方針について」(昭和45年1月8日建設省郡計発第661号)および「滋賀県流域治水の推進に関する条例」(平成26年滋賀県条例55号)に基づき、10年に1回の割合で発生が予想される降雨が生じた場合における想定浸水深が0.5m以上である土地の区域を市街化区域に含めないこととする。
※ただし、浸水による場害の発生、身体および財産に対する著しい被害の発生を防止するための対策が講じられ、または確実に防止されると見込まれる場合は、この限りでない。



効果等

- ・都市計画区域の「整備、開発及び保全の方針」に災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針を記載することにより、これに即して作成される「市町村の都市計画に関する基本的な方針」にも記載内容が反映され、安全なまちづくりの推進が図られる。
- ・一定以上の降水による災害が見込まれる地域を、対策なしでは市街化区域に編入できないこととすることで、被害を未然に防止する。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	大津湖南都市計画、彦根長浜都市計画、近江八幡八日市都市計画および甲賀都市計画の変更			
		近江八幡八日市都市計画の「区域区分」および「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」および甲賀都市計画区域の「区域区分」および「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の変更に向け関係機関と協議中。 大津湖南都市計画区域の「区域区分」および彦根長浜都市計画区域の「区域区分」および「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の変更は今年度変更済み。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	近江八幡八日市都市計画および甲賀都市計画の変更			
		近江八幡八日市都市計画「区域区分」および「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」および甲賀都市計画区域の「区域区分」および「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の変更予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	未定。			

被害対象を減少させるための対策

事業名：都市防災総合推進事業

国土交通省

○避難地・避難路等の公共施設整備や避難場所の整備、避難地・避難路周辺の建築物の不燃化、木造老朽建築物の除却及び住民の防災に対する意識の向上等を推進し、防災上危険な市街地における地区レベルの防災性の向上を図る取組を「都市防災総合推進事業」(防災・安全交付金の基幹事業)により支援

事業メニューの内容、イメージ

○都市防災総合推進事業の概要 事業主体：市町村、都道府県等

事業メニュー	主な交付対象施設等	国費率
①災害危険度判定調査	・各種災害に対する危険度判定調査	1/3※1
②盛土による災害防止のための調査	・盛土等に伴う災害の発生の恐れがある区域の把握及び既存の危険な盛土の把握のために必要な調査	1/3 (R6年度まで1/2)
③住民等のまちづくり活動支援	・住民等に対する啓発活動 ・まちづくり協議会活動助成	1/3※1
④事前復興まちづくり計画策定支援	・事前復興まちづくり計画策定	1/3
⑤地区公共施設等整備	・地区公共施設(避難路、避難地(避難地に設置する防災施設を含む))	用地1/3 工事1/2 ※1※2
	・地区緊急避難施設(指定緊急避難場所(津波避難タワー等)、避難場所の機能強化(防災備蓄倉庫、非常用発電施設等))	用地1/3 工事1/2 ※1※2
⑥都市防災不燃化促進	・耐火建築物等の建築への助成	調査1/3
		工事1/2※1
⑦木造老朽建築物除却事業	・密集市街地における木造老朽建築物の除却への助成	※1
⑧被災地における復興まちづくり総合支援事業	・復興まちづくり計画策定 ・地区公共施設、地区緊急避難施設	1/2
	・高質空間形成施設 ・復興まちづくり支援施設	1/3※1

※1：事業者が地方公共団体以外の場合については、下記の通り
 ・①、②、⑤(地区緊急避難施設に限る)、⑦、⑧(復興まちづくり支援施設整備助成に限る)については、地方公共団体の補助に要する費用の1/2又は当該事業に要する費用の1/3のいずれか低い額
 ・⑤を防災街区整備推進機構が行う場合については、地方公共団体の補助に要する費用の1/2
 ・⑥の工事費については、当該事業に要する費用の1/2
 ※2：南海トラフ特措法又は日本海溝・千島海溝特措法に基づき津波避難対策緊急事業計画に位置づけられ、一定の要件を満たす避難場所、避難路の整備については国費率2/3

事業メニューの効果

- 【ハード対策】
 ○避難路、避難地の整備
 ○避難路の安全性確保のための対策
 (例：アンダーパス等における排水ポンプ)
 ○避難地・防災公園の防災対策
 (例：マンホールトイレ)
 ○防災空地の確保
- 【ソフト対策】
 ○事前復興まちづくり計画の策定
 ○災害危険性の把握、ハザードマップ作製

事業メニューの実施事例



避難場所となる公園



津波避難タワー

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災機能を備えた公園の整備(彦根市、竜王町) ○彦根市：設計・調査を実施 ○竜王町：避難地整備を実施			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災機能を備えた公園の整備(彦根市、竜王町) ○竜王町：避難地整備を実施予定			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災機能を備えた公園の整備(彦根市、竜王町) ○竜王町：避難地整備を実施予定			

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

国土交通省

○ 誰もが安全、安心、快適に都市公園を利用できるよう、バリアフリー化の推進のほか、豪雨などの災害や犯罪から公園利用者の安全を確保するための整備を支援する。

事業メニューの内容、イメージ

本事業は身近な小さな公園の改修等も対象となります。
(都市公園整備への一体的な交付案件) (本事業)

1. 公園の面積要件	2ha以上	赤	公園面積が2ha以上かつ、公園利用者の安全確保が目的の公園(公園利用者の安全確保が目的の公園)
2. 一人当たり公園面積	10㎡未満	黄	公園面積が2ha未満かつ、公園利用者の安全確保が目的の公園(公園利用者の安全確保が目的の公園)
3. 公園整備要件	2.5割以上	青	公園面積が2ha以上かつ、公園利用者の安全確保が目的の公園(公園利用者の安全確保が目的の公園)

公園対策

- 公園整備対策
- 公園施設の向上

2023年度まで

施設改修

- 建築物の補修
- 天井落下対策

2025年度まで

防犯性の向上

- 照明設置
- 植栽等の内整備

バリアフリー化

- 多機能トイレ設置
- スロープ設置

感染対策

- 衛生環境改善
- 3密回避

事業メニューの実施事例

トイレのバリアフリー化事例
高野町「若菜で安心な野や公園づくり」公園整備事業から引用

法面崩壊対策の事例
法面崩壊対策公園 藤山公園

事業メニューの効果

- ・ 都市公園の防犯性の向上
- ・ 都市公園の豪雨災害の防止、安全度の向上
- ・ 都市公園内の建物又は橋梁の耐震改修による安全度の向上
- ・ 都市公園施設のバリアフリー化による快適性の向上
- ・ 都市公園の感染症対策による衛生環境改善、3密回避

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	びわこ地球市民の森 令和3年8月豪雨による周辺地域の浸水被害の防止のため、対策工の設計および工事を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	びわこ地球市民の森 令和3年8月豪雨による周辺地域の浸水被害の防止のため、対策工の設計および工事を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	びわこ地球市民の森 令和3年8月豪雨による周辺地域の浸水被害の防止のため、対策工の設計および工事を実施予定。			

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：都市空間情報デジタル基盤構築支援事業

国土交通省

- 人間中心の社会を実現するため、基盤となる3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進
- 防災、まちづくり、環境、モビリティ、防犯、健康など様々な分野における地域課題の解決に役立つユースケースを開発することが可能

事業メニューの内容、イメージ

■3D都市モデルの整備に関する事業

3D都市モデルの整備又は更新に要する費用

【補助対象】

- ・ 3D都市モデルを整備するための都市基本図、都市計画基礎調査等のデータ収集・整理に要する費用
- ・ モデル立ち上げに要する費用
- ・ 作成データを可視化するためのシステム導入・改修に要する費用
- ・ オープンデータ化に要する費用
- ・ その他調査経費 等

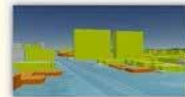


■3D都市モデルの活用に関する事業

都市計画・まちづくり、防災、地域活性化、観光、環境・エネルギー、交通安全・防犯、民間サービス創出支援その他の地方公共団体における課題解決又は新たな価値創造に資する3D都市モデルの活用に関する費用

【補助対象】

- ・ ユースケース開発に必要なデータ収集・3Dデータ作成に要する費用
- ・ データを活用した分析・シミュレーション・アプリ開発等に要する費用
- ・ 住民説明等に要する費用
- ・ 作成・分析したデータの政策活用(庁内活用も含む)に要する費用
- ・ その他調査経費 等



- 洪水シミュレーション
- 浸水被害リスク情報の可視化
- 住民説明用の動画作成



- 土砂災害及び情報可視化
- ⇒立地適正化計画への応用

事業メニューの効果

■3D都市モデルの提供価値



ビジュアルズ(視覚性)

都市空間を立体的に認識可能となり説明力や説得力が向上

シミュレーション(再現性)

立体情報を持った都市空間をサイバー上に再現することで、幅広く、精密なシミュレーションが可能

インタラクティブ(双方向性)

フィジカル空間とサイバー空間が相互に情報を交換し作用し合うためのプラットフォームを提供

事業メニューの実施事例

3D都市モデルの建築物と災害リスク情報(洪水浸水想定区域図)を三次元的に分析し、建物の高さ、用途、構造等の情報を活用して最大浸水深のときに最上階が浸水しない建物を垂直避難可能な建築物としてピックアップし、防災政策に活用。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備した3D都市モデルの活用し、出前講座においてリスクコミュニケーションを図った。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備した3D都市モデルの活用し、住民等とのリスクコミュニケーションを図る予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	希望する市町において実施する予定。			

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

グリーンインフラの取組

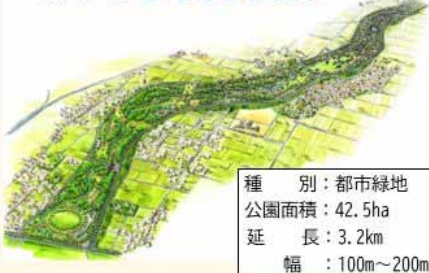
事業名：県民との共同による森づくり

滋賀県・守山市

○地球上で失われつつある森の再生による二酸化炭素の排出抑制
 ○未来の子どもたちのための植樹・育樹活動を行い、森をつくり、育て、次の世代に引き継ぐ

事業メニューの内容、イメージ

県民との協働による森づくり
 ～びわこ地球市民の森～



種別：都市緑地
 公園面積：42.5ha
 延長：3.2km
 幅：100m～200m

・治水対策として昭和54年（1979年）に新たに整備された野洲川放水路が通水されたことにより廃川された野洲川南流の跡地活用

・平成13年（2001年）から平成25年（2013年）にかけ、延べ45,994人により、160,967本の苗木を植樹

・平成26年（2014年）以降、健全な森へ成長できるよう、ボランティアの皆様と間伐や枝打ち・下草刈り等の育樹活動を実施

事業メニューの実施事例



植樹状況



平成13年（2001年）植樹スタート



令和3年（2021年）育樹状況

事業メニューの効果

・びわこ地球市民の森における1年間あたりの炭素吸収量は、約39.1炭素トン

※樹林面積約23.0ha、20年生のクヌギ（1.7炭素トン/ha・年）として計算



育樹状況



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	びわこ地球市民の森育樹活動を実施。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	びわこ地球市民の森育樹活動を実施予定。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	びわこ地球市民の森育樹活動を実施予定。			

構成員 滋賀県 土木交通部 都市計画課

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：みどりとみずべの将来ビジョン	滋賀県
湖辺域を「保全」「利用」「活用」の3つのエリアに区分し、各エリアの将来イメージを踏まえた利活用を促すことで、湖辺域における「守る」と「活かす」の好循環に資するまちづくりの方向性を示す。	
<p>ビジョンの構成</p> <p>①推進ワーキンググループ（以下、推進WG） > 具体の事業の実現性、課題、推進方針の検討 > 具体施策の推進組織の構築に関する調整</p> <p>②検討会議（定期開催） > ビジョンを踏まえた保全・利用・活用の具体的な取組事例の共有 > 具体施策に関する推進WGからの報告の共有 > 各自治体の各種施策等の本ビジョンへの位置づけの検討 （必要に応じて、ビジョンの見直し検討）</p>	<p>エリア区分図</p> <p>①保全：琵琶湖周辺の貴重な自然環境、歴史・文化的景観を守る</p> <p>②利用：誰もが気軽に湖畔を体感し、楽しむ活動を促進する</p> <p>③活用：様々な主体との連携により、湖辺での賑わいを創出する</p>
<p>構成イメージ図</p> <p>事業者 → 発信 → 県 → 発議 → 検討会議</p> <p>事業者 → 提案 → 当該市 → 発議 → 検討会議</p> <p>県 ↔ 協力 ↔ 当該市</p> <p>検討会議 → 報告 → 推進WG</p> <p>推進WG → 個別施策協議依頼 → 検討会議</p>	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	令和7年度みどりとみずべの将来ビジョン検討会議 令和7年度内に検討会議を開催予定。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	令和8年度みどりとみずべの将来ビジョン検討会議 令和8年度内に検討会議を開催予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	令和9年度みどりとみずべの将来ビジョン検討会議 令和9年度内に検討会議を開催予定。			

構成員 滋賀県 土木交通部 道路整備課

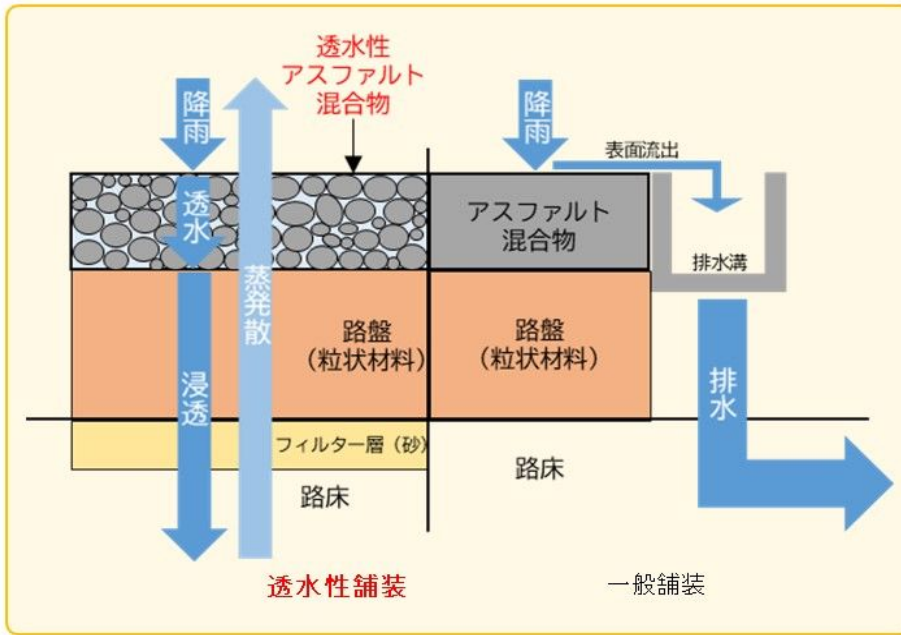
(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：地下浸透対策

滋賀県土木交通部
道路整備課・道路保全課

- 県管理道路の歩道において、雨水を地盤に浸透させる透水性舗装により実施する
- 雨水を地盤に浸透させ、雨水貯留浸透機能の維持を図る



事業メニューの内容、イメージ

透水性舗装とは
雨水を空隙の多い多孔質な表層材から路盤、路床に浸透、保水させることにより雨水を地中に還元させる構造の舗装

事業メニューの効果

- ・透水性舗装は雨水を地盤にしみこませる機能を持っているため、ヒートアイランド対策や洪水対策が期待される

事業メニューの実事例

透水性舗装

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	歩道の透水性舗装 県が事業中のバイパス整備や歩道設置工事において、透水性舗装を施工			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	歩道の透水性舗装 県が事業中のバイパス整備や歩道設置工事において、透水性舗装を施工			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	歩道の透水性舗装 県が事業中のバイパス整備や歩道設置工事において、透水性舗装を施工			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線

滋賀県琵琶湖環境部 下水道課

守山市および栗東市の浸水被害を軽減するため、県が雨水流域下水道を整備する

○計画の目的と経緯

- ・事業対象区域は、市街化の進展により数年に一度、浸水被害が発生。
- ・雨水対策施設は公共下水道として市町で整備しているが、複数市にまたがる区域を流域下水道として整備し、早期の浸水防止効果を図る。

平成11年度 流域雨水幹線の整備について、両市長から知事へ要望
 平成12年度 下水道法事業認可
 平成14年度 工事着手
 平成21年度 一部供用開始 約2.6km (守山市勝部地先まで)
 令和5年2月 全線工事完了

○計画概要

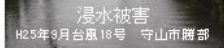
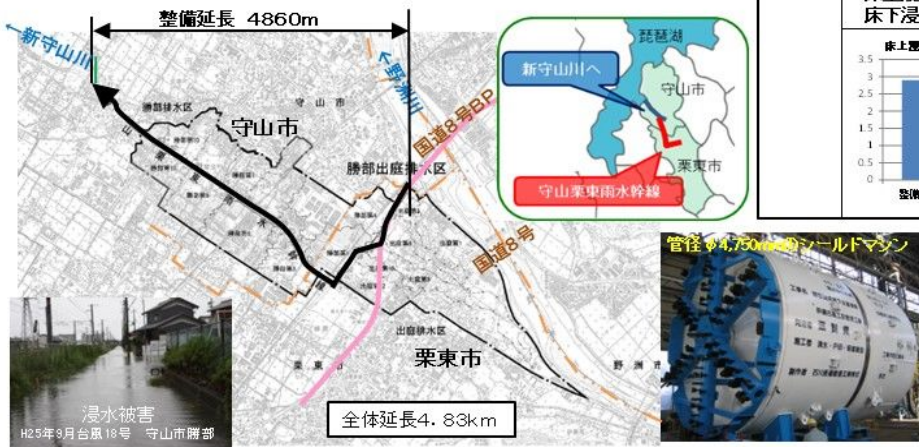
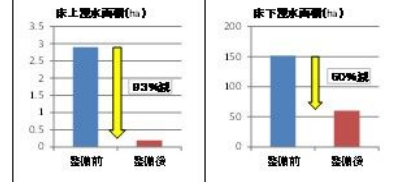
- 【計画降雨強度】 50mm/h(10年確率)
- 【排水区域面積】 487ha(新守山川流域の約60%)
 守山市:246ha、栗東市:241ha
- 【全体事業費】 約120億円
- 【計画断面】 管渠φ4.75m~□2.0m×1.6m

○整備効果

浸水被害の削減

50年確率の降雨(時間86mm)に対する整備効果

床上浸水面積 約3ha → 93%減
 床下浸水面積 約150ha → 60%減



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線 全線供用済			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線 全線供用済			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線 全線供用済			

被害対象を減少させるための対策

事業名：琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線(雨水出水浸水想定区域図)

滋賀県琵琶湖環境部 下水道課

勝部出庭排水区における想定最大規模降雨による内水浸水リスクを示すため、雨水出水浸水想定区域図の作成を行う。

○計画の目的と経緯

- ・流域治水関連法の改正により、雨水出水浸水想定区域の指定対象が拡大され、樋門等の操作規則の策定義務化や雨水出水浸水想定区域の指定対象の拡大等が行われた。
- ・雨水出水浸水想定区域の指定については、原則、雨水事業を実施している全ての団体が指定の対象になった。
- ・滋賀県の場合は守山栗東雨水幹線が対象。

○計画概要

- ・水災害リスク情報の空白地帯解消の観点から、下水道による浸水対策について、雨水出水浸水想定区域図の策定を行う。
- ・守山栗東雨水幹線および勝部出庭排水区の浸水シミュレーションを行い、雨水出水による浸水の情報を住民に周知する。

○発現効果

- ・浸水想定区域および浸水した場合に想定される水深を共有し、住民の防災対策に役立つ。
- ・浸水情報と共に避難方法に係る情報も住民にわかりやすく示し、効率的な自助・共助に役立つ。

○スケジュール

- ・令和7年度に守山栗東雨水幹線に関する雨水出水浸水想定区域の指定を行った。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線浸水想定区域図作成策定済			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線浸水想定区域図作成策定済			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖流域下水道守山栗東雨水幹線浸水想定区域図作成策定済			

グリーンインフラの取組

事業名：市街地排水浄化対策事業

滋賀県・草津市

○琵琶湖の中でも閉鎖性水域である中間水路の水質浄化のため、草津市の山寺川流域から流出する市街地排水の一部を貯留することで汚濁を沈殿除去し、さらに上澄み水は植生などを利用して浄化することにより、汚濁負荷(COD,窒素、リンなど)を軽減する。

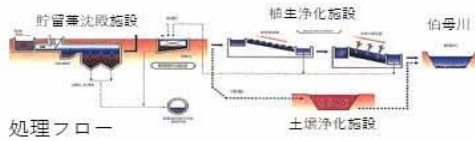
事業メニューの内容、イメージ

山寺川流域
市街地排水浄化対策施設



施設全景

- ・市街地約80haから流出する負荷量を削減するため、雨水幹線の下流に廃川敷地を活用し整備したもの
- ・滋賀県と草津市の共同事業 (国土交通省新世代下水道支援事業)
- ・現在は季節に応じて貯留兼沈殿施設、植生浄化施設、土壌浄化施設を活用した効率化運転を実施している



事業メニューの実施事例



維持管理作業(清掃植え替え作業)の状況

実施前



実施後

事業メニューの効果

・下水道整備が進んだことなどから、本施設に流入する負荷量は減少傾向にあるが、琵琶湖(中間水路)に流出する負荷の削減に寄与している



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	季節に応じた効率化運転を実施中。 設備定期点検、植生維持管理等を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	運転継続予定。 設備定期点検、植生維持管理等を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	運転継続予定。 設備定期点検、植生維持管理等を実施予定。			

構成員 滋賀県 琵琶湖環境部 森林保全課

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：補助治山事業、農山漁村地域整備交付金

滋賀県

○森林の維持造成を通じて森林の山地災害防止機能、水源かん養機能を高め、山地に起因する災害および洪水氾濫を予防する。
○山腹崩壊、土石流・流木の災害から人家等を保全する。

事業メニューの内容、イメージ

間伐等の森林整備により下層植生等を発達促進、山腹崩壊地等に土留工等の表面侵食防止等を行い山地災害防止機能や水源涵養機能を高める

流木化のおそれがある立木の伐採、及び流木捕捉式治山ダム等の設置等による効果的に流木の捕捉し、下流域の被害拡大の抑制を行う

治山ダム等の設置による渓床の安定や土石流の防止、流木の流出拡大防止等により下流域の被害拡大の抑制を行う

事業メニューの実施事例

間伐等の実施により林内に光が入り下層植生が回復している

土留工等により表面侵食が抑制されている

治山ダム工により渓床の安定が図り土石流の発生を抑制する

流木の捕捉が可能な治山ダム工により流木の発生を抑制する

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	山地災害の防止、水源涵養の向上のための治山事業 山地治山総合対策事業、流域保全総合治山等事業、農山漁村地域整備交付金などにより、山地災害の防止、水源涵養の向上のための治山事業を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	山地災害の防止、水源涵養の向上のための治山事業 山地治山総合対策事業、農山漁村地域整備交付金などにより、山地災害の防止、水源涵養の向上のための治山事業を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	山地災害の防止、水源涵養の向上のための治山事業 R7年度以降、山地災害の防止、水源涵養の向上のための治山事業を実施予定。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 グリーンインフラの取組

事業名：森林整備事業

滋賀県琵琶湖環境部
森林保全課

- 森林整備事業は、森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ、計画的に間伐や主伐後の再造林等を進めています。
- 森林整備を進めることで、森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を発揮させ流域治水に寄与しています。

森林は、木材の生産などの物質生産機能をはじめ、生態系保全や生物種の保全としての生物多様性保全の機能、地球温暖化の緩和、地球気候システムの安定化などの地球環境保全機能等の多面的な機能を有しています。森林の多面的な機能の中には、水源かん養機能や土砂災害防止機能も含まれており流域治水に寄与しています。

○森林の水源かん養機能

森林に降った雨は、一部は蒸発し、多くはいったん地中に浸み込んで地下水となり、時間をかけて下流の河川に流出します。このような水循環の仕組みによって、洪水の緩和、濁水の緩和や水質の浄化といった水源かん養機能を発揮しています。



○土砂災害防止機能

森林の下層植生や落枝落葉が地表の浸食を抑制するとともに、森林の樹木が根を張り巡らすことによって土砂の崩壊を防いでいます。



適切に整備された森林



森林整備（鉋出間伐）の状況

県では、このような森林の多面的機能を維持するために、除伐、間伐といった森林の整備に補助造林事業、農地漁場水源確保森林整備事業、環境林整備事業により支援を行っています。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画的な間伐や再造林等の森林整備の実施			
	補助造林事業、農地漁場水源確保事業、環境林整備事業などにより、計画的な間伐や再造林などの森林整備を実施。				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画的な間伐や再造林等の森林整備の実施			
	補助造林事業、農地漁場水源確保事業、環境林整備事業などにより、計画的な間伐や再造林などの森林整備を実施予定。				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	計画的な間伐や再造林等の森林整備の実施			
	R7年度以降、計画的な間伐や再造林などの森林整備を実施予定。				

グリーンインフラの取組

事業名：早崎内湖再生事業

滋賀県

かつての早崎内湖は多様な役割を果たしており、生態系や周辺の人々も多くの恩恵を受けてきたが、内湖から田へと干拓したことで、貴重な生態系や内湖ならではの人々との関わりが失われた。内湖を再生することにより、琵琶湖の貴重な生態系や生物多様性に貢献する。

事業の内容

- ・ 自然環境・生態系を育成する場の再生
 - ・ 在来魚の産卵・繁殖、ヨシの生育の場の再生
 - ・ 人々が憩い、環境学習ができる場の再生
- に取り組んでいる。



令和7年5月撮影

事業の実施事例

- ・ 琵琶湖との連続性を確保し、多様な環境を再生するためかつての内湖湖底の地盤高に戻す整備や、水陸移行帯造成のための緩勾配法面形成を行った。
- ・ 観察会を行い、地元の人々に環境学習の機会を提供した。



内湖から田へ(昭和57年9月撮影)
※国土地理院撮影の空中写真を加工して掲載



工事中(令和6年3月撮影)

事業の効果

- ・ ヨシ等の生育が確認されるとともに、かつて早崎内湖を琵琶湖最大の産卵場としていたゲンゴロウブナ等の産卵も確認された。
- ・ 毎年冬にはコハクチョウのねぐらになっている。
- ・ 写真撮影に訪れる人や環境学習の場としての提供を求められることが増えている。



コイの産卵の様子



コハクチョウの群れ



自然回復の様子



観察会の様子

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	詳細設計や観察会等の実施 整備未着手の丁野木川南側部分の詳細設計を作成。 丁野木川北側部分にて築堤の仕上げ等の整備を実施。 地元の人々主導の自然観察会等を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備や観察会等の実施 丁野木川南側部分にて堤体の整備に着手。 丁野木川南側部分にて取水施設の詳細設計を実施。 地元の人々主導の自然観察会等を実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	詳細設計や観察会等の実施 丁野木川南側部分の取水施設の整備を実施。 地元の人々主導の自然観察会等を実施。			

構成員 滋賀県 知事公室 防災危機管理局

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：防災士養成講座の開催

滋賀県
防災危機管理局

- 大規模災害に備え、地域防災の要である自主防災組織を活性化し、地域防災力の向上を図るための自主防災組織のリーダーを育成するための講座を開催する。本講座修了者は、「認定特定非営利活動法人日本防災士機構」が実施する「防災士資格取得試験」を受験することができる。
- 地域防災力の向上により、災害時の避難の実効性の確保が期待される

事業メニューの内容、イメージ



防災士講座の開催

時間	講座名	講師等
8:45～9:15	(受付)	
9:15～9:30	開講式・オリエンテーション	県防災危機管理局
9:30～10:30	防災士の役割	地域防災アドバイザー 笠原恒夫 氏
10:40～11:40	災害医療	大津赤十字病院高度救命救急センター副センター長 竹市康裕 氏
11:40～12:40	(昼食・休憩) 防災関係ビデオ上映	
12:40～13:40	土砂災害と対策	立命館大学理工学部 教授 深川良一 氏
13:50～14:50	公的機関による予報・警報	彦根地方気象台 職員
15:00～16:00	被害想定、避難行動、DIG演習	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター 主任研究員 松川吉家 氏
16:10～17:10		研究員 佐藤史弥 氏
17:10～17:20	(事務連絡)	県防災危機管理局

事業メニューの実施事例

地域における防災の取組の推進

- ・防災(避難)訓練の実施
- ・地区防災計画の策定
- ・要配慮者の避難支援
- ・防災資機材の整備 等

事業メニューの効果



講習やワークショップを通じ、自主防災組織のリーダーに必要な知識を習得する

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自主防災組織等の中核を担う防災士の養成			
	令和7年度末目標値	3,800人			
	令和7年12月末時点	4,112人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自主防災組織等の中核を担う防災士の養成			
	令和8年度末目標値	4,350人			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自主防災組織等の中核を担う防災士の養成			
	令和9年度末目標値	4,600人			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：防災と保健・福祉の連携促進モデル（滋賀モデル）展開事業	滋賀県 防災危機管理局
---------------------------------	----------------

災害が起こるたびに、要支援者(高齢者や障害者等)に被害が集中している傾向があることから、その解決策として防災分野と保健・福祉分野の連携による避難時の個別避難計画の作成を促進するモデル(滋賀モデル)を県内に横展開するとともに、計画の実効性を確保する事業。令和3年度に、この滋賀モデルを県内市町においてモデル的に実証し、令和4年度以降、県内に水平展開をしている。

事業メニューの内容、イメージ

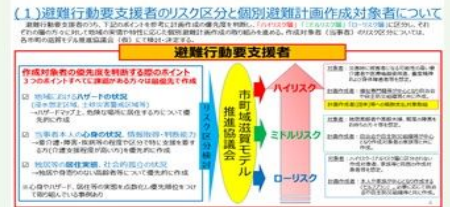


滋賀モデル推進会議の様子

【滋賀モデルとは】

災害時避難行動要支援者のうち、真に支援を要する方を「ローリスク層」「ミドルリスク層」「ハイリスク層」に区分し、それぞれの層の方々に対して地域特性に応じた個別避難計画作成の取り組みを進めるモデル。特に、災害時に被害になる可能性が高い「ハイリスク層」の個別避難計画作成の標準的な手順を中心に示すモデルである。
令和2年度は学識経験者、福祉専門職団体、社会福祉協議会、当事者団体、市町等が参加する意見交換会において滋賀モデルを構築。令和3年度は大津市と高島市をモデル地域として滋賀モデルの実証。令和4年度以降、県内市町に水平展開。

事業メニューの効果



滋賀モデルに基づく取組を推進することによって、要配慮者の避難支援の実効性が確保されるとともに、当事者をはじめ地域や支援者の防災意識の向上が期待される。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	個別避難計画の実効性確保			
		○個別避難計画の作成に係る市町との個別意見交換会の実施 ○市町担当者等を対象にした研修会等の開催 ○県内市町における課題や先進事例の共有 ○計画未作成市町への伴走支援			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	各市町へ滋賀モデルの水平展開			
		○個別避難計画の作成に係る市町との個別意見交換会の実施 ○市町担当者等を対象にした研修会等の開催。 ○県内市町における課題や先進事例の共有 ○個別避難計画といった災害時の要配慮者対策の県民向けに周知・啓発			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	各市町へ滋賀モデルの水平展開			
		○個別避難計画の作成に係る市町との個別意見交換会の実施 ○市町担当者等を対象にした研修会等の開催。 ○県内市町における課題や先進事例の共有 ○個別避難計画といった災害時の要配慮者対策の県民向けに周知・啓発			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：地区防災計画策定推進事業

滋賀県
防災危機管理局

○平成25年の災害対策基本法の改正で、地域コミュニティにおける「共助」を推進するために創設された地区防災計画策定の取組について、県下での取り組みを推進するための事業。
○自主防災組織の充実強化につながり、実効性が高まることが期待される。

事業メニューの内容、イメージ

●人材育成研修会の開催

・防災士等の一定の防災知識を持っている者を対象とした、地区防災計画策定に特化した研修会を実施し、地区防災計画の策定についてノウハウを持っている大学教授レベルの専門家等に依頼し、人材育成を行う。

●計画策定支援

・計画未策定地域の中で、計画策定に意欲のある地域にアドバイザー等を派遣し、計画策定の計画策定の支援を行う。

事業メニューの実施事例

○地区防災計画策定アドバイザー育成研修会の開催



○地区防災計画策定支援



事業メニューの効果

- 住民が地域のリスクを認知することにより、平時から防災意識の向上につながり、災害発生時における防災活動の実効性の確保につながる。
- 計画策定をきっかけに顔の見える関係性が構築され、地域コミュニティの活性化につながる。
- 公的機関等における地区への適切かつ迅速な防災活動の実施。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	人材育成、県全域への展開			
		計画策定アドバイザーを活用し、地区防災計画の普及・促進を行う。市町から推薦をうけた計画未策定地区(県内3地区)へ専門家と計画策定アドバイザーを派遣し、策定までのプロセスやノウハウを学び自律できるよう支援。また人材育成を目的とした計画策定アドバイザー育成研修会の実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	人材育成、普及啓発の取り組み			
		県、防災士等が計画未策定市町地域の掘り起こしを行う。防災士および地区防災計画策定アドバイザーが連携し、計画策定の支援を行う。人材育成を目的とした計画策定アドバイザー育成研修会の実施。地区防災計画策定推進に向けて県民への普及・啓発の実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	人材育成、県全域への展開			
		県、防災士等が計画未策定市町地域の掘り起こしを行う。防災士および地区防災計画策定アドバイザーが連携し、計画策定の支援を行う。人材育成を目的とした計画策定アドバイザー育成研修会の実施。地区防災計画策定推進に向けて県民への普及・啓発の実施。			

構成員 滋賀県 知事公室 防災危機管理局

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：「生活防災」の実践促進および逃げ遅れゼロ実現事業		滋賀県 防災危機管理局	
<p>○具体的な防災への備えにつながる県民の防災意識・防災力の向上を図るとともに、逃げ遅れゼロを実現させるための事業。</p> <p>○防災に関する情報共有を促すことや「しがマイ・タイムライン」を活用した出前講座、学校教育や市町と連携した出前講座の実施などにより、自助や共助の取組の実践を県全域に広げ、県民の逃げ遅れゼロの実現を期待する。</p>			
事業メニューの内容、イメージ			
<p>○「しがマイ・タイムライン」の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 作成ナビ動画の制作 (2) 作成講座の実施 (3) 学校教育や市町と連携した出前講座の実施 (4) (仮称)滋賀県防災アプリを用いた普及啓発 <p>○情報発信に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 公式SNS等による情報発信・交流 (2) 防災アプリ等による啓発 			
事業メニューの実施事例		事業メニューの効果	
<p>地域における防災の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・教員や市町職員との勉強会 ・先進事例をSNS等で紹介 等 		<ul style="list-style-type: none"> ○「しが・マイタイムライン」の普及による計画的な避難行動および逃げ遅れゼロの実現 ○「生活防災」の実践促進による県民の防災意識・防災力の向上 ○交流機会の創出による生活防災の展開 	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	県民の防災意識・防災力の向上を図るための取組を行う			
		○自治会や大学などでの作成講座の実施 ○しがマイタイムラインを学校現場で取り入れていただくように、指導案に基づく県内小学校での作成講座の実施および県内への事例共有 ○SNSなどによる情報発信			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	県民の防災意識・防災力の向上を図るための取組を行う			
		○自治会や大学などでの作成講座の実施 ○しがマイタイムラインを学校現場で取り入れていただくように、指導案に基づく県内小学校での作成講座の実施および県内への事例共有 ○SNSなどによる情報発信 ○滋賀県防災アプリでのマイタイムラインの作成、訓練の実施を啓発			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	県民の防災意識・防災力の向上を図るための取組を行う			
		○自治会や大学などでの作成講座の実施 ○しがマイタイムラインを学校現場で取り入れていただくように、指導案に基づく県内小学校での作成講座の実施および県内への事例共有 ○SNSなどによる情報発信 ○滋賀県防災アプリでのマイタイムラインの作成、訓練の実施を啓発			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：農村地域防災減災事業（ため池整備）

滋賀県農政水産部
農村振興課

○ 集中豪雨や大規模地震から農村地域の暮らしの安全・安心を確保するため、農業用ため池の防災機能の向上を図ります。

事業メニューの内容、イメージ

万一決壊した場合に家屋や公共施設等に大きな被害を与える防災重点ため池を対象に、県、市町、土地改良区、県土連等が連携し、ソフト対策とハード対策を組み合わせ、効果的・効率的な防災工事等の推進を図ります。



事業メニューの実施事例

「滋賀県ため池中長期整備計画」に基づき、防災、減災、保全・管理対策を進めます



現況の堤体は、余裕高不足、取水施設からの漏水、地震に対する安全基準が満たされていなく早期の改修が必要。(工事中)



豪雨・地震対策として改修が完了したため池（甲賀市）

事業メニューの効果

近年、集中豪雨や地震など災害リスクが高まる中、農業用ため池が決壊し人命が失われる事案が全国的に発生しています。本県においても平成29年の台風21号豪雨で農業用ため池が決壊し、下流の農地や人家に大きな被害が発生しました。(右写真参照) このため、農村地域の防災・減災力の一層の強化が喫緊の課題となっており、農業用ため池の防災・減災対策の計画的な推進により、農村地域の暮らしの安全・安心を確保していきます。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	本県の防災重点農業用ため池の防災・減災対策を推進する「滋賀県ため池中長期整備計画」(R元～R12)の中期終了(R7)に伴い、対策の進捗状況やため池を取り巻く情勢変化等を踏まえた計画の見直しを実施予定。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「滋賀県ため池中長期整備計画」に基づき、市町、県土連、土地改良区の連携のもと、適正な保全更新対策や監視・管理体制の強化など、ため池の防災・減災対策を計画的かつ総合的に推進。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「滋賀県ため池中長期整備計画」に基づき、市町、県土連、土地改良区の連携のもと、適正な保全更新対策や監視・管理体制の強化など、ため池の防災・減災対策を計画的かつ総合的に推進。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

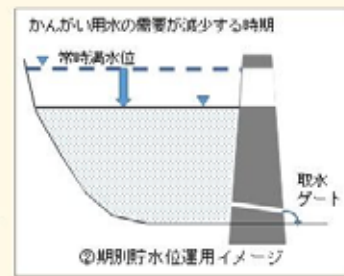
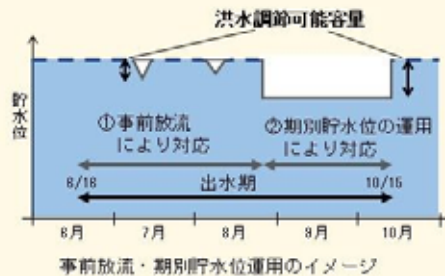
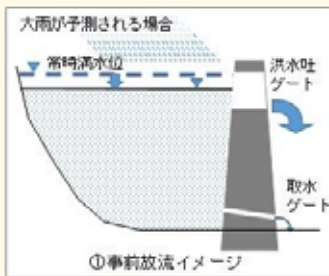
事業名：農業用ダムにおける事前放流等

滋賀県農政水産部
耕地課

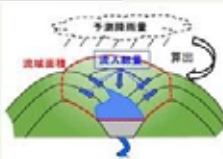
○ 大雨が予測される場合に事前放流を行うなどにより、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する

事業メニューの内容、イメージ

- ①事前放流： 気象予測等から洪水発生が予想される場合(基準降雨量を超える場合)に、貯水位を下げるもの
- ②期別貯水位の運用： かんがい用水の需要が減少する時期等に一定期間、貯水位を下げるもの



事業メニューの効果



ダムの流域で大雨が予測されたときに利水容量の一部を事前に放流し、洪水調節に活用

洪水調節可能容量	
犬上川ダム*	最大725千 m^3

*県内にある農業用ダムのうち、県が造成したもの



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流等 気象予測等から洪水発生が予想される場合(予測雨量が基準降雨量を超える場合)に、事前放流を行うなど、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保するもの。 【実績】犬上川ダムにおいて対象となるような雨量がなかったため、事前放流未実施。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流等 気象予測等から洪水発生が予想される場合(予測雨量が基準降雨量を超える場合)に、事前放流を行うなど、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流等 気象予測等から洪水発生が予想される場合(予測雨量が基準降雨量を超える場合)に、事前放流を行うなど、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。			

構成員 滋賀県 農政水産部 農村振興課

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 グリーンインフラの取組

事業名：世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策

滋賀県 農政水産部
農村 振興課

- 過疎・高齢化・混住化等の進行に伴い、農家だけで農地や農業用施設を適正に保全管理することが難しくなっている。
- 遊休農地や耕作放棄地の増加により、農地のもつ多面的機能の発揮が困難になりつつある。
- 農家・非農家、老若男女を問わず、地域ぐるみで環境に配慮しながら、農地や農業用施設の適正な保全管理を行い、豊かな資源を有する農山漁村を次世代に引き継ぐ。



事業メニューの内容

◆農地維持活動

地域ぐるみで行う環境に配慮した活動や、地域資源(農地、水路、農道、ため池など)の適正な保全管理にかかる活動(農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の砂利補修など)を支援。

◆資源向上(共同)活動

資源保全管理体制を整備しつつ、老朽化した水路等の長寿命化対策や水質保全活動(透視度調査、水守当番による排水調査など)・生態系保全活動(生きもの調査など)等を通して、安全安心で人や生きものがにぎわう農村の実現をめざすための活動を支援。また、標準的な取り組みに追加し公共用水域の水質保全(浄化池の維持管理)・水田貯留機能の回復(田んぼダムの取組み)・生物多様性の回復(水田、水路魚道の設置)の活動を支援。

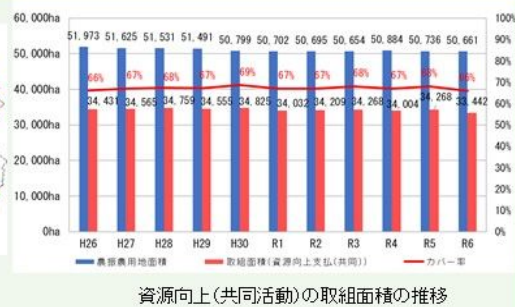
実施事例



事業メニューの効果

◆県内農振農用地面積の約7割を占める地域において、水質保全・生態系保全活動(資源向上(共同)活動)を実施。

◆活動組織を対象としたアンケート調査で、約7割の活動組織が、「水質保全等に効果が出てきたと思う」と回答。



取組の位置

資源向上(共同活動)の取組面積の推移

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域共同で行う農地・水路等の日常管理と農村環境を保全する活動、多面的機能の増進を図る活動および施設の長寿命化を図る取組等に対して支援を行い、農村地域力の向上を図ります。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域共同で行う農地・水路等の日常管理と農村環境を保全する活動、多面的機能の増進を図る活動および施設の長寿命化を図る取組等に対して支援を行い、農村地域力の向上を図ります。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域共同で行う農地・水路等の日常管理と農村環境を保全する活動、多面的機能の増進を図る活動および施設の長寿命化を図る取組等に対して支援を行い、農村地域力の向上を図ります。			

構成員 滋賀県 農政水産部 農村振興課

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名:魚のゆりかご水田プロジェクト

滋賀県
農政水産部農村振興課

○世界農業遺産に認定された「森・里・湖」に育まれる漁業と農業が織りなす『琵琶湖システム』を次世代に引き継いでいくため、農業排水路に魚道を設置しニゴロブナ等の湖魚が水田で産卵・成育できるような水辺の環境を取り戻す「魚のゆりかご水田プロジェクト」を推進しています。

事業メニューの内容、イメージ

魚道を設置し、排水路の水位を階段状に田んぼの高さまで引き上げます。琵琶湖から遡上してくる湖魚が田んぼで産卵し、稚魚が育つようになります。



写真 堰上げ式魚道の設置の様子 (高島市マキノ町知内 R6.5.19)



写真 魚道を遡上する群れ (彦根市田附町 R2年度撮影)



写真 水田で育つフナ類の稚魚

事業メニューの効果

- ・田んぼは、エサが豊富で外来魚がないため、稚魚の成育に適した環境をつくれます。
- ・田んぼに魚がいることで、子ども達も田んぼやお米づくりに興味を持つようになります。
- ・魚道の多面的機能として、一時的に水を溜め、濁水の流出を抑えることができます。
- ・多くの人が田んぼを訪れ、地域に人と人との交流が生まれます。
- ・「魚のゆりかご水田米」の認証により、ブランド米として販売されます。



写真 田んぼで育ったフナ類の稚魚(流下状況調査より)



写真 生き物観察会のような様子



写真 魚のゆりかご水田米販売の様子

事業メニューの実施事例

琵琶湖辺の17の地域で実施されています。田んぼのオーナー制度に取組んでおられる地域もあり、田植体験、生きもの観察会、収穫体験等の行事が行われ、都市部と農村部を結ぶ懸け橋にもなっています。

また、「魚のゆりかご水田米」を使ったお酒や米粉のケーキづくりなど6次産業化にも取り組んでいます。



写真 魚のゆりかご水田米を使ったお酒



写真 魚のゆりかご水田米の試食販売

魚のゆりかご水田米のPRのため、百貨店での試食販売やPR活動に取り組んでいます。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	湖魚が琵琶湖から産卵のために遡上した水田で、農薬・化学肥料を通常の5割以下に抑え、稚魚と一緒にスクスクと育ったお米を「魚のゆりかご水田米」として認証しました。「魚のゆりかご水田」の取組に対して支援を行うとともに、販売促進のための活動を行いました。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	湖魚が琵琶湖から産卵のために遡上した水田で、農薬・化学肥料を通常の5割以下に抑え、稚魚と一緒にスクスクと育ったお米を「魚のゆりかご水田米」として認証します。「魚のゆりかご水田」の取組に対して支援を行うとともに、販売促進のための活動を行います。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	湖魚が琵琶湖から産卵のために遡上した水田で、農薬・化学肥料を通常の5割以下に抑え、稚魚と一緒にスクスクと育ったお米を「魚のゆりかご水田米」として認証します。「魚のゆりかご水田」の取組に対して支援を行うとともに、販売促進のための活動を行います。			

構成員 近畿農政局

(個票)

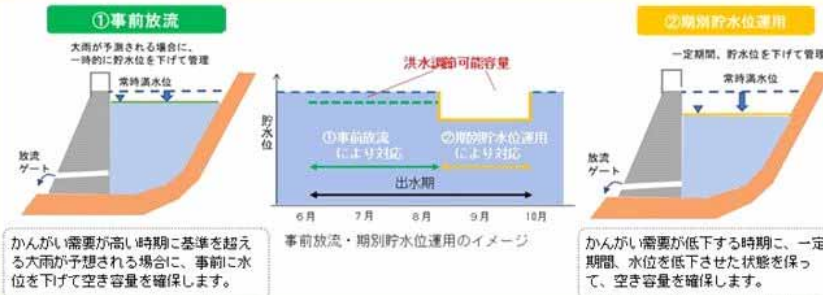
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：農業用ダムにおける事前放流等

近畿農政局

- 事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。
- 期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



○近年の水害の激甚化等を踏まえ、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大活用できるように、河川管理者とダム管理者及び関係利水者との間において、水系毎に治水協定を締結。

○令和7年度の出水期においては、淀川水系治水協定に基づき、期別の貯水位運用を実施し、所定の洪水調節容量を確保した。

事業メニューの効果

○治水協定の別紙に記載する洪水調節可能容量等

	洪水調節容量(万m ³) ※農業用ダム(対象外)	洪水調節可能容量* (万m ³)	基準降雨量
永源寺ダム	-	747	502mm

※事前放流と期別貯水位のいずれか確保容量の大きい方を記載

	水位を低下させた状態とする貯水位運用を行う期間	水位を低下させた状態により確保可能な容量(万m ³)
永源寺ダム	9/1 ~ 10/15	747

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流等			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	①事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。②期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。 【実績】①基準降雨量を上回る降雨はなく、事前放流は未実施、②は実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	①事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。②期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。			

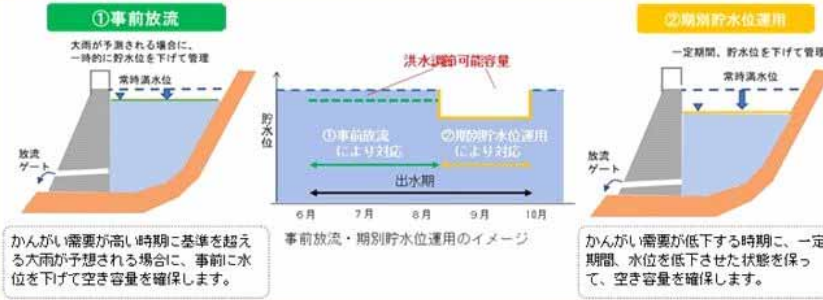
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：農業用ダムにおける事前放流等

近畿農政局

- 事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。
- 期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



○近年の水害の激甚化等を踏まえ、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大活用できるように、河川管理者とダム管理者及び関係利水者との間において、水系毎に治水協定を締結。

○令和7年度の出水期においては、淀川水系治水協定に基づき、期別の貯水位運用を実施し、所定の洪水調節容量を確保した。

事業メニューの効果

○治水協定の別紙に記載する洪水調節可能容量等

	洪水調節容量 (万m3) ※農業用ダムは対象外	洪水調節可能容量* (万m3)	基準降雨量
蔵王ダム	-	213	377mm

※事前放流と期別貯水位のいずれか確保容量の大きい方を記載

	水位を低下させた状態とする貯水位運用を行う期間	水位を低下させた状態により確保可能な容量 (万m3)
蔵王ダム	9/5 ~ 10/15	213

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流等			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	①事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。②期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。 【実績】①基準降雨量を上回る降雨はなく、事前放流は未実施、②は実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	①事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。②期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。			

構成員 近畿農政局

(個票)

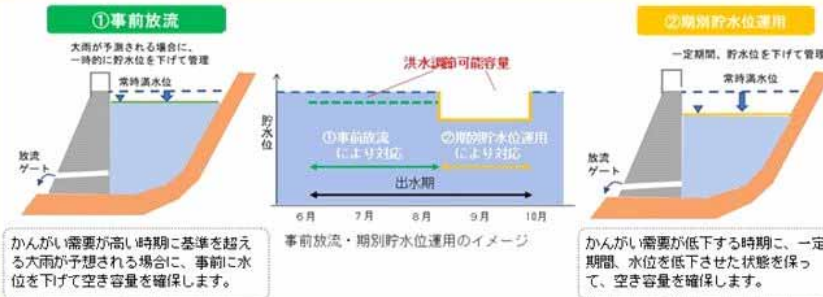
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：農業用ダムにおける事前放流等

近畿農政局

- 事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。
- 期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



野洲川ダム
○近年の水害の激甚化等を踏まえ、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大活用できるように、河川管理者とダム管理者及び関係利水者との間において、水系毎に治水協定を締結。

○令和7年度の出水期においては、淀川水系治水協定に基づき、期別の貯水位運用を実施し、所定の洪水調節容量を確保した。

事業メニューの効果

○治水協定の別紙に記載する洪水調節可能容量等

	洪水調節容量 (万m3) ※農業用ダムは対象外	洪水調節可能容量* (万m3)	基準降雨量
野洲川ダム	-	656	538mm

※事前放流と期別貯水位のいずれか確保容量の大きい方を記載

	水位を低下させた状態とする貯水位運用を行う期間	水位を低下させた状態により確保可能な容量 (万m3)
野洲川ダム	9/18 ~ 10/15	656

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事前放流等			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	①事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。②期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。 【実績】①基準降雨量を上回る降雨はなく、事前放流は未実施、②は実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	①事前放流: 洪水が予測される場合、一時的に洪水を調節するための容量を利水容量から確保する。②期別貯水位運用: 用水需要が少ない時期に、一定期間水位を低下させた状態を保持して、常時満水位までの空き容量を洪水調節に利用する。			

構成員 近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

グリーンインフラの取組

事業名：森林整備事業、治山事業

滋賀森林管理署
(湖北森林計画区)



事業区分	湖北森林計画区 (R7年度～R11年度)	
治山	溪間工	7箇所
	保安林整備	243ha
森林整備	間伐	389ha
	更新(造林)	19ha
	保育(下刈)	41ha
	(除伐)	2ha
	林道(改良)	51m

事業メニューの実事例



【保安林整備：本数調整伐・筋工】

【治山：溪間工（治山ダム）】

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、土石流等の災害から人家等を保全する。 年間実施箇所数：4カ所			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、土石流等の災害から人家等を保全する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、土石流等の災害から人家等を保全する。			

構成員 近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 グリーンインフラの取組

事業名：森林整備事業、治山事業

滋賀森林管理署
(湖南森林計画区)



国有林野施業実施計画	
事業区分	湖南森林計画区 (R5年度～R9年度)
治山	溪間工 5 箇所
	山腹工 4 箇所
	保安林整備 6.9 ha
森林整備	間伐 312 ha
	更新(造林) 32 ha
	保育(下刈) 114 ha
	(除伐) 1 ha
	林道(整備) 2,990 m
	(改良) 180 m

事業メニューの実施事例



【森林整備：林道（整備）】



【森林整備：林道（改良）】

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、山腹崩壊、土石流等の災害から人家等を保全する。 年間実施箇所数：6カ所			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、山腹崩壊、土石流等の災害から人家等を保全する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	森林の維持造成を通じて森林の水源かん養機能や土砂災害防止機能を高め、山腹崩壊、土石流等の災害から人家等を保全する。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：気候変動適応地域づくり推進事業（ゲリラ豪雨対策）

環境省
近畿地方環境事務所

- 気候温暖化に伴う局地的豪雨の増加による影響を踏まえ、その(人的・物的)被害を軽減するために策定した広域アクションプランに基づく適応策の推進を図る。関係者が参加するFU*分科会を開催・運営する。
- 滋賀県、京都府及び関係市町村、大阪府、和歌山県、京都市、大阪市、地域適応センター(兵庫県他)、等(環境部局に加え、一部の防災・危機管理部局も参加。継続して参加募集中。) (※FU:フォローアップ)

事業メニューの内容、イメージ

<推進体制>



事業メニューの実施事例

ゲリラ豪雨対策FU分科会の設置

テーマ：局地的大雨による市街地水災リスク増大への適応

気候変動の影響により、局地的豪雨の頻度、強度が増してきており、将来的にはさらに激甚化することが予想されています。また、局地的豪雨による災害の頻度・程度が増しています。近畿地域では、XRAINによる降雨の立体観測が高頻度で行われている優位性があります。

- (令和7年度の事業活動内容)
- ・分科会：2月9日(金) 開催予定
- ・中小規模施設のゲリラ豪雨対策事例集・ガイドライン策定：神戸須磨シーワールドにおける対策のヒアリング(12月4日)
- ・中学校における実証事業のビデオ教材：学校に配布(9月上旬)、意見を収集
- 対象：南宇治中学校、東宇治中学校
- ・人と防災未来センターとの連携事業(ゲリラ豪雨×夏休み防災未来学校2025WS「ゲリラ豪雨マスターになろう!」)：7月19日、20日、計4回実施

事業メニューの効果

広域アクションプラン(R4年度策定)に含まれる適応アクション

広域連携での適切性、実行可能性・費用対効果の検証を踏まえ、広域アクションプランを策定

a.施設のゲリラ豪雨対策の実施状況の整理と対策推進

主なターゲット：中小規模施設の施設管理者、公園管理者等(野外施設の管理者も含む)
アクションプラン：既存施設等のゲリラ豪雨対策状況のとりまとめと情報共有。中小規模施設等におけるゲリラ豪雨対策の推進。

b.ゲリラ豪雨関連情報の有効活用検討

主なターゲット：地方公共団体(環境系部局、危機管理部局、防災系部局、道路系部)関係者、指定施設管理者、工事業者、教職員・生徒、一般住民
アクションプラン：豪雨関連情報のとりまとめ結果や利用方法に関するマニュアル作成と有効活用促進

c.ゲリラ豪雨対策に関する啓発・教育

主なターゲット：地方公共団体(環境系部局、危機管理部局)、地域気候変動適応センター、各府県地球温暖化防止活動推進センター、教職員・生徒、一般市民
アクションプラン：学校教育現場における啓発授業の実施や、啓発パンフレットの作成・配布

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ゲリラ豪雨対策FU分科会を開催(1回)、実証授業／事例創出 OR7年度ゲリラ豪雨対策FU分科会を開催。 ・第1回FU分科会：2月6日(金)、10時00分～ OR4年度に策定・公表した広域アクションプランに基づく対策事例創出 ①中小規模集客施設におけるゲリラ豪雨対策実施ガイドラインの策定 ・神戸須磨シーワールド訪問(対策実施状況のヒアリング)：12月4日(木)、13時～ ②中学校における実証授業：ビデオ教材(初版)の作成、配布 ・配布先：南宇治中学校、東宇治中学校、限定公開中 https://youtu.be/e1aknE1evGQ ③人と防災未来センターとの連携事業(ゲリラ豪雨×夏休み防災未来学校2025WS) ・「ゲリラ豪雨マスターになろう!」WS：7月19～20日、計4回実施			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	広域アクションプランに基づく対策事例創出、フォローアップ 未定(FU分科会の開催、対策ガイドラインの改訂、ビデオ教材の改訂、他)			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	広域アクションプランに基づく対策事例創出、フォローアップ 未定(FU分科会の開催、他)			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：地域防災支援業務の推進

彦根地方気象台

平時

- ・市町等との「顔の見える関係」構築
- ・災害リスクや情報利活用の研修・演習
- ・防災計画や避難判断マニュアル等への助言
- ・気象防災ワークショップの開催
- ・関係機関等との連携した取り組み

緊急時

- ・記者会見による呼びかけ
- ・ホットラインによる首長への助言
- ・JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣

災害後

- ・自治体等と連携して「振り返り」を実施

「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

・地域毎の災害特性を踏まえた人材配置による担当チームを編成。担当チームの常設により、各市町固有の課題への対応を含め市町に寄り添い、担当同士との緊密な連携関係を構築

【彦根地方気象台の担当チーム編成】



- 県北部チーム：
対象市町：高島市、長浜市、米原市、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
- 県南部チーム：
対象市町：近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町、甲賀市、湖南市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、大津市

首長ホットライン

土砂災害警戒情報の発表が見込まれる場合等において、早い段階で台長から首長へホットラインで危機感を伝え、避難等の防災対応を支援。

JETT派遣 台風説明会等の実施

【JETT派遣】
災害発生時にはJETT（気象庁防災対応支援チーム）を滋賀県庁等へ派遣し、防災対応及び復旧対応等を支援。

【台風説明会等の実施】
台風及び大雨等の説明会を適宜実施。併せて防災シナリオを提供し、市町等の防災対応を支援。

「振り返り」の業務改善への活用

災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へのフィードバック

複数の自治体を対象に、台風、大雨時等の自治体の防災対応及び気象台の防災気象情報の発表作業等を振り返り、行った防災対応の共有や意見交換を実施。問題点、改善策、有効であった対応等を整理し、平時、緊急時の業務へフィードバックする。

気象防災ワークショップの推進



市町の防災担当者を対象に、気象災害時の防災対応能力の向上を目的として5段階の警戒レベルと防災気象情報の関係など、最新の情報を踏まえた内容で気象防災ワークショップを開催。
令和元年度～令和4年度にかけて、対面方式及び新型コロナウイルス感染防止のためオンライン方式も採用し、全19市町を対象に実施。今後も継続して実施し、防災担当者のスキルアップを図る。

(ワークショップ(対面方式))を図る。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域防災支援業務の推進 平 時：防災計画や避難判断マニュアル等への助言を行った。 緊急時：台風、大雨時において、担当者ホットライン(19市町中18市町)により防災対応を支援した。 災害後：自治体等と連携して「振り返り」(2025年8月24日から26日大雨事例)を実施した。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域防災支援業務の推進 平 時：気象情報の利活用促進のため、最新の情報を踏まえた内容で気象防災ワークショップ(県内全市町の防災担当者を対象)を実施する。 緊急時：オンラインによる説明会や解説、ホットラインによる首長への助言等を実施する。 災害後：自治体等と連携して「振り返り」を実施する。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域防災支援業務の推進 R8年度に同じ			

構成員 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター
近畿北陸整備局

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

流域における対策

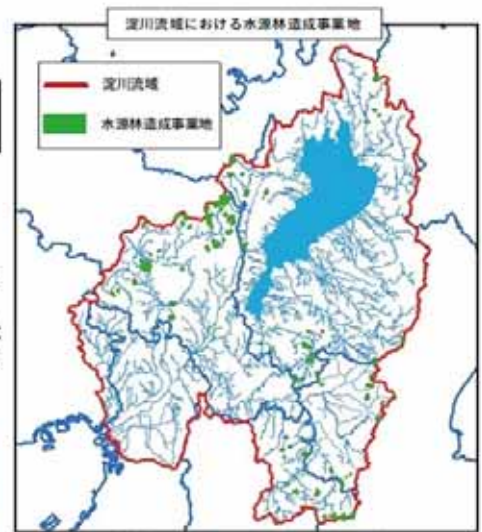
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全の実施へ

・各府県において、水源林造成事業の実施主体となる造林者（各地域の森林組合や林業事業者等）との打合せを実施。



間伐の実施状況
(南丹市日吉町)



淀川流域における水源林造成事業地
約200箇所 森林面積4,100ha

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水源林造成事業地の森林の整備・保全の実施			
	水源林造成事業の実施主体となる造林者(各地域の森林組合や林業事業者等)との打合せを行い、必要な森林整備を計画・実施する。 R7年度は除間伐等の森林整備を14ha実施。				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水源林造成事業地の森林の整備・保全の実施			
	上記と同様				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水源林造成事業地の森林の整備・保全の実施			
	上記と同様				

構成員 大津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：雨水渠整備事業

大津市

- 雨水渠の整備により浸水被害を軽減
- 対応降雨を10年確率(時間雨量約50mm)
- 重要度・緊急度の高い区域から整備を実施

事業メニューの内容、イメージ

近年、各地で大雨による浸水被害が発生
⇒市街地の浸水を防ぐため雨水渠を整備

整備前



整備後



事業メニューの実施事例



・雨水渠整備状況(殿田川)
(ボックスカルバート 口1200)

事業メニューの効果

- ・ 排水機能向上による浸水被害の軽減
- ・ 10年確率の雨量に対応
- ・ 整備計画42河川のうち27河川の整備が完了
(令和6年4月現在)

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	殿田川雨水渠整備、頭無川雨水渠整備 R6年度に引き続き、殿田川雨水渠築造工事・付帯工事を実施。 R7年度より頭無川雨水渠整備事業を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	殿田川雨水渠整備、頭無川雨水渠整備 R7年度に引き続き、殿田川雨水渠築造工事・付帯工事を実施予定。 R7年度に引き続き、頭無川雨水渠整備事業を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	殿田川雨水渠整備、頭無川雨水渠整備 殿田川雨水渠築造工事・付帯工事を完了予定。 R8年度に引き続き、頭無川雨水渠整備事業を実施予定。			

構成員 大津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：都市農地の多面的機能の発揮

大津市

- 大津市農業振興ビジョンの令和3年4月の改訂に合わせ「都市農地の多面的機能の発揮」に係る取組みを追加
- 都市農地の保全により、雨水を貯留・浸透し、流域治水に効果を発揮
- 大津市の市街化区域内の農地面積 239ヘクタール(2023年:農業委員会資料)

事業メニューの内容、イメージ

都市農地 宅地化すべきもの → 都市にあるべきもの

大津市農業振興ビジョンを都市農業振興基本法第10条における地方計画に位置付けて、都市農地の多面的機能を発揮させる取組みを推進

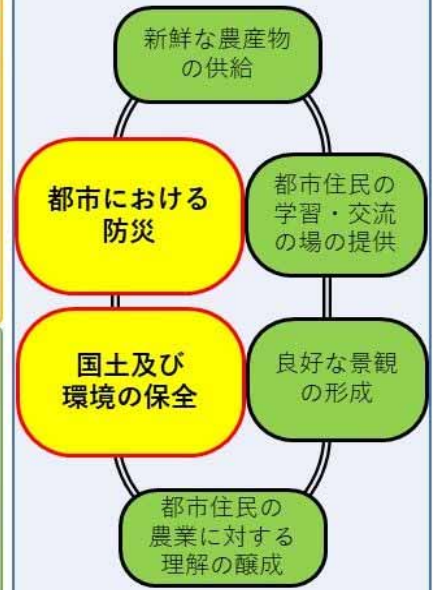
【具体的取組】

- ・都市農地の多面的機能に着目し、生産緑地制度などの調査研究
- ・農地の持つ防災機能に着目し、防災協力農地制度などの調査研究
- ・都市農地の保全・活用を図るための制度について調査研究

事業メニューの効果



都市農業の多様な機能



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	都市農地の保全・活用を図るための制度について調査研究 生産緑地制度等の制度を研究するため、庁内の各関係課において課題を整理。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	都市農地の保全・活用を図るための制度について調査研究 実施する制度の選定および課題の整理(庁内の関係課と連携した庁内会議の実施)			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	都市農地の保全・活用を図るための制度について調査研究 制度の実施に向けた調整			

構成員 大津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金

大津市

- 集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動に対して交付金を交付
- 農地の保全により、雨水を貯留・浸透し、流域治水に効果を発揮

事業メニューの内容、イメージ

- ・対象となる活動
水路の泥上げ、水路のひび割れ補修、農地法面の草刈り、水路、農道、ため池の軽微な補修 など
- ・対象となる農用地
多面的機能支払交付金
・・・農業振興地域内の農用地
中山間地域等直接支払交付金
・・・農業振興地域内の農用地で傾斜1/20以上の急傾斜地等 (R4～傾斜1/100以上の緩傾斜地を拡充)

事業メニューの効果



事業メニューの実施事例

水路の泥上げ



水路の補修



水路の点検



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容				
		取り組み団体数	対象面積(交付金額)		
	多面的機能支払制度	22団体	1,478ha(26,273千円)		
	中山間地域等直接支払制度※	28団体	678ha(128,966千円)		
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
		取り組み団体数	対象面積(交付金額)		
	多面的機能支払制度	22団体	1,478ha(26,272千円)		
	中山間地域等直接支払制度※	28団体	678ha(128,966千円)		
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
		取り組み団体数	対象面積(交付金額)		
	多面的機能支払制度	22団体	1,478ha(26,272千円)		
	中山間地域等直接支払制度※	28団体	678ha(128,966千円)		

構成員 大津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：農業用ため池の防災対策

大津市

- 集中豪雨や大規模地震からの決壊被害を防止するため、農業用ため池の防災機能の向上を図る
- 洪水調整機能を付与した廃止を検討する
- 低水位管理や事前放流により、下流域での浸水被害の軽減を図る

事業メニューの内容、イメージ

万一決壊した場合に家屋や公共施設等に大きな被害を与える防災重点農業用ため池を対象に、各市町、県土連等が連携し、ソフト対策とハード対策を組み合わせ、効果的・効率的な防災工事等の推進を図ります。

ハード対策

- ・ため池の整備(豪雨、地震対策、長寿命化対策等)
- ・ため池の廃止(廃止、廃止に伴う下流水路の整備、洪水調整機能の付与)

ソフト対策

- ・ハザードマップの作成、啓発
- ・低水位管理等適正管理の指導
- ・ため池管理アプリの普及啓発
- ・危機管理システム等の整備
- ・管理体制の強化



事業メニューの実施事例

防災機能の向上



ため池の廃止



低水位管理



事業メニューの効果

近年、集中豪雨や大規模地震など災害リスクが高まる中、農業用ため池が決壊し人命が失われる事案が全国的に発生している

本市では、都市化の進展により市街地及びその周辺に多くの農業用ため池が存在しており、万が一決壊した場合の被害が大きくなる

ソフト・ハードを組み合わせた防災対策の実施

農業用ため池の防災機能の向上による浸水被害の軽減
管理体制の強化による地域防災力の向上

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災工事(下酢子池、八反池、南ヶ谷池、月輪大池)の推進 廃止工事(天壺池・赤坂池・封建堂下池・惣右衛門池)の実施 適正管理の啓発及びハザードマップの公表			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災工事(八反池、南ヶ谷池、月輪大池)の推進 廃止工事(天壺池・赤坂池・横の池)の実施 適正管理の啓発及びハザードマップの公表			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災工事(南ヶ谷池、月輪大池、新池(南船路)、宮池(真野普門))の推進 廃止工事(山本作五郎上池、山本作五郎下池、元池)の実施 適正管理の啓発及びハザードマップの公表			

構成員 大津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：雨水貯留タンク・ますの設置

大津市

- 総合的な治水対策としての雨水の流出抑制及び資源の有効利用を図る
- 各戸貯留(R7.3.31までに862戸実施)
- 施設を設置する者に対して、予算の範囲内において助成金を交付(年間予算:1,500千円)

事業メニューの内容、イメージ



雨水貯留タンク(屋根に降った雨を貯めるタンク)



雨水浸透ます(屋根に降った雨を地下に浸透させる小さな穴の開いたます)

事業メニューの実施事例



設置している雨水貯留タンク



設置している雨水浸透ます

事業メニューの効果等

たくさんの方が設置し雨水を貯めることで、街の中に小さなダムがたくさんでき、大雨のときの浸水被害を少しでも減らすことができます。小さな雨水タンクでも、集まれば大きな効果を生み出すことが可能です。

課題：全戸数に対して設置戸数が少ない

施設名	助成金額	交付限度額
雨水貯留施設 (貯留槽)	助成対象経費(1建築物当たり1基)の2/3	100ℓ以上 150ℓ未満 25,000円
		150ℓ以上 200ℓ未満 35,000円
		200ℓ以上 40,000円
雨水浸透施設 (浸透ます)	助成対象経費の2/3	60,000円

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水貯留タンク・ますの設置 申請件数23件(申請額:617,000円)について助成。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水貯留タンク・ますの設置 予算額(1,650,000円)の範囲内で助成予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水貯留タンク・ますの設置 予算額(1,650,000円)の範囲内で助成予定。			

構成員 大津市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：立地適正化計画の作成

大津市

- 都市再生特別措置法に規定する立地適正化計画を策定し、居住誘導区域を設定
- 浸水想定区域等を居住誘導区域から除外することで、市民の生命の安全を確保
- 居住誘導区域外の区域は重要事項説明の対象となり、区域外における一定の開発等の届出を義務付け

事業メニューの内容、イメージ

立地適正化計画では、人口減少・少子高齢化の中でも、居住誘導区域の人口密度を維持することにより、都市機能の集積を図り、コンパクト+ネットワークのまちづくりを推進する。

居住誘導区域に含めない区域(抜粋)

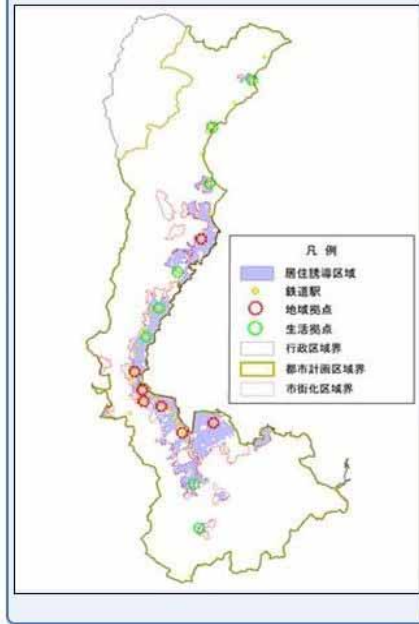
- ・ 浸水想定区域のうち、瀬田川及び大戸川家屋倒壊等の全域並びに想定最大規模の浸水深3m以上の区域
- ・ 地先の安全度マップにおける最大浸水深3m(200年確率)以上又は最大流体力 $2.5\text{m}^3/\text{s}^2$ 以上の区域

事業メニューの効果

- ・ 居住誘導区域外の区域については、重要事項説明の対象となり、居住誘導区域外において、3戸以上の住宅の建築目的の開発行為や、1戸又は2戸の住宅の建築目的の開発行為で $1,000\text{m}^2$ 以上のもの、また、3戸以上の住宅を新築しようとする場合には届出が義務付けられ、必要に応じて勧告することができる。
- ・ 想定浸水深が3m未満であれば、2階等への垂直避難が可能となるため、想定浸水深3m以上の区域に加え、家屋倒壊の危険性が高い区域を居住誘導区域に含めないことにより、市民の生命を守ることができる。

事業メニューの実施事例

居住誘導区域



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	都市再生特別措置法に基づく届出対応 令和3年4月1日の大津市立地適正化計画策定と同時に、届出義務が生じ、令和7年度は12月現在で9件の届出があった。うち住宅に係る届出は6件、誘導施設に係る届出は3件であったが、いずれも浸水想定区域(浸水深3m以上)等に該当する箇所ではなかった。勧告対象とした届出はなかった。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	都市再生特別措置法に基づく届出対応 引き続き、届出に適切に対応していく。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	都市再生特別措置法に基づく届出対応 引き続き、届出に適切に対応していく。			

構成員 大津市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：ヨシ保全事業

大津市

- 平成2年度から取組みを行っている。
- 琵琶湖の環境保全に大きな役割を果たすヨシ群落の保全を通じ、市民の環境保全意識を育む。
- 市民ヨシ刈りの主催、各地域によるヨシ刈り、ヨシたいまつ事業の支援を行っている。

事業メニューの内容、イメージ

- ・冬季に枯れたヨシを刈り取ることで、ヨシの発芽に活力を与えることができる。
- ・ヨシ帯が自然のまま放置されることで、ヨシ帯の減少が懸念される。
⇒市民団体等により、市域のヨシ帯でヨシ刈り等が実施されることで健全なヨシ帯が保全される。
- ・市は市民ヨシ刈りを実施する等、ヨシ帯周辺の市民に限らず、全市的に啓発を行っている。

事業詳細

市民ヨシ刈り(予定) 令和8年1月25日(日) 雄琴6丁目地先

各地域でのヨシ刈り

- ・令和7年度は市内6学区9地域にて実施予定
- ・実施主体は各地域における実行委員会や自治会等

各地域でのヨシたいまつ点火

- ・令和8年3月7日(土)市内3地域にて点火予定



事業メニューの効果

- ・平成2年度から継続して実施しており、冬の風物詩として定着している。
- ・参加者も市内から広く集まっており、企業や、小中学校としての参加も継続してきている。
- ・地域でのヨシ刈り、ヨシたいまつでは、工夫を凝らした演出やふるまいが行われる場所もあり、地元の行事として愛されている。



事業メニューの実施事例

令和7年度 ヨシ保全事業実施地域



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	上記のとおり			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	前年度と同様の予定			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	前年度と同様の予定			

構成員 大津市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：多自然型護岸工・環境護岸工

大津市

・動植物に配慮した護岸整備

事業メニューの内容、イメージ

環境の保全に配慮した「コンクリートの無い川」もしくは「コンクリートの見えない川」を目指す。
 コンクリートを使用した護岸や根固工は、洪水等の外力に対して十分な強度を有し、入手や施工が容易で、これまで多くの河川で採用されてきた。



写真1-2-1 コンクリート護岸の事例

事業メニューの効果

多自然型川づくり等により積極的に良好な河川環境を形成する。
 貴重な動植物の生息・生育域の保護・再生に努める。



事業メニューの実施事例



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	太田川河川改修 令和6年度より引き続き、河川改修工事(太田川)を実施。 多自然型護岸工 L=62.9m 床固工 L=12.0m			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	太田川河川改修 令和7年度より引き続き、河川改修工事(太田川)および設計委託を実施予定。 多自然型護岸工 L=150m 実施設計 L=540m			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	太田川河川改修 令和8年度より引き続き、河川改修工事(太田川)を実施予定。 多自然型護岸工 L=150m			

構成員 大津市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：大津子ども環境探偵団

大津市



- 市内の小学校3年生から小学6年生が対象
- 1年を通じて様々な環境について体験的な学習を実施
- 将来的に「環境人かんきょうびと」として学校や地域で活躍できる人材の育成を目指している。

事業メニューの内容、イメージ

- ・「大津市環境基本計画(第3次)」において、「環境人」育成を担う主要な事業として位置付けている。
- ・活動内容は年度により異なる。
- ・自然環境(水環境、生物、里山等)や社会環境など様々な環境について学習を深めている
- ・令和7年度の活動内容(団員:小3~小6 40名)

名称	場所	活動目的
結団式 カヌー探偵	オーバルオブテックス湖	カヌーでの琵琶湖のヨシ帯観察等を通して、身近な自然環境について学び体験することで、環境人を育成する
瀬田しじみ探偵	晴嵐コミュニティセンター 瀬田漁港周辺	琵琶湖の固有種であるセタシジミが激減した理由(琵琶湖の環境変化)や漁に携わる人々の暮らし、琵琶湖の豊かな資源などについて学び考える
洗堰探偵(予定) 修了式	アクア琵琶及びウォーター ステーション琵琶	琵琶湖と瀬田川の関係や洗堰による水位調整・治水の仕組みを学び、身近な自然に対する愛着を持つとともに、災害等から命を守るための危機意識を身に付ける

事業メニューの実施事例

カヌー探偵



瀬田しじみ探偵



事業メニューの効果

- ・平成2年度から継続して行っており、令和7年度で36年目となる
- ・環境に対する知識や経験を得ることで、「人と自然」との関係に関心が生まれていると感じる
- ・身近なフィールドを活用することで、今ある環境を大事に、また、誇りに思う気持ちを育てる。
- ・団員は市内の様々な学校から参加しており、同じ目標をもって活動を行うことにより学校外での人間関係形成の場としても有効
- ・卒団生や、大学生、社会人で組織する「大津子ども環境探偵団エコリーダー」が活動全般についてサポートを行っており、活動の継続性を維持している。
- ・令和6年度から滋賀大学教育学部の学生ボランティアを受け入れ、新たな切り口での人材育成を試行している。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	年間3回活動実施 ①結団式・カヌー探偵 ②瀬田しじみ探偵 ③洗堰探偵・修了式			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	年間3回活動実施予定 内容については未定			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	年間3回活動実施予定 内容については未定			

構成員 彦根市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：公共下水道事業による雨水幹線の整備

彦根市

- 雨水公共下水道の整備により浸水被害を防止。
- 都市浸水対策の整備率を向上させる。
- 時間雨量50mmに対応した下水道施設の設置。(10年確率)

事業メニューの内容、イメージ



現況河川の流下能力を向上させる

彦根駅周辺の雨水公共下水道整備



事業メニューの実施事例



雨水整備工事の実施

事業メニューの効果

市街化区域を中心とした下水道排水区内の雨水幹線を10年確率雨量(約50mm/h)に対応した下水道施設として整備することにより、市街地の浸水被害軽減効果があります。



市街地の浸水状況



雨水BOXカルバート設置

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業による雨水幹線の整備 R7年度は、継続して猿ヶ瀬排水区の整備を行います。R7年度より新規区間として高宮第1排水区の雨水整備を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業による雨水幹線の整備 R8年度は、継続して猿ヶ瀬排水区および高宮第1排水区の雨水整備を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業による雨水幹線の整備 R9年度は、継続して猿ヶ瀬排水区および高宮第1排水区の雨水整備を実施予定。			

構成員 彦根市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：市管理河川単独整備事業

彦根市

- 安全で安心できる生活環境の確保を行う。
- 市管理の普通河川新設改良事業を行う。
- 公共下水道事業による雨水基本計画以外の河川の整備を実施する。

事業メニューの内容、イメージ

- ・市が管理する普通河川の整備を行います。
- ・局地的な集中豪雨により各地域で道路冠水や床下浸水が相次いでいることから計画的な河川・水路の改修整備を行います。
- ・普通河川と関連する各種事業と合わせて行います。



普通河川の整備イメージ

事業メニューの効果

- ・普通河川庄堺川の整備を実施したことにより、庄堺公園周辺の浸水被害の防止に大きくその効果を発揮しました。
- ・彦根市北部に位置する鳥居本地区の浸水被害を軽減するために、旧鳥居川の整備を進めており、近年の浸水被害の発生報告は減少しています。



整備前の庄堺公園周辺の浸水状況

事業メニューの実施事例

普通河川の整備状況

・整備前



・整備後



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	市管理河川単独整備事業			
	R6年度に、完了				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	市管理河川単独整備事業			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	市管理河川単独整備事業			

構成員 彦根市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

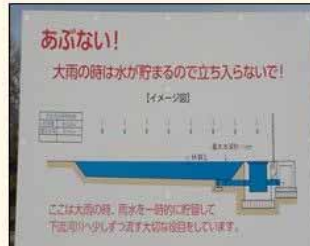
事業名：雨水流出抑制施設の設置

彦根市

- 公共施設設置に伴う雨水流出抑制施設設置を推進する。
- 民間開発等に伴う雨水流出抑制施設の設置を要件化。
- 開発前後による浸水被害の防止を図る。

事業メニューの内容、イメージ

- ・ 現況河川の流下能力により流出抑制施設の設置を検討。
- ・ 開発等の事業により雨水流出抑制施設を設置。
- ・ 公共施設の新設または改修時に設置を推進。
- ・ 市に移管された雨水流出抑制施設は定期的に維持管理点検を実施。



事業メニューの実施事例



民間開発による雨水貯留施設設置



公共事業による雨水貯留施設設置

事業メニューの効果

- ・ 民間開発により設置された雨水貯留施設 N=63箇所。 (雨水貯留量 約51,000m³)
※調整池タイプのみ
- ・ 公共施設により設置された雨水貯留施設 N=19箇所。 (雨水貯留量 約 8,000m³)
- ・ 民間開発、公共施設整備による雨水貯留施設合計で約59,000m³の雨水を貯留。

※令和6年12月現在

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水流出抑制施設の設置 民間開発により設置された雨水貯留施設および公共施設により設置された雨水貯留施設の整備を促進する。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水流出抑制施設の設置 民間開発により設置された雨水貯留施設および公共施設により設置された雨水貯留施設の整備を促進する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水流出抑制施設の設置 民間開発により設置された雨水貯留施設および公共施設により設置された雨水貯留施設の整備を促進する。			

構成員 彦根市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：公共下水道事業による雨水管理計画の策定

彦根市

雨水管理総合計画の策定

- 当面・中期・長期にわたる、下水道による浸水対策を実施すべき区域の明確化。
- 目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定める。
- 下水道による浸水対策を計画的に進めることを目的として策定する。

事業メニューの内容、イメージ

- (1) 雨水管理方針の策定
- (2) 既存水路測量調査
- (3) 浸水シミュレーションの実施
- (4) 浸水要因分析と地域ごとの課題整理
- (5) 浸水シミュレーションの実施 (対策後)

事業メニューの実施事例

- ・ 雨水出水想定区域図の公表 (想定最大規模降雨)
- ・ 計画降雨浸水防止区域図の作成 (計画降雨)
- ・ 計画降雨・想定最大規模降雨の設定
- ・ 雨水管理総合計画策定

事業メニューの効果

- ・ 浸水被害箇所での浸水要因を検証することにより、対策を行う箇所の最も効果的な整備が可能となる。
- ・ 段階的対策計画に基づき施設計画を行うことにより財政計画と整合を図りながら、今優先すべき箇所を明確にし必要な浸水対策を実施する。
- ・ 近年発生するゲリラ豪雨等においては、ハード整備のみでは防止できないことからソフト対策を含めた対策を市民とともに実施する。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水管理総合計画策定 R7年度は、浸水シミュレーション(対策後)を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水管理総合計画策定			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水管理総合計画策定			

構成員 彦根市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ハザードマップ作成事業

彦根市

- ハザードマップ作成・全戸配布・公開型GISでの公開により住民に周知し、水害時の円滑な避難等を図るもの
- 配布対象世帯数：49,073世帯(R4.2末時点)
- 普及啓発内容を含めた冊子を日本語版と多言語版(4か国語)で作成

事業メニューの内容、イメージ

- ・平成30年に全戸配布したものを全面更新
- ・洪水浸水想定区域図と地先の安全度マップを重ね合わせ、見開きで計画規模と想定最大規模を比較できるように掲載。
- ・英語、中国語、ベトナム語、ポルトガル語の多言語版も発行
- ・公開型GIS「彦根まっぷ」からも閲覧可能
- ・点字版、音声版も作成



彦根市民防災マニュアル

事業メニューの実施事例



点字版・音声版彦根市民防災マニュアル

事業メニューの効果

- ・浸水想定区域内における開発、建築等の参考となり、水害防止につながる。
- ・住民による避難の判断材料となり、水害発生時における被害の軽減につながる。
- ・水害だけでなく、地震、土砂災害、原子力災害、雪害に関する記事も掲載し、加えて、防災に関する豆知識等も掲載することで、市民等の防災意識の向上につながる。
- ・冊子の全戸配布および公開型GISで公開することにより、市民、一時滞り者等の適切な避難行動につながる。
- ・多言語版を充実させることにより、外国人の適切な避難行動につながる。
- ・点字版、音声版を作成することで、視覚障害のある方にも周知できる。



公開型GIS「彦根まっぷ」におけるハザードマップ

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 ・令和4年3月：日本語版作成(57,500部)。市内全戸に配布。窓口配布開始。 ・令和4年3月：外国語版作成(3,500部)。 ・令和4年4月：多言語版広報ひこねと併せて配布。多言語版の窓口配布開始。 ・令和4年4月：公開型GISでハザードマップを公開。 ・令和4年8月：点字版、音声版の作成。関係団体を通して配布。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 窓口等で随時、配布。 不足すれば増刷等を検討。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 洪水浸水想定区域図更新に伴うハザードマップの更新を検討。			

構成員 長浜市

(個票)

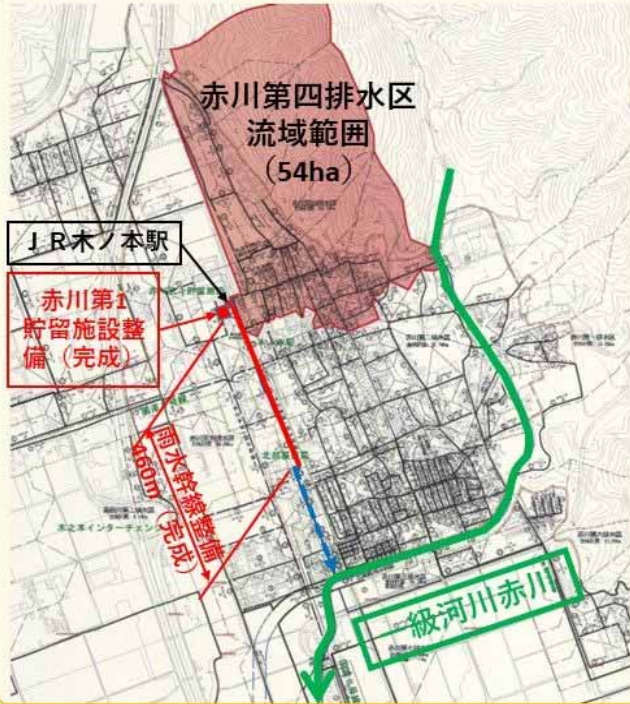
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：木之本第1雨水幹線整備事業（赤川第四排水区）

長浜市

- 公共下水道(雨水)の整備により浸水被害を防止する。
- 10年確率(時間雨量50mm)の雨に対応した雨水幹線整備

事業メニューの内容、イメージ



事業の内容
JR木ノ本駅周辺では、近年の異常気象による浸水被害が発生している。雨水貯留施設建設や雨水幹線整備を行い浸水被害の軽減対策を図る。

事業の効果
雨水貯留施設や雨水幹線を整備することにより、10年確率の雨量に対応可能となり、浸水被害が軽減する。

事業メニューの実施事例



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区) 雨水幹線整備 L=460m 完成			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区) 雨水幹線整備 L=460m 完成			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	木之本第1雨水幹線整備事業(赤川第四排水区) 雨水幹線整備 L=460m 完成			

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：長浜公共下水道（雨水）事業（高月第3排水区）

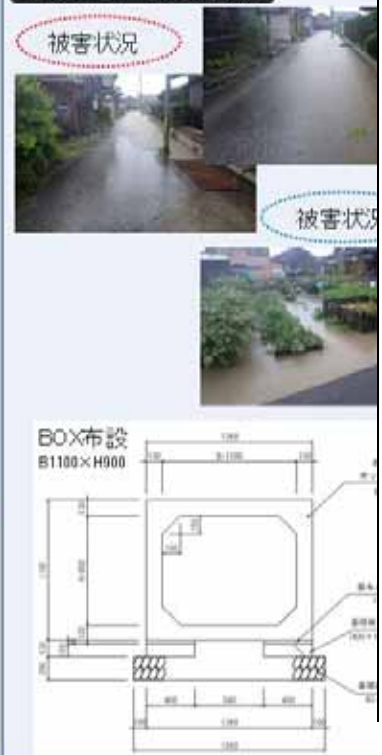
長浜市

- 公共下水道（雨水）の整備により浸水被害を防止する。
- 10年確率（時間雨量50mm）の雨に対応した雨水幹線の整備

事業メニューの内容 イメージ



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

国道8号を横断する直線的な雨水幹線を新設する対策により、内水排除能力が向上することで雨に強い街づくりの構築が達成され浸水被害域が軽減する。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	長浜公共下水道（雨水）事業（高月第3排水区） 雨水幹線整備 L=62m 舗装復旧 L=121m			
R8年度 （予定）	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	長浜公共下水道（雨水）事業（高月第3排水区） 雨水幹線整備 L=64m 舗装復旧 L=162m			
R9年度 （予定）	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	長浜公共下水道（雨水）事業（高月第3排水区） 舗装復旧 L=64m			

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：単独河川改良事業	長浜市
---------------------	------------

- 河川改修事業により浸水被害を防止する。
- 10年確率(時間雨量50mm)の雨に対応した河川整備

事業メニューの内容、イメージ



事業の内容

平田川流域では、近年の異常気象による浸水被害が発生している。河川改修により浸水被害の軽減対策を図る。

事業の効果

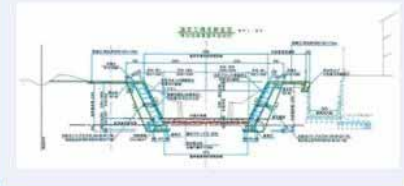
河川改修により、10年確率の雨量に対応可能となり、浸水被害が軽減する。

事業メニューの実施事例

整備前



整備後



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改修事業 単独河川改良事業 L=190m 完成			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改修事業 単独河川改良事業 L=190m 完成			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改修事業 単独河川改良事業 L=190m 完成			

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：単独河川改良事業

長浜市

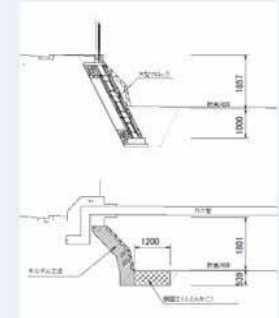
- 準用河川大三六堀において、現状の石積み護岸崩壊の危険性が高いため護岸改修をおこなう。
- 河川改修事業により護岸崩壊による浸水被害を防止する。
- 10年確率(時間雨量50mm)の雨に対応した河川整備

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例

整備前



事業メニューの効果

準用河川大三六堀において、現状の石積み護岸(左岸)にはらみや空洞化が生じており、河川の増水時等において護岸崩壊等による浸水被害の危険性が高いことから、大型ブロック積み及び一部モルダム工法による護岸改修を実施し浸水被害を未然に防ぐ。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改良事業(大三六堀護岸改修工事)			
		護岸改修工事 L=110m 大型ブロック積 A=232m ² 石積み修繕工(モルダム工法) A=40m ²			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改良事業(大三六堀護岸改修工事)			
		護岸改修工事 L=110m 大型ブロック積 A=232m ² 石積み修繕工(モルダム工法) A=40m ²			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独河川改良事業(大三六堀護岸改修工事)			
		護岸改修工事 L=110m 大型ブロック積 A=232m ² 石積み修繕工(モルダム工法) A=40m ²			

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金事業

長浜市

- 農地維持活動 地域資源の基礎的保全活動等の多面的機能を支える共同活動を支援します。
- 資源向上支払活動 地域資源の質的向上を図る共同活動、施設の長寿命化のための活動を支援します。

事業メニューの内容、イメージ

取り組んでいただく活動は、大きく2つに分かれています。

・農地維持活動 遊休農地の解消、畦畔・法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面の維持など

・資源向上(共同)活動 水路の目地詰め、獣害柵の補修、生物の調査、透視度の調査 など

農地維持支払交付金

多面的機能を支える共同活動を支援します。

支援対象 農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の遊休維持などの基礎的保全活動
農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成 など

資源向上支払交付金

地域資源(農地、水路、農道など)の質的向上を図る共同活動を支援します。

支援対象 水路、農道、ため池の軽微な補修
農業排水の透視度調査、生きもの調査
施設の長寿命化のための活動 など

※長寿命化：老朽化が進む農地周りの水路の補修・更新

事業メニューの実施事例

地域資源の基礎的な保全活動



水路の泥上げ



農道の路面維持



農地法面の草刈り



施設の点検

地域資源の質的向上を図る共同活動



ひび割れの補修



農道の部分補修

事業メニューの効果

近年の農村地域の過疎化・高齢化などにより、地域住民の共同活動による農地や農道、農業用水路などの維持管理が困難になり、多面的な機能の発揮に支障が生じつつあります。このため、農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動に対して支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。

(円/10a)

	農地維持支払	資源向上支払(共同)				資源向上支払 [※] (施設の長寿命化) [上限単価]
		標準型	環境保全型	防災減災型	生態系保全型	
田	2,200	1,300	1,800	1,800	1,800	4,400
畑	1,500	800	1,080	800	800	2,000
草地	180	120	180	120	120	400

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動を支援 農用地・水路・農道などの保全活動や軽微な補修、生態系や水質保全などの多面的機能の増進、老朽用水路の長寿命化(補修・更新)のため、交付金交付を通じて集落ぐるみの地域活動を支援する。 【取組組織数】 152活動組織： 5,429ha			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動を支援 農用地・水路・農道などの保全活動や軽微な補修、生態系や水質保全などの多面的機能の増進、老朽用水路の長寿命化(補修・更新)のため、交付金交付を通じて集落ぐるみの地域活動を支援する。 【取組組織数】 151活動組織： 5,404ha ※長寿命化： 1活動組織： 52ha			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動を支援 農用地・水路・農道などの保全活動や軽微な補修、生態系や水質保全などの多面的機能の増進、老朽用水路の長寿命化(補修・更新)のため、交付金交付を通じて集落ぐるみの地域活動を支援する。 【取組組織数】 151活動組織： 5,404ha ※長寿命化： 1活動組織： 52ha			

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：中山間地域等直接支払交付金事業

長浜市

○ 中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けて農業生産活動を維持するための活動を支援します。

事業メニューの内容、イメージ

過疎化・高齢化の進んでいる自然的・社会的・経済的条件が不利な中山間地域等において、耕作放棄を防止し、農業生産活動を継続することによって、農業農村のもつ多面的機能を維持するという観点から、協定に基づき5年間以上継続して活動する農業者や生産組織等に対して、対象の面積に応じて交付金を交付します。

- (1)対象地域
 - ①「特定農山」「山村振興法」「過疎地域の持続的発展の支援に關する特別措置法」「半島振興法」「離島振興法」「沖縄振興特別措置法」「奄美群島振興開発特別措置法」「小笠原諸島振興開発特別措置法」「棚田地域振興法」によって指定された地域
 - ②地域の実態に応じて都道府県知事が指定する自然的・経済的・社会的条件が不利な地域(特認地域)
- (2)対象農用地
 - ①急傾斜地(田：1/20以上、畑・草地・採草放牧地：15°以上)
 - ②緩傾斜地(田：1/100以上1/20未満、畑・草地・採草放牧地：8°以上15°未満)
 - ③小区画・不整形な田
 - ④高齢化率・耕作放棄率の高い集落にある農用地
 - ⑤積算気温が低く、草地比率の高い草地
 - ⑥①～⑤の基準に準じて、都道府県知事が定める農用地

事業メニューの実施事例

農業生産活動等



農地法面の管理や柵等の設置

農業生産活動等の体制整備



景観作物の作付け

機械の共同利用

事業メニューの効果

中山間地域等直接支払交付金
農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取決め(協定)を締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付します。

交付単価	地目	区分	交付単価(円/10a)	地目	区分	交付単価(円/10a)
田	田	急傾斜(1/20以上)	21,000	草地	急傾斜(15°以上)	10,500
		緩傾斜(1/100以上)	8,000		緩傾斜(8°以上)	3,000
畑	畑	急傾斜(15°以上)	11,500		草地比率の高い草地(雑草地)	1,500
		緩傾斜(8°以上)	3,500	採草放牧地	急傾斜(15°以上)	1,000
					緩傾斜(8°以上)	300

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落等を単位に行う農業生産活動を支援 農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を維持するため、農地保全に向けた協定に基づき活動組織に交付金を交付し、中山間地域の耕作放棄地の防止による多面的機能を保全した。 【取組集落数】21集落(213.2ha)			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落等を単位に行う農業生産活動を支援 農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を維持するため、農地保全に向けた協定に基づき活動組織に交付金を交付し、中山間地域の耕作放棄地の防止による多面的機能を保全する。 【取組集落数】21集落(213.2ha)			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落等を単位に行う農業生産活動を支援 農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を維持するため、農地保全に向けた協定に基づき活動組織に交付金を交付し、中山間地域の耕作放棄地の防止による多面的機能を保全する。 【取組集落数】21集落(213.2ha)			

構成員 長浜市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動事業

長浜市

- 市内の一級河川流域団体(自治会等)が実施する河川愛護活動事業(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採)
- 地域と協働で河川の維持管理を行い、堤防等の河川管理施設の機能維持を図る。
- 活動を実施する団体(自治会等)に対し、報償金または所要の経費を支払う。

事業メニューの内容、イメージ

事業内容

- ・ 草刈およびゴミ等清掃作業
- ・ 堆積した土砂の除去作業
- ・ 竹木の伐採・集積作業

事業メニューの効果

行政と地域が協働による河川の維持管理を行うことで、越水や河川の氾濫等を防止し、堤防等の河川管理施設の機能維持を図る。

事業メニューの実施事例



▲河川堤防の草刈



▲川ざらえ



▼竹の伐採

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内一級河川の河川愛護活動(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採) 市内を流れる一級河川流域の自治会・団体において、河川愛護活動(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採)を実施。 実施団体数:草刈・清掃(190)、川ざらえ(3)、竹木の伐採(5) ※()内は自治会・団体数。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内一級河川の河川愛護活動(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採) 市内を流れる一級河川流域の自治会・団体において、河川愛護活動(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採)を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内一級河川の河川愛護活動(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採) 市内を流れる一級河川流域の自治会・団体において、河川愛護活動(草刈・清掃、川ざらえ、竹木の伐採)を実施予定。			

構成員 長浜市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

・事業名：雨水出水浸水想定区域図の作成

長浜市

○ 複数外力による多層的な浸水リスクを想定し図面を作成する。

事業メニューの内容、イメージ

【内水浸水想定を行うための指針の作成】

- (1) 排水区域内において一時的に大量の降雨が生じた場合に、下水道その他の排水施設又は河川その他の公共の水域に雨水を排水できないことにより発生する内水による浸水を対象とする。
- (2) 市街地における浸水のメカニズムの検討
- (3) 浸水想定手法の選定
- (4) 浸水シミュレーション
- (5) キャリブレーションと実測調査の検討

事業メニューの効果

○水災害に強い防災まちづくりに必要な情報発信の強化と、住民等の防災意識の向上
浸水想定区域図の策定

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	キャリブレーション・シミュレーション 設計業務の実施			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水出水浸水想定区域図作成 完了			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水出水浸水想定区域図作成 完了			

構成員 長浜市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：総合防災マップの更新

長浜市

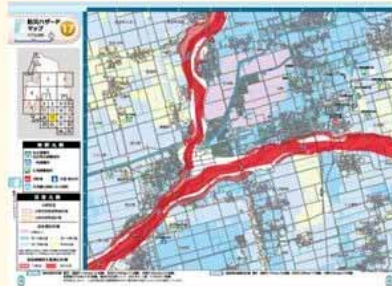
○ 令和3年5月に「長浜市総合防災マップ2021年版」を作成・発行したが、作成当時に想定していた自然条件・環境が変わったこと、また、1000年に一度クラスの最大規模を示すこととなっていることから、総合防災マップの更新を行う。

事業メニューの内容、イメージ

下記の災害を想定し、災害時の情報、指定避難所一覧等を掲載した防災マップを配布。

- ・地震
- ・風水害
- ・土砂災害
- ・原子力災害

※ここに掲載の図は令和3年に配布したものです。



事業メニューの実施事例

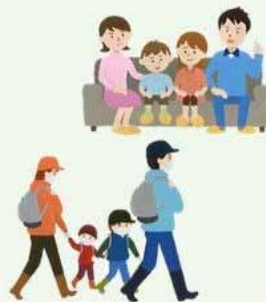
災害に強いまちづくりをめざし、「長浜市総合防災マップ」を発行。



長浜市防災ハザードマップ(WEB版)
パソコン、スマートフォン等で閲覧可
<http://www.city.nagahama.lg.jp/section/saga/bousaimap/>

事業メニューの効果

- ・住民が“いざ”という時の行動を、普段から考えるきっかけとなる。
- ・想定した水害規模に対する住民の対応力が向上する。
- ・地域の防災力の向上が図れる。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップの発注準備 補正予算計上・仕様作成			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップの作製・配布 発注・契約～納品・配布			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップの配布 配布・周知・マップを活用しての防災意識の向上			

構成員 長浜市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ドローンを活用した災害支援活動等「災害連携協定」の締結

長浜市

○被災状況を上空から撮影し、画像・動画等の提供を受ける。

事業メニューの内容、イメージ

●一般社団法人ドローン防災・産業協会と災害時における協定の締結

協定相手：一般社団法人ドローン防災・産業協会

締結日：令和3年12月1日

協定概要：『災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定』

長浜市内に災害が発生し、災害現場へ直接確認に立ち入ることが危険な場合等において、市の要請に基づき災害現場の空撮および撮影した映像の処理を行い、市に提供する。

事業メニューの実施事例

【撮影データ】



<引き>



<拡大>



<写真測量>

事業メニューの効果

- ・事前に空撮を行っておくと、災害前後の状況を容易に比較することができる。
- ・早期復旧・復興に向けた災害査定資料の作成作業が軽減できる。
- ・全天候型ドローンや上空から水中や陸上をレーザーで測量するドローンにより、降雨・強風時でも飛行し、情報収集が可能となる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定」の締結 大規模災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすような場合、無人航空機(ドローン)を活用し上空から撮影した画像・動画等の提供を受ける。 締結日:令和3年12月1日			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定」による活動 大規模災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすような場合、無人航空機(ドローン)を活用し上空から撮影した画像・動画等の提供を受ける。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害時における無人遠隔操作航空撮影に関する協定」による活動 大規模災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすような場合、無人航空機(ドローン)を活用し上空から撮影した画像・動画等の提供を受ける。			

構成員 近江八幡市

(個票)

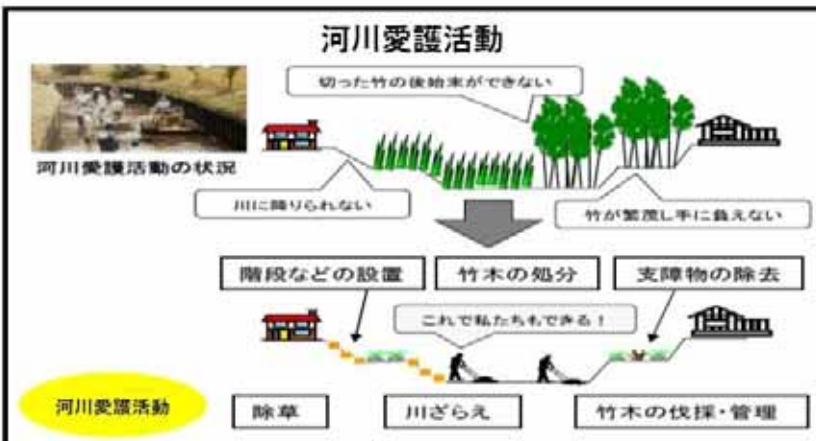
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護事業

近江八幡市

事業概要

河川愛護思想の普及に資するため、自治会その他団体等が行う市内一級河川等河川愛護作業に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。



事業メニューの実施事例 (川ざらえ)



実施前



実施後

事業メニューの効果等

行政と地域の自主的な活動による住民等の役割分担のもとに、協働による河川管理を行うことにより、堤防等河川管理施設の機能維持を図る。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施。 年間実施数: 83自治会 (河川が関係する全自治会数82) 参加者: 延べ4,570人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施予定。 年間実施予定数: 82自治会 (河川が関係する全自治会数82) 参加予定者: 延べ4,500人			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 R8年度以降、毎年各自治会単位で除草作業を実施予定。			

構成員 近江八幡市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：公共下水道事業による雨水管理総合計画の策定

近江八幡市

- 浸水対策における現状と課題を整理し、雨水管理方針を策定
- 内水はん濫による浸水の解消
- 重点対策地区における段階的対策計画の策定により計画的な浸水対策施設整備を推進
- 浸水対策事業の実施に向けた施設設計および工事の取組み

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの効果

- ・ 浸水被害箇所毎の浸水要因を検証することにより、考え得る対策メニューの中で、浸水箇所に対して最も効果的な対策施設の整備が可能となる。
- ・ 段階的対策計画に基づき施設整備を行うことにより、実現可能で浸水被害軽減効果の高い事業を優先的に実施することが可能となる。
- ・ 内水対策、外水対策を含めさまざまな対策メニューについて、各施設管理者と調整を行いながら実施することにより、流域治水の考え方に基づいた効果的な浸水被害対策の実施が可能となる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	経過観察 令和5年度に段階的対策計画の短期計画である黒橋第3排水区において詳細浸水シミュレーションを実施したところ、一級河川三明川の改修工事完了後は計画降雨に対して浸水しない結果が出たため一時中断する。一級河川三明川の改修工事が完了後の浸水状況を観察しつつ、次年度以降の対応を検討することとする。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	経過観察 経過観察			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	経過観察 経過観察			

構成員 近江八幡市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

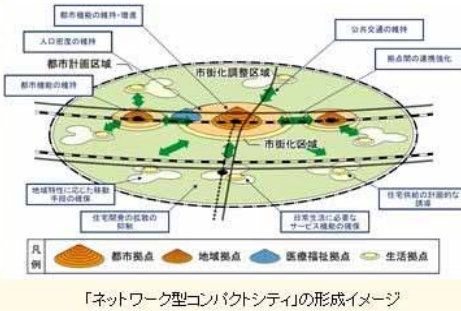
事業名：立地適正化計画の作成

近江八幡市

- 都市再生特別措置法に規程する立地適正化計画を策定し、居住誘導区域及び都市機能誘導区域を設定
- 浸水想定区域等を居住誘導区域から除外することで、市民の生命の安全を確保
- 居住誘導区域外の区域における一定の開発行為等について届出を義務付け、必要に応じて勧告

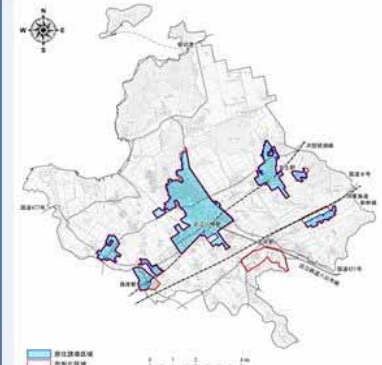
事業メニューの内容、イメージ

立地適正化計画は、人口減少化の都市の拡散を抑制するため、公共交通施策と連携しながら、医療施設、福祉施設、商業施設、住宅などのまとまった立地を誘導するための指針となるものである。
居住・都市機能を誘導する区域を設定し、届出制度を活用した住宅や各種機能の立地を円滑に誘導する仕組みを構築し、「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりを推進する。



事業メニューの実施事例

居住誘導区域



居住誘導区域に含めない区域(抜粋)

- 居住を誘導することが適切ではないと判断する災害ハザードエリア
- ・河川等の氾濫により、想定される浸水深が2m以上の区域(地形地物により除外)
- ・土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域

事業メニューの効果

居住誘導区域外の区域において、3戸以上の住宅の建築目的の開発行為等について届出が義務付けられ(右を参照)、必要に応じて勧告することができる。

想定浸水深がおおむね3m以上になる場合は、住宅等に甚大な被害が発生するだけでなく、現状では垂直避難により人的被害の発生を防ぐことは困難なことから、想定浸水深2m以上の区域を居住誘導区域に含めないことにより、市民の生命を守ることができる。

【開発行為】

- 3戸以上の住宅の建築目的の開発行為
- 1戸又は2戸の住宅の建築目的の開発行為で、その規模が1,000㎡以上のもの



【建築等行為】

- 3戸以上の住宅を新築しようとする場合
- 建築物を改装し、又は建築物の用途を変更して3戸以上の住宅とする場合



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	近江八幡市立地適正化計画の適正な運用 R4年1月1日より近江八幡市立地適正化計画の運用を開始し、届出義務が発生する一定の開発行為や建築行為等に係る届出書の処理を行っている。			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	近江八幡市立地適正化計画の適正な運用 近江八幡市立地適正化計画の適正な運用。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	近江八幡市立地適正化計画の適正な運用 近江八幡市立地適正化計画の適正な運用。			

構成員 近江八幡市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ハザードマップ作成（水害、土砂災害）

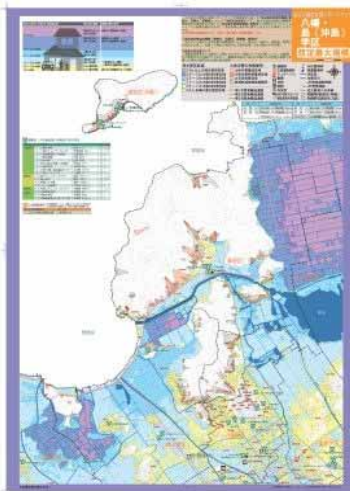
近江八幡市

事業概要

平成27年水防法改正により、国・都道府県は想定し得る最大規模の降雨に対応した浸水想定を実施し、市町はこれに応じた避難方法等を住民等に周知するためにハザードマップを作成することが必要となりました。これを受け、近江八幡市においても、洪水による被害を軽減するために外水氾濫(浸水想定区域図)および内水氾濫等(地先の安全度マップ)を反映したハザードマップを作成・配布しました。

目的

国、滋賀県が新たに作成・公表した土砂災害警戒区域・浸水想定区域等を踏まえ「近江八幡市水害ハザードマップ」の作成を行い、市民の防災意識を図るとともに、災害時の減災対策（住民の敏速かつ的確または安全に避難）としての活用を行う。



想定最大規模



計画規模

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 滋賀県が新たに公表予定の中小河川を対象とした「洪水浸水想定区域図」および「地先の安全度マップ」を踏まえ、新たな近江八幡市水害ハザードマップを作成する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業			

構成員 草津市

(個票)

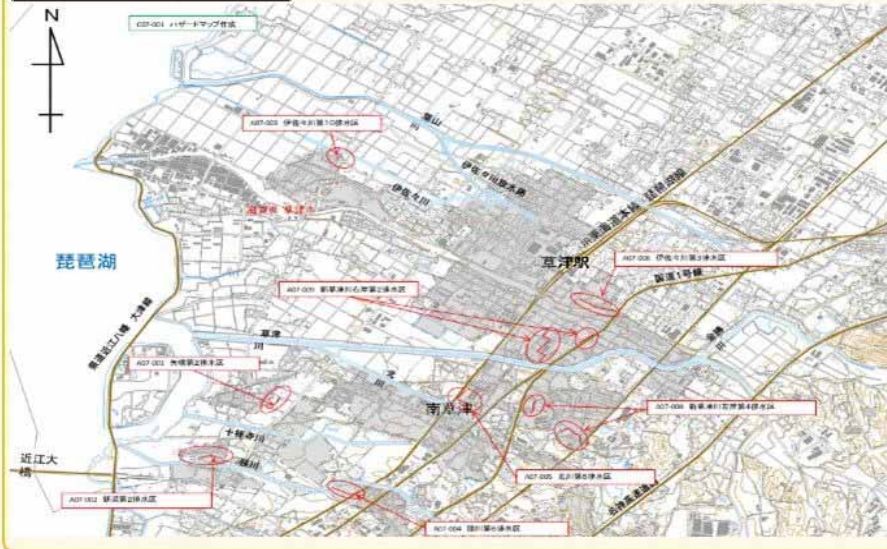
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：公共下水道(雨水)整備事業

草津市

- 近年頻発する異常降雨や急激な都市化に伴う宅地への浸水の解消のために公共下水道(雨水)の整備を進める。
- 下水道による都市浸水対策達成率の向上を図る。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例

整備前



整備後



事業メニューの効果

- ・排水機能が向上し、近年頻発する異常降雨や急激な都市化に伴う宅地への浸水が解消する。
- ・10年確率の雨量に対応可能。
- ・ハード・ソフト両面から都市浸水対策を図る。
- ・R5年度末時点で、全体事業計画3023.3haのうち、634.9ha整備完了。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水)整備事業			
	近年頻発する異常降雨や急激な都市化に伴う宅地への浸水の解消のため下水道による都市浸水対策達成率の向上を図る。 R7年度全体事業計画3023.3haのうち、639.6ha達成予定。				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水)整備事業			
	近年頻発する異常降雨や急激な都市化に伴う宅地への浸水の解消のため下水道による都市浸水対策達成率の向上を図る。 R8年度全体事業計画3023.3haのうち、641.6ha達成予定。				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水)整備事業			
	R9年度以降、順次公共下水道(雨水)を整備予定。				

構成員 草津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：市内河川改修工事

草津市

- 河川(水路)の改修等を行い、排水機能の確保や安全対策を行う
- 河川に近接する宅地等の浸水被害リスクを軽減させる

事業メニューの内容、イメージ

・大雨や洪水等による河川の氾濫、家屋の浸水被害を防止するため、河川(水路)の改修を行い、通水機能の向上を図るもの。

[事業イメージ]

水路が経年劣化により崩れてくる。
土砂が水路に堆積し、通水が阻害され、浸水被害を引き起こす危険性がある。



側溝を据え付ける等、水路の改修を行うことにより、通水機能の確保・向上を行う。

事業メニューの効果

・河川の通水機能を妨げる土砂体積や草木が繁茂する状況が解消され、洪水被害を防ぐ。

事業メニューの実施事例

整備前



整備後



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	市内河川改修工事 地元からの要望に応じて河川改修を実施。 R7年度1箇所 延伸36m 実施			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	市内河川改修工事 地元からの要望に応じて河川改修を実施。 R8年度1箇所 延伸110m 実施予定			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	市内河川改修工事 R9年度以降についても順次要望に応じて河川改修を実施予定。			

構成員 草津市

(個票)

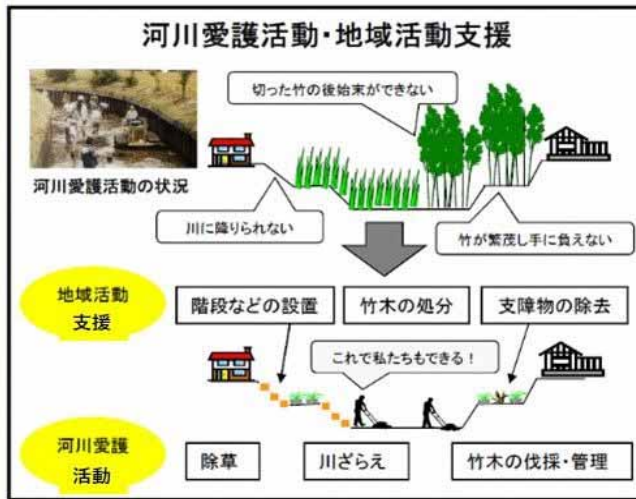
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動

草津市

- 町内会・自治会等が市内一級河川等の除草を実施する
- 町内会・自治会等に対して、滋賀県、草津市により報償金の交付を行う
- 草刈り後、草の収集・運搬・処分を草津市独自予算で実施

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- ・ 河川の通水機能を妨げる土砂体積や草木が繁茂する状況が解消され、洪水被害を未然に防ぐ。
- ・ 地域と行政が連携し、河川の維持管理の活動が活性化する。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会等団体単位で実施。 年間実施数: 54団体 (河川が関係する全団体数93) 参加者: 延べ4,820人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会等団体単位で実施予定。 年間実施予定数: 55団体 (河川が関係する全団体数93) 参加予定者: 延べ4,164人 ※過去5年平均			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内河川(一級河川等)の除草作業 R9年度以降、毎年各自治会等団体単位で除草作業を実施予定。			

構成員 草津市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：調整池の整備

草津市

○ 開発行為に伴う雨水流出量の増加により、浸水被害が発生する恐れがある場合に、調整池の設置を義務付けている。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

・集中豪雨などの局地的な出水等により、雨水が一度に河川に流れ込まないように一時的に調整池に溜め、洪水の危険性や浸水被害を抑える。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	調整池の整備 開発行為事前相談時に流量計算を行い、浸水被害が発生する恐れがある場合は調整池の設置をしていくよう指導していく。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	調整池の整備 開発行為事前相談時に流量計算を行い、浸水被害が発生する恐れがある場合は調整池の設置をしていくよう指導していく。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	調整池の整備 R9年度以降、引続き指導を行っていく。			

構成員 草津市

(個票)

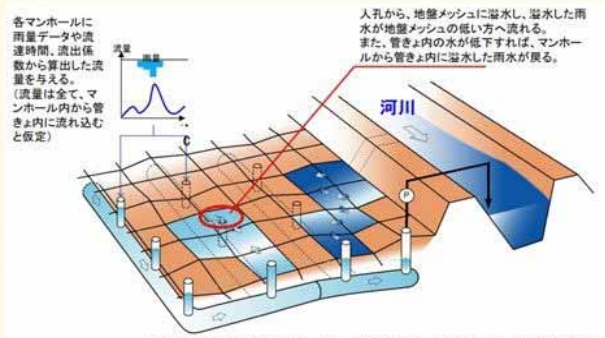
被害対象を減少させるための対策

事業名：雨水出水浸水想定区域図の作成

草津市

○ 流域治水関連法の改正により必要となった、想定最大規模降雨に対する雨水出水浸水想定区域図の作成、公表を行う。

事業メニューの内容、イメージ



「流出解析モデル活用マニュアル、2017年3月、(公財)日本下水道新技術機構」
 図 3-4 浸水シミュレーション(汎用解析モデル)の概念図

参考：草津市洪水・内水ハザードマップ

事業メニューの効果

・ 水害リスク情報の空白地帯の解消を図り、内水氾濫発生時の円滑かつ迅速な避難を確保、また、浸水を防止することにより被害の軽減を図る。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水出水浸水想定区域図の作成 シミュレーション、浸水想定区域図の作成			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 守山市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動

守山市

- 自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業
- 地域を流れる河川の機能維持
- 活動自治会に補助金を交付

事業メニューの内容、イメージ

- ・地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を、自治会単位で除草等の維持管理を実施。
- ・地域の水害対策の一翼を自治会に担っていただく。
- ・滋賀県の河川愛護支援と市の支援として補助金を交付。



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

地域との協働による河川管理により、水害被害を未然に防止する。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施予定。 年間実施予定数：66自治会(河川が関係する全自治会数67) 参加予定者：延べ19,400世帯			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施予定。 年間実施予定数：66自治会(河川が関係する全自治会数67) 参加予定者：延べ19,400世帯			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 R9年度以降、毎年各自治会単位で除草作業を実施予定。			

構成員 守山市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金事業

守山市

- 農業・農村が有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全等の多面的機能の維持・発揮を図る
- 多面的機能を支える共同活動・地域資源(農地・水路・農道)の質的向上を支える共同活動を支援
- 活動を実施する組織に対して、その活動農用地面積に応じて交付金を交付

事業メニューの内容、イメージ



- 【農地維持支払】**
多面的機能を支える共同活動を支援します。
○法面の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持
○農村の体制拡充、強化、保全管理構想の作成
- 【農地維持支払】**
地域資源(農地・水路・農道)の質的向上を図る共同活動を支援します。
○水路、農道、ため池の軽微な補修
○水質保全活動、防災・減災力の強化
○施設の長寿命化のための活動

出典：農林水産省 令和4年4月 多面的機能支払交付金のあらまし

事業メニューの実施事例

法面の草刈、水路の泥上げ



畦畔の再構築(漏水による法面前れの防止)



事業メニューの効果

近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている農業・農村の多面的機能の発揮に支障が生じつつある。農家や非農家、地域の大人から子どもまでが集落ぐるみで行う農地・水路・農道を維持保全する活動を支援することで、農業・農村の多面的機能の維持・発揮・増進を図る。

【農業・農村の有する多面的機能】

- 生物の生態系、多様性を保全する機能
- 水質を保全する機能(排水管理、樋門の適正管理による非かんがい、期の通水等)
- 農村の景観を保全する機能(植栽による遊休農地発生防止、防塵の防止等)
- 防災・減災力を強化する機能(水田の有する雨水貯留機能の活用等)

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地維持活動・資源向上活動(共同・施設の長寿命化) 農村組織が行う集落ぐるみでの、地域資源(農地・水路・農道)の多面的機能を維持管理するための保全活動、質的向上活動に必要な経費を活動面積に応じて交付します。 ○取組組織 21組織 ○支援対象面積 1,337.07ha			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地維持活動・資源向上活動(共同・施設の長寿命化) 農村組織が行う集落ぐるみでの、地域資源(農地・水路・農道)の多面的機能を維持管理するための保全活動、質的向上活動に必要な経費を活動面積に応じて交付します。 ○取組組織 21組織 ○支援対象面積 1,337.07ha			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地維持活動・資源向上活動(共同・施設の長寿命化) 農村組織が行う集落ぐるみでの、地域資源(農地・水路・農道)の多面的機能を維持管理するための保全活動、質的向上活動に必要な経費を活動面積に応じて交付します。 ○取組組織 21組織 ○支援対象面積 1,337.07ha			

構成員 守山市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：立地適正化計画の作成

守山市

- 都市再生特別措置法に基づき守山市立地適正化計画(平成29年策定、令和2年一部改訂)を策定し、生活サービスを誘導する「都市機能誘導区域」と住民の居住を誘導する「居住誘導区域」を設定
- 誘導区域外の一定の開発・建築行為等に届出を義務付けている。

事業メニューの内容

- ◎立地適正化計画は、「コンパクトシティ+ネットワーク」の考えのもと、都市全体の構造を見渡し、住宅と医療・福祉・商業等の様々な暮らしに必要な施設のゆるやかな誘導を図るとともに、公共交通と連携したまちづくりを行うことで、コンパクトなまちの形成を推進するための計画
- ◎立地適正化計画区域内に、生活サービスを誘導する「都市機能誘導区域」と住民の居住を誘導する「居住誘導区域」を設定し、都市機能誘導区域には、その区域に誘導すべき施設(誘導施設)を設定
- ◎居住誘導区域外または都市機能誘導区域外で、3戸以上の住宅の建築目的の開発行為や誘導施設を有する建築物の建築目的の開発行為等を行うおとす場合に届出を義務付けると共に、必要に応じて勧告を実施

事業メニューの効果

- ◎届出制度により、居住誘導区域外における住宅開発の動きや都市機能誘導区域外における誘導施設の整備の動きを把握することが可能
- ◎防災上危険な地域等において開発が行われる場合、必要に応じて勧告を実施することが可能

守山市立地適正化計画の概要



・本市は、(ほぼ全域が)浸水想定区域に含まれるものの、大部分は浸水深2.0m未満であり、垂直避難が可能だと考えられることから、居住および都市機能誘導区域からは除外せずに、防災、減災対策を講じることで、住民の安全確保を図る。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	立地適正化計画の作成			
		平成29年3月に守山市立地適正化計画を策定済み(令和7年度に改訂版を公表) 誘導区域外における一定の開発・建築行為の届出受付を行い、誘導施策を実施予定			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画の作成			
		平成29年3月に守山市立地適正化計画を策定済み 誘導区域外における一定の開発・建築行為の届出受付を行い、誘導施策を実施予定			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画の作成			
		平成29年3月に守山市立地適正化計画を策定済み 誘導区域外における一定の開発・建築行為の届出受付を行い、誘導施策を実施予定			

構成員 守山市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：防災マップの作製

守山市

- 地震による被害想定マップ、水害の浸水想定マップなど、災害時に必要な情報を“守山市防災マップ”として発行(令和6年3月)
- 市内全戸配布

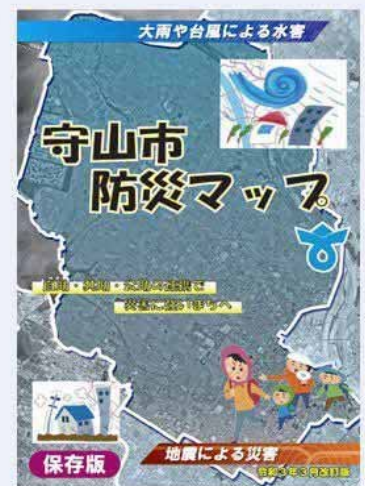
事業メニューの内容、イメージ

地震編、水害編、原子力災害編、共通編と想定される災害ごとに編集。



事業メニューの実施事例

守山市防災マップ



「災害に強いまちづくり」を展開

事業メニューの効果

ひとりひとりが危機意識を持ち、災害時の行動等について事前に確認し、備蓄や非常用持出袋の準備をすることで、「災害への備え」を行う。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 市ホームページで公開。 転入者へ配布。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 市ホームページで公開。 転入者へ配布。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 市ホームページで公開。 転入者へ配布。			

構成員 栗東市

(個票)

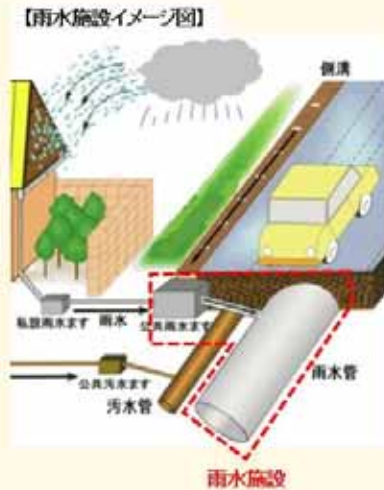
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：公共下水道（雨水）整備事業

栗東市

○ 雨水施設整備を進めることにより、浸水被害の軽減を図る

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの効果

○ 雨水施設の流域内にある既設水路の水位を低下させ、浸水を軽減できる

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水施設の設計			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水施設の設計			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水施設の整備			

構成員 栗東市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：雨水出水浸水想定区域図の作成

栗東市

- 水防法14条の2に規定される想定最大規模降雨の内水浸水想定区域である雨水出水浸水想定区域を指定・公表する

事業メニューの内容、イメージ



想定最大規模の雨が降った場合、内水氾濫によって、どの場所がどれぐらいの浸水深となるのかが把握できる

事業メニューの効果

- 浸水想定情報を住民に公表・周知することにより、被害低減対策を促進することができる

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水出水浸水想定区域図の作成・公表、地域防災計画に反映			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水出水浸水想定区域図を総合防災マップに反映			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 栗東市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：総合防災マップの作成

栗東市

- 風水害、土砂災害、震災の防災マップを住宅地図に反映し、市内全戸に配布
- 自宅等の災害リスクを認識することにより、適切な防災活動の実施など自助共助の支援
- 滋賀県の作成した「地先の安全度マップ」等のデータを住宅地図に重ねて表示

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例

現在、防災マップは令和3年3月に作成でき栗東市内に全戸配布済。

- 防災総合マップを使った、出前講座の実施。
- 防災総合マップの災害リスクにより、地域の防災計画の策定。



事業メニューの効果

- 市内に全戸配布することで、すべての家庭で「前もって災害による被害を知ることができる」、「何をすべきか、何が必要なか冷静に判断でき、素早く避難することができる」など、防災意識の向上を図ることができる。
- 予想される災害リスクにより、必要となる備蓄品の整備や、避難が必要となるタイミング、避難先を想定することができる。






年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ事業 令和3年度発行の防災マップを活用して、地区防災計画の策定支援を図り、各世帯での危険個所の把握、災害時の行動計画作成を促す。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ事業 令和3年度発行の防災マップの内容を最新版の地図およびハザード情報に更新・改訂し、各戸配布・活用を進めることで防災対策に対する意識向上と推進を図る。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ事業 改定した防災マップを活用し、各世帯での危険個所の把握を促すとともに、地区防災計画の更新や、地域の防災力向上を推進する。			

構成員 甲賀市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動事業・河川防災活動事業	甲賀市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 区・自治会等が市内一級河川内で除草、川ざらえ、及び竹木の伐採を行う ○ 河川の氾濫を未然に防ぐとともに、市民の生命、財産を保護する ○ 区・自治会等に対して、滋賀県、甲賀市より予算の範囲内で補助金を交付 	
<p>事業メニューの内容、イメージ</p> <p>甲賀市では、区・自治会等が河川愛護活動事業のうち、川ざらえを実施した際に補助金額を上回った経費に対し、「河川防災活動事業」として助成しています。</p> <p><区・自治会等が実施する河川愛護活動事業></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">除 草</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">竹林の伐採</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; color: red;">川ざらえ</div> </div> <p style="text-align: center;">河川防災活動事業として助成</p>	<p>事業メニューの実施事例</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p style="margin-right: 10px;">実施前</p>  <p style="margin-right: 10px;">作業中</p>  <p style="margin-right: 10px;">実施後</p> </div>
<p>事業メニューの効果</p> <p>一級河川内における過度の土砂堆積で河床が上昇することにより、近年の異常気象による集中的な豪雨により河川の氾濫が懸念されることから、区・自治会等が河川愛護活動事業の川ざらえを実施し、自ら災害リスクの低減を図ることについて、市が資金面の支援を行い、住民の生命・財産を守り、住環境の安定につなげることができます。</p>	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	河川愛護活動事業(除草・川ざらえ・竹木伐採)及び河川防災活動事業の実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ・除草…130区・自治会・団体 81河川 ・川ざらえ…実績なし。 ・竹木伐採…実績なし ・河川防災活動事業補助…実績なし。 			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業(除草・川ざらえ・竹木伐採)及び河川防災活動事業の実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ・除草…130区・自治会・団体 81河川 ・川ざらえ…予定なし ・竹木伐採…予定なし ・河川防災活動事業補助…予定なし 			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業(除草・川ざらえ・竹木伐採)及び河川防災活動事業の実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ・除草…130区・自治会・団体 81河川 ・川ざらえ…予定なし ・竹木伐採…予定なし ・河川防災活動事業補助…予定なし 			

構成員 甲賀市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：公共下水道（雨水幹線）	甲賀市
<input type="checkbox"/> 浸水対策のため、公共下水道(雨水幹線)を整備する <input type="checkbox"/> 時間雨量50mmに対応した雨水幹線整備(10年確率) <input type="checkbox"/> 雨水管理総合計画および雨水出水浸水想定区域図の策定 <input type="checkbox"/> 事業主体: 甲賀市	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事業メニューの内容、イメージ</div> <p style="text-align: center;">被害状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 箇所① 箇所② </p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事業メニューの実施事例</div> <p style="text-align: center;">整備事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  箇所① </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  箇所② </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px; font-size: small;">ボックスカーポート 道路下埋設</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事業メニューの効果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道（雨水幹線）を整備することにより、浸水被害を防止する。 ・ 内水氾濫を防止する。 ・ 雨水管理総合計画によりハード・ソフトの総合的対策を図る。 	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水幹線) 中央雨水幹線工事 L=113m 甲南駅前周辺雨水管渠工事 L=274m 雨水出水浸水想定区域図の策定 雨水管理総合計画(雨水管理方針の検討)			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水幹線) 中央雨水幹線工事 L=54m 雨水管理総合計画(段階的対策計画)			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水幹線) 中央雨水幹線工事 L=54m 雨水管理総合計画(段階的対策計画)			

構成員 甲賀市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金事業	甲賀市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域共同で行う農用地、水路、農道、ため池などの地域資源の維持・保全管理のための活動を支援 ○ 「洪水防止機能」「河川流況安定機能」など、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る ○ 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付 	
<p>事業メニューの内容、イメージ</p>  <p style="font-size: small;">出典：https://www.maff.go.jp/kinki/seisaku/nosonsinko/sig/enhozan/index.html</p>	<p>事業メニューの実施事例</p>  <p style="text-align: center;">ため池の泥上げ</p> <p style="text-align: center;">水路の泥上げ</p>
<p>事業メニューの効果</p> <p>農家の減少や高齢化等により農村の恵みを維持することが困難になりつつある現代において、農家や非農家、地域の大人から子どもまで集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理など保全活動を支援することで、農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る。</p> <p>【農業・農村の有する多面的機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○洪水を防ぐ機能 <li style="width: 50%;">○川の流れを安定させる機能 <li style="width: 50%;">○土砂崩れを防ぐ機能 <li style="width: 50%;">○農村の景観を保全する機能 <li style="width: 50%;">○土の流出を防ぐ機能 <li style="width: 50%;">○文化を継承する機能 <p style="text-align: right;">など</p>	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地維持活動・資源向上活動(向上・長寿命化) 集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動に必要な経費を交付します。 ○取組集落 82集落 ○取組面積2,854ha			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地維持活動・資源向上活動(向上・長寿命化) 集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動に必要な経費を交付します。 ○取組集落 83集落(予定) ○取組面積2,927ha(予定)			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地維持活動・資源向上活動(向上・長寿命化) 集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理などの保全活動に必要な経費を交付します。 ○取組集落 84集落(予定) ○取組面積2,950ha(予定)			

構成員 甲賀市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：中山間直接支払交付金事業

甲賀市

- 農業生産条件の不利益な中山間地域等において、集落等を単位に行う農業生産活動を支援
- 「洪水防止機能」「河川流況安定機能」など、農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る
- 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付

事業メニューの内容、イメージ 地域振興立法で指定された地域において、傾斜がある等の基準を満たす農用地を対象に、集落等を単位に維持・管理していくための協定を締結し、それに従い農業生産活動を行う場合に面積に応じて一定額を交付する仕組み。

対象地域

「特定農山村法」「山村振興法」
 「過疎地域自立促進特別措置法」
 「半島振興法」「離島振興法」
 「沖縄振興特別措置法」
 「奄美群島振興特別措置法」
 「小笠原諸島振興特別措置法」
 「棚田振興地域法」等によって指定された地域
 その他知事が特に必要と認める地域

対象農用地

- ①急傾斜地（田：1/20以上）
（畑・草地など：15°以上）
- ②緩傾斜地（田：1/50以上）
- ③高齢化率・耕作放棄率の高い集落にある農用地
- ④上記の基準に準じて、知事が定める農用地

事業メニューの実施事例



景観作物の作付



獣害柵の補修および管理

事業メニューの効果

農家の減少や高齢化等が進展する中で、平地に比べ農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を継続するため、集落等を単位に行う農業生産活動を支援することで農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る。
 （多面的機能：洪水を防ぐ機能、川の流を安定させる機能、土砂崩れを防ぐ機能など）

【交付額】

地目	区分	交付単価 (円/10a)	地目	区分	交付単価 (円/10a)
田	急傾斜 (1/20以上)	21,000	草地	急傾斜 (15°以上)	10,500
	緩傾斜 (1/100以上)	8,000		緩傾斜 (8°以上)	3,000
畑	急傾斜 (15°以上)	11,500		草地比率の高い草地 <small>(農地等)</small>	1,500
	緩傾斜 (8°以上)	3,500	探草放牧地	急傾斜 (15°以上)	1,000
				緩傾斜 (8°以上)	300

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地保全と多面的機能の向上 平地に比べ農業生産条件不利な中山間地域において農業生産活動を支援することで農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る。 ○取組集落 49集落 ○取組面積 503ha			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地保全と多面的機能の向上 平地に比べ農業生産条件不利な中山間地域において農業生産活動を支援することで農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る。 ○取組集落 50集落(予定) ○取組面積 520ha(予定)			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農地保全と多面的機能の向上 平地に比べ農業生産条件不利な中山間地域において農業生産活動を支援することで農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る。 ○取組集落 50集落(予定) ○取組面積 520ha(予定)			

構成員 甲賀市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：単独治山（補助営）事業

甲賀市

- 山地災害危険地区において、防災対策上必要な施設の新設、管理および防災機能を高める森林の整備により、山地災害防止機能と水源かん養機能を発揮させることで、集落域内における治水効果を高める。
- 山地災害から人家と公共施設等を保全する。

事業メニューの内容、イメージ

・山地災害危険地区とは、山地からの崩壊土砂流出、山腹崩壊、地すべり等の山地災害により、人家や公共施設等に被害を与えるおそれがある地区で、林野庁が定める調査要領に基づき判定したものであり、甲賀市内に524箇所あります。(県内2,446箇所[R6県森林・林業統計要覧])

・山地災害危険地区は、災害の発生形態等によって、「崩壊土砂流出危険地区」「山腹崩壊危険地区」「地すべり危険地区」の3種類に区分されます。



[滋賀県防災情報マップ]

事業メニューの実施事例



人家の保全
(鋼製土留擁壁工・法面植生工)



公共施設等の保全(用水路)
(法面植生工)

事業メニューの効果

山腹崩壊地等において土留工・法面保護工等を行い、集落内に点在する山地の法面安定と表面浸食の防止を図ることにより、森林の機能が回復する。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独治山(補助営)事業 ・大原上田地区単独治山工事 土留工 L=6.0m			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独治山(補助営)事業 予定なし			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	単独治山(補助営)事業 予定なし			

構成員 甲賀市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：立地適正化計画の作成		甲賀市
<ul style="list-style-type: none"> ○都市再生特別措置法に規定する立地適正化計画を策定し、居住誘導区域を設定 ○浸水想定区域等を居住誘導区域から除外し、都市形成と市民の安全の両立を図る ○居住誘導区域外の区域は重要事項説明の対象となり、一定の建築及び開発行為が届け出対象となる 		
<p>事業メニューの内容</p> <p>立地適正化計画では、更なる人口減少・少子高齢化に備えるための都市構造として、都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定し、区域内での都市機能の集積と人口密度の維持により、コンパクトシティの形成を推進する。</p> <p>【居住誘導区域に含めない区域：抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・200年につき1回の割合で発生するものと予想される降雨が生じた場合の想定浸水深が概ね3.0Mを超える区域 	<p>都市機能誘導区域・居住誘導区域（甲賀市）</p>	
<p>事業メニューの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住誘導区域外において、3戸以上の住宅の建築目的の開発行為や、1戸又は2戸の住宅の建築目的の開発行為で1,000㎡以上のもの、3戸以上の住宅を新築しようとする場合に届け出が義務付けられ、必要に応じて勧告することができる。 ・想定浸水深が3M未満であれば、2階等への垂直避難が可能となるため、想定浸水深が3M以上の区域や、他の危険性が高い区域を居住誘導区域に含めないことにより、市民の生命を守ることができる。 		

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画作成事業			
	平成31年度に策定済み。 誘導区域外における開発・建築行為等の届出の審査を行い、計画実現に向けて施策の検討・実施を進めている。				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画作成事業			
	平成31年度に策定済み。 誘導区域外における開発・建築行為等の届出の審査を行い、計画実現に向けて施策の検討・実施を進める。				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画作成事業			
	平成31年度に策定済み。 誘導区域外における開発・建築行為等の届出の審査を行い、計画実現に向けて施策の検討・実施を進める。				

構成員 甲賀市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：甲賀市宅地嵩上げ浸水対策促進事業

甲賀市

○ 将来にわたって安心して住める水害に強い地域を目指すため、滋賀県流域治水の推進に関する条例第13条の規定に基づく浸水警戒区域内において、住宅所有者等が行う宅地嵩上げ浸水対策促進事業に対して、経費の一部を補助しようとするものです。

事業メニューの内容、イメージ

○対象建物

浸水警戒区域内において安全な避難空間がない住宅（新築・既存問わず）が対象

○対象工事

新築・増改築（建て替え）する際の地盤の嵩上げ（盛土・法面保護）工事、RC造、ピロティ化等工事の費用が補助対象となります。



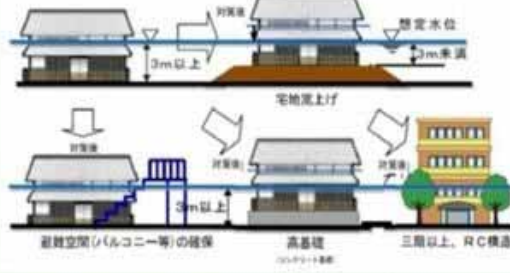
事業メニューの実施事例

滋賀県と連携しながら、市内で浸水リスクが高いと考えられる地域において住民との対話や図上訓練、現地説明などを通じ、地域での避難計画作成等による防災意識の高揚を図るとともに、区域指定による補助金交付を行うことにより、住民の被災時のリスク回避につながることを理解いただくため、事業を進めています。



事業メニューの効果

この事業は200年確率の降雨が生じた際に、想定浸水深が概ね3mを超えると想定される地域において、住宅の新築または増改築を行う際に、適切な嵩上げを行うことで2階以上部分への避難が可能になります。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の新規指定、宅地嵩上げ補助の実施			
		・浸水警戒区域の新規指定…なし ・宅地嵩上げ補助…予定なし			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の新規指定、宅地嵩上げ補助の実施			
		・浸水警戒区域の新規指定…市内で1地区 ・宅地嵩上げ補助…予定なし			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水警戒区域の新規指定、宅地嵩上げ補助の実施			
		・浸水警戒区域の新規指定…市内で1地区 ・宅地嵩上げ補助…予定なし			

構成員 甲賀市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ため池ハザードマップ作成

甲賀市

- ため池の決壊等による影響が大きい防災重点ため池についてハザードマップを作成。
- 地域の危険個所や課題を把握でき、避難計画に反映できる。
- 地域住民の防災意識を高めることで、ため池の日常管理の重要性の認識を促す。

事業メニューの内容、イメージ

- ・ 浸水想定区域の検討
- ・ 避難情報の検討
- ・ 地域住民と意見交換
- ・ マップを各戸配布



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- ・ 自然災害による被害を予想し、その被害範囲を地図化することにより、ため池が決壊する恐れがある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するための参考資料として活用できる。
- ・ 地域の防災計画の見直しや防災施設整備などの検討に利用できる。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ作成事業 ため池の適正な維持管理の実施を地元農業関係者に通知し、ため池防災減災について啓発			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ作成事業 ため池の適正な維持管理の実施を地元農業関係者に通知し、ため池防災減災について啓発			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ作成事業 ため池の適正な維持管理の実施を地元農業関係者に通知し、ため池防災減災について啓発			

構成員 甲賀市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：甲賀市防災マップ作成事業

甲賀市

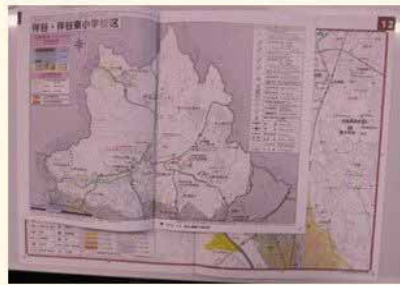


◎事業の目的

- 最新の洪水・土砂災害の危険区域と地震の震度分布を反映。
- 旧町単位のA4冊子から全市B4冊子に変更し、見やすさを向上。
- 避難行動を促すマイタイムラインの掲載など記事を全面改訂。

事業メニューの内容、イメージ

- B4版住宅地図を使用。縮尺を大きくして住家と道路を分かりやすくする。
- サイズを変えることで、他の冊子と比較し目立つように。



事業メニューの実事例

- 現在、作成中で令和4年3月目途に全戸配布予定。
- 市内防災士による避難先、災害リスクの確認を予定。



事業メニューの効果

- 市内全戸に防災マップを配布することで、すべての市民が「予想される被害」と「とるべき行動」を確認し、発災前の予防行動や避難情報による避難行動の喚起につながる。
- 全戸配布後は、防災出前講座等の資料として使い方を周知し、知識の共有が図れる。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業(啓発)			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業(啓発)			

構成員 野洲市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：JR野洲駅前浸水対策事業

滋賀県 野洲市

○事業の目的

- ① 新市街化区域の雨水排水対策（JR野洲駅北口）
- ② 妓王井川流量低減による溢水対策（JR野洲駅南口）

事業メニューの内容・効果



駅前の浸水状況(令和4年7月)

- **野洲駅北口**
駅前北口周辺の新市街化区域（市三宅・行畑・野洲地区）の雨水に係る排水対策を実施。
- **野洲駅南口**
溢水が頻発している妓王井川の上流部に公共下水道（雨水）施設を整備することで流出量抑制を図り、駅前など市街地中心部の浸水リスクを軽減させる。

事業メニューの実施事例



着工前状況 鉄筋コンクリート製アーチ形暗渠 (幅3,000mm×高さ1,000mm)



着工後状況 鉄筋コンクリート製直交り型水降 (幅4,500mm×高さ1,400mm)

平成24年度から浸水対策の雨水事業として着手
平成29年度までに京セラ・オムロン付近を改修
(約1400mを整備済)

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水)全体計画見直し業務委託 野洲駅南口周辺における妓王井川溢水対策を実施するため、公共下水道(雨水)全体計画見直し業務を発注。 妓王井川からの溢水を防ぐために抑制すべき流出量の算出や根幹的施設の配置検討を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水)事業認可業務委託 全体計画の見直しを基に公共下水道(雨水)施設整備を事業化するため、都市計画決定変更・下水道法事業計画変更および都市計画事業認可変更を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道(雨水)基本設計業務委託 事業認可を受けた公共下水道(雨水)施設整備にかかる実施設計(下水道基本設計)を実施予定。			

構成員 野洲市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金事業

野洲市

- 地域共同で行う農用地、水路、農道などの地域資源の保全活動や保安全管理のための推進活動を支援
- 「洪水防止機能」「河川流況安定機能」など、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る
- 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付

事業メニューの内容、イメージ

【多面的機能支払交付金事業の構成】

農地維持支払交付金

多面的機能を支える共同活動を支援します。

- 支援対象
 - ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持などの基礎的保全活動
 - ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保安全管理構想の作成 など

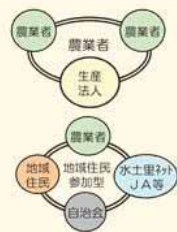
資源向上支払交付金

地域資源（農地、水路、農道など）の質的向上を図る共同活動を支援します。

- 支援対象
 - ・水路、農道、ため池の軽微な補修
 - ・農業排水の透視度調査、生きもの調査
 - ・施設の長寿命化のための活動 など

※長寿命化：老朽化が進む農地周りの水路の補修・更新

活動組織の例



事業メニューの実施事例



水路の泥上げ



ため池の草刈り



コンクリート水路の更新

事業メニューの効果

農村地域の過疎化や高齢化等により農村の恵みを維持することが困難になりつつある現代において、農家や非農家、地域住民が協力して行う地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保安全管理を推進することで、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。

【農業・農村の有する多面的機能】

- 洪水を防ぐ機能
- 土砂崩れを防ぐ機能
- 土の流出を防ぐ機能
- 川の流れを安定させる機能
- 地下水をつくる機能

交付単価

(単位：円/10a)

	(1) 農地維持支払		(2) 資源向上支払			(3) 長寿命化 [上限単価]
	標準型	標準型	環境保全型	防災減災型	生産系保全型	
田	2,200	1,300	1,800	1,800	1,800	4,400
畑	1,500	800	1,080	800	800	2,000
草地	180	120	120	120	120	400

など

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域資源の保全活動や保安全管理のための推進活動を支援 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付。 実施地区数：27組織			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域資源の保全活動や保安全管理のための推進活動を支援 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付予定。 実施地区数：26組織			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域資源の保全活動や保安全管理のための推進活動を支援 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付予定。 実施地区予定数：26組織			

構成員 野洲市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

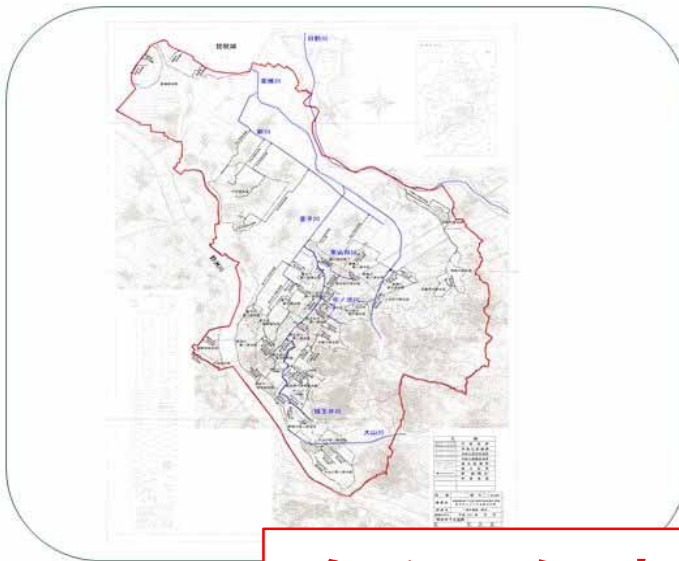
事業名：公共下水道事業による雨水管理総合計画の策定

野洲市

○事業の目的

下水道による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準（整備目標やハード対策の整備率等）、当面・中期・長期の施設整備の方針等の基本的な事項を定める「雨水管理総合計画」を策定する。

事業メニューの内容・効果



事業メニューの実施事例

- ・現計画区域のみではなく市全域の内水浸水想定を実施し、対策を実施すべき区域とその優先度を評価する。（雨水管理方針）
- ・優先度が高い区域に対して当面、中期、長期の整備水準を設定し段階的な対策の計画を検討することで、安価かつ早期に整備可能な施設による効果的な浸水の低減を目指す。（段階的対策検討）
- ・下水道部局に留まらず、市内の他部局や県、国と連携することで、下水道部局の役割の明確化に加え、内外水一体の対策のような効率的な浸水対策の実現を目指す。（流域治水）

令和7年度完了

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水管理総合計画の策定、内水ハザードマップの公表 下水道による浸水を実施すべき区域や目標とする整備水準や、当面、中期、長期の整備方針等を定め雨水管理総合計画を策定する。内水ハザードマップを公表する。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 野洲市

(個票)

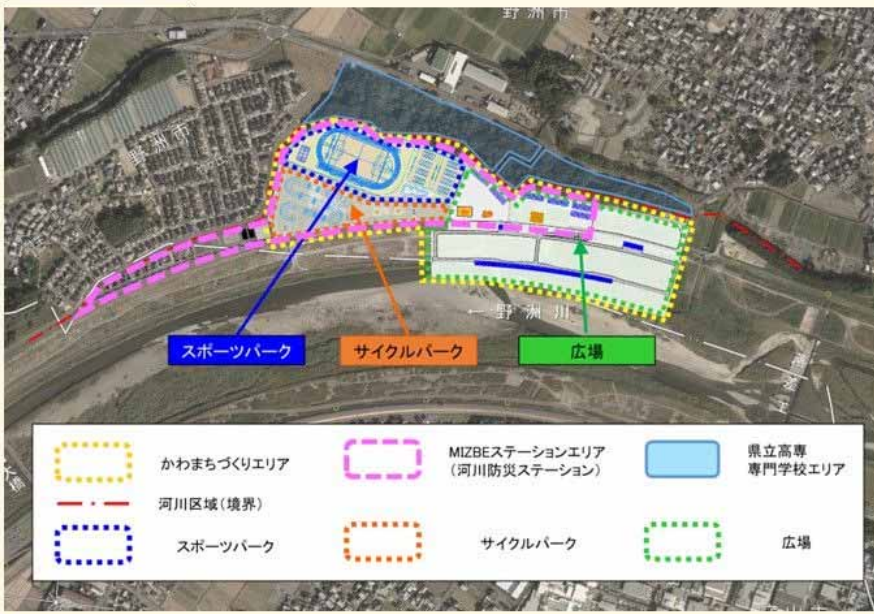
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 グリーンインフラの取組

事業名：MIZBEステーション整備事業

野洲市

【計画地】野洲川6k～7k付近右岸側、JR野洲駅から1.3km、県立高等専門学校隣接地
 【本事業の目的】野洲川の堤防が決壊し甚大な被害が発生した場合でも迅速な水防活動や緊急復旧が可能となるよう、野洲市市三宅地区においてMIZBEステーションの整備を行う。併せて、かわまちづくり計画を策定し、河川空間を活用した地域の賑わいを創出する。

事業エリアイメージ



利活用イメージ



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備に向けた施設内容の整理検討と事業者選定業務を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	令和10年の供用開始を目指し設計を実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	令和10年の供用開始を目指し施工を実施。			

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：浸水センサ、カメラによる中小河川の状況把握

野洲市

【浸水センサ】

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、浸水の状況を迅速に把握し、災害対応を行うことが重要となっています。浸水センサはリアルタイムに浸水状況を把握し防災行動に繋げることができるものです。このセンサを用いた災害対応の仕組みの構築に向けセンサの特性や情報共有の有効性等を実証する浸水センサ実証実験に参加しています。

【河川カメラ】

市内の7箇所を設置済み。増設予定。目視を必要とせず、安全かつリアルタイムに正確な状況を把握することができます。

【河川カメラ】既設の電柱にカメラを添架。サーバーにスマートフォン等でアクセスし、パスワードを入力後復聴可能(30秒更新) 2週間分の録画を実施。



No. 1 野洲駅前(城王井川水量橋)

設置されているカメラ
(電柱添架型)



【国土交通省ワンコイン浸水センサ実証実験】

市内の設置状況

R6年度に過去頻繁に浸水が発生した水路等に近接しているカーブミラー等の道路付風物やJRのアンダーパスに設置しました。国の浸水センサ表示システムでセンサの作動状況が確認できるようになりました。今後、情報の一元化を図り、浸水データのさらなる利活用を進めていきます。



外観(京セラ製)



浸水センサ表示システム



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水センサ・カメラによる中小河川の状況把握・維持管理および機能向上 <浸水センサ> 中小河川等の水位上昇時の稼働状況を把握し、水防活動等に活用。 <カメラ> 降雨時の監視と定期点検。カメラの機能向上(夜間視認性・通信状況の改善)。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水センサ・カメラによる中小河川の状況把握・維持管理および増設 <浸水センサ> 中小河川等の水位上昇時の稼働状況の把握。アンダーパスや浸水危険箇所等の抽出と住民への周知方法の検討予定。 <カメラ> 降雨時の監視と定期点検。カメラ新規増設予定(1箇所)。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水センサ・カメラによる中小河川の状況把握・維持管理 <浸水センサ> インターネット等を活用した住民周知を実施予定。住民の防災活動への活用。 <カメラ> 降雨時の監視と定期点検。			

構成員 野洲市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：野洲市防災マップ作成事業

滋賀県 野洲市

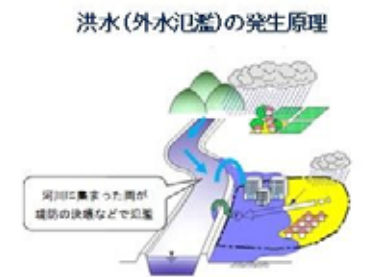
○事業の目的

- ① 「水防法」の改正に基づく内水ハザードマップを新規作成・追加
- ② 内水氾濫・洪水の区別を明確化し、発生源に応じた水害からの避難を促進
- ③ 新たな防災気象情報の発令に沿った避難行動について追加

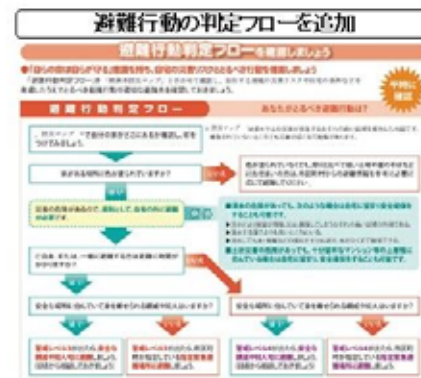
計画規模降雨における浸水想定区域図の更新

内水ハザードマップを新規作成・追加

新たな防災気象情報に沿った避難行動を追加



大雨	短時間集中豪雨	土砂災害	浸水	注意
5	レベル5	レベル5	レベル5	レベル5
4	レベル4	レベル4	レベル4	レベル4
3	レベル3	レベル3	レベル3	レベル3
2	レベル2	レベル2	レベル2	レベル2
1	レベル1	レベル1	レベル1	レベル1



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水ハザードマップの作成および公表 市内の浸水シミュレーションにより作成した内水浸水想定区域図を基に、内水ハザードマップを作成し、市民に公表した。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	水害ハザードマップの作成および公表 滋賀県が作成した洪水浸水想定区域図および内水ハザードマップを取りまとめ、水害ハザードマップを作成し、市民に公表する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	野洲市防災マップの更新 内水、洪水、地震等を総合的に示した野洲市防災マップの更新を行う。			

構成員 野洲市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：家棟川・童子川・中ノ池川にピワマスを戻すプロジェクト

野洲市

琵琶湖へと注ぐ家棟川水系(童子川・中ノ池川)の多様な生態系や水質改善のシンボルとして、ピワマスの遡上できる環境づくりの取り組みを、市民、専門家、企業、行政が協働し、産卵床の造成などを行い、家棟川を遡上するピワマスの生息環境の保全・再生を行う。

事業メニューの内容、イメージ

- 産卵床の造成
遡上したピワマスが産卵しやすい川床にするため、川底の土砂をかき出す作業や砂利を追加で投入して産卵床の造成を行う。
- 遡上調査・稚魚調査
主に産卵床を造成した箇所で、ピワマスの遡上や産卵を確認するための調査を行う。また、数か月後に稚魚が生息しているかの調査を行う。



事業メニューの実施事例

産卵床造成



事業メニューの効果

- ピワマスの遡上および稚魚が毎年確認できており、遡上・産卵・孵化が継続して行われている。
- 市民が河川に親しみを持ち、環境保全意識の高揚へつながる啓発を行うことができた。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ピワマスが遡上できる環境づくりを、市民、専門家、企業、行政が協働して実施。 場 所：野洲市家棟川水系(童子川・中ノ池川) 産卵床造成(2回)：延べ50名 稚魚調査(見込み)：25名			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ピワマスが遡上できる環境づくりを、市民、専門家、企業、行政が協働して実施。 場 所：野洲市家棟川水系(童子川・中ノ池川) 産卵床造成(見込み)：延べ50名程度 稚魚調査(見込み)：20名程度			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ピワマスが遡上できる環境づくりを、市民、専門家、企業、行政が協働して実施。 場 所：野洲市家棟川水系(童子川・中ノ池川) 産卵床造成(見込み)：延べ50名程度 稚魚調査(見込み)：20名程度			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了

構成員 野洲市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：ヨシ群落再生事業

野洲市

ヨシが持つ湖岸侵食防止機能、水質保全機能等により、豊かな生物相の育成を図るため、市内の小学生や団体、事業所等により、琵琶湖岸のヨシ群落再生および保全活動を行う。作業を通じた環境学習の場とする。

事業メニューの内容、イメージ

○ヨシ苗作り・ヨシ植栽

中主小学校4年生が琵琶湖とヨシについて学習会とヨシ苗作りを行い、学校の池で苗を育て、琵琶湖の水質改善と多様な生物の棲み所になることを願って湖岸へ移植する。

○ヨシ群落再生事業

各種団体や事業所等と連携し、ヨシ植栽を行う市民参加型イベントを開催し、ヨシ群落再生だけでなく、琵琶湖の水質保全および湖岸の景観保全を目的としても行う。



事業メニューの実施事例

ヨシ苗作り



ヨシ植え



事業メニューの効果

○ヨシ苗作成やヨシ植栽を行うことで、琵琶湖に親みをもってもらい、環境学習、環境啓蒙に寄与している。

○湖岸浸食防止も目的にしており、当初よりはヨシ群落は再生しているが、強い波や風により、植栽したヨシが定着することが難しいため、今後の課題となっている。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖岸のヨシ群落再生事業としてヨシ植栽を市内の小学生や団体、事業所により実施。 場 所：野洲市あやめ浜周辺 小学校ヨシ植栽授業：114名 ヨシ植栽イベント：137名 作業面積：1,500㎡			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖岸のヨシ群落再生事業としてヨシ植栽を市内の小学生や団体、事業所により実施。 場 所：野洲市あやめ浜周辺 小学校ヨシ植栽授業(見込み)：100名程度 ヨシ植栽イベント(見込み)：150名程度 作業面積：1,500㎡			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖岸のヨシ群落再生事業としてヨシ植栽を市内の小学生や団体、事業所により実施。 場 所：野洲市あやめ浜周辺 小学校ヨシ植栽授業(見込み)：100名程度 ヨシ植栽イベント(見込み)：150名程度 作業面積：1,500㎡			

構成員 湖南省

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：浸水対策事業による雨水幹線整備

湖南省

- 雨水排水の浸水対策として、湖南省石部地先の雨水整備を実施する。
- 雨水浸水対策面積として、全体A=7.7ha、L=700m（内A=7.0ha、L=640m 約91%実施済）

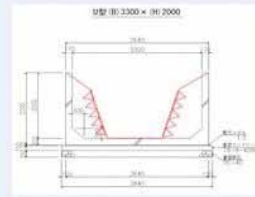
事業メニューの内容、イメージ



出典：国土技術政策総合研究所



事業メニューの実施事例



既設ブロック積
↓
U型水路



整備完了後



整備完了後
水田状況

事業メニューの効果

- ・浸水対策事業による雨水幹線（排水施設）の整備
- ・内水氾濫対策としての事業
- ・計画降雨の確率年として、10年確率で実施している

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水対策事業による雨水幹線の整備 令和4年度に事業完了。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水対策事業による雨水幹線の整備 令和4年度に事業完了。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水対策事業による雨水幹線の整備 令和4年度に事業完了。			

構成員 湖南省

(個票)

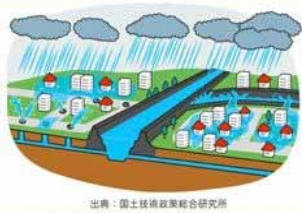
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：浸水対策事業による用水路整備

湖南省

- 農業用水路が近年の集中豪雨等により、溢水することから緊急対策として雨水対策整備を実施する。
- 雨水浸水対策面積として、全体A=4.5ha、L=150m

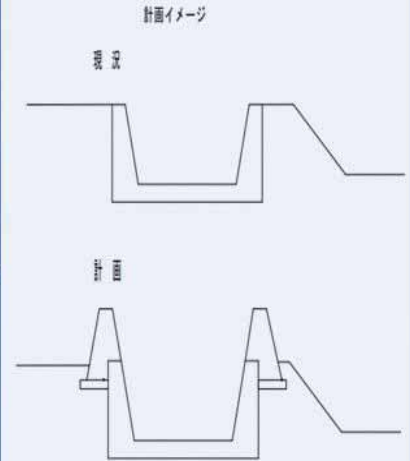
事業メニューの内容、イメージ



出典：国土技術政策総合研究所



事業メニューの実事例



事業メニューの効果

- ・農業用水路の集中豪雨時の溢水対策として整備を行う。
- ・内水氾濫対策としての水路部の嵩上げ等による有効断面の確保を行う。
- ・隣接企業敷地への浸水の防止を図る。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水対策事業による用水路の整備 浸水対策工事実施のための測量設計、工事を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水対策事業による用水路の整備 老朽化した水路施設の長寿命化対策を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	浸水対策事業による用水路の整備 令和8年度に事業完了。			

構成員 湖南省

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動事業

湖南省

- 区および自治会等が湖南省内の1級河川の除草、川ざらえ、竹木の伐採を実施する。
- 区および自治会に対して、滋賀県・湖南省より補助金の交付を行う。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



除草作業活動



川ざらえ活動



竹木伐採活動

事業メニューの効果

・河川断面を確保するため、河川内の草木・土砂堆積が解消され、行政と地域の自主的な活動による役割分担のもとに、協働により河川管理をおこなうことができる。
 そのことにより、災害を未然に防止することができ、地域の安全な環境を守ることができる。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施。 年間実施数: 43自治会 参加者: 延べ4,450人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施予定。 年間実施予定数: 43自治会 参加予定者: 延べ4,450人			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会による市内河川(一級河川等)の除草作業 R9年度以降、毎年各自治会単位で除草作業を実施予定。			

構成員 湖南省

(個票)

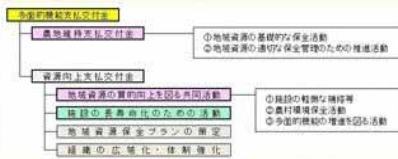
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金（世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策交付金）

湖南省

- 農業者や地域住民により構成される活動組織が農地等の地域資源を維持していくために行う地域活動や、地域資源の質的向上を図る活動への支援。
- 国土の保全、水源の涵養などの農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮が図られる。

事業メニューの内容、イメージ



出典：近畿農政局webページ
<https://www.maff.go.jp/kinki/aisaku/nosonsin/ko/igenhozan/index.html>

事業メニューの実施事例



農地維持活動



水質保全活動



生態系保全活動

事業メニューの効果

- 農地を農地として維持する活動の実施により、農地の持つ多面的機能が維持・発揮される。
 - ・ 土砂の流出を防ぐなどの国土の保全。
 - ・ 川の流れを安定させる水源の涵養。
 - ・ 生態系などの自然環境の保全。
 - ・ 良好な景観などの形成。 etc

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	多面的機能支払交付金（世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策交付金） 地域共同による農用地、水路、農道などの地域資源の基礎的な保全活動と保全管理のための推進活動および水路、農道等の施設の軽微な補修、農村環境保全活動および多面的機能の増進を図る活動に対し、対象農用地面積に応じ支援。 活動組織数（7組織）			
R8年度 （予定）	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	多面的機能支払交付金（世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策交付金） 地域共同による農用地、水路、農道などの地域資源の基礎的な保全活動と保全管理のための推進活動および水路、農道等の施設の軽微な補修、農村環境保全活動および多面的機能の増進を図る活動に対し、対象農用地面積に応じ支援。 活動組織数（7組織）			
R9年度 （予定）	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	多面的機能支払交付金（世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策交付金） 地域共同による農用地、水路、農道などの地域資源の基礎的な保全活動と保全管理のための推進活動および水路、農道等の施設の軽微な補修、農村環境保全活動および多面的機能の増進を図る活動に対し、対象農用地面積に応じ支援。 活動組織数（7組織）			

構成員 湖南省

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

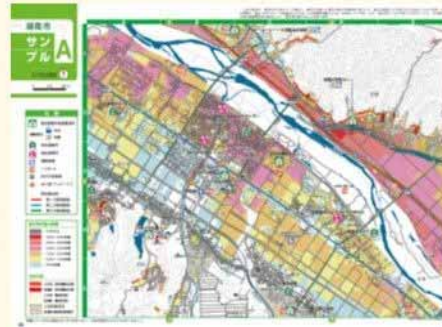
事業名：総合防災マップの作成 と利活用

湖南省

○ 風水害等の自然災害への備えや対策、浸水想定区域図、土砂災害警戒区域図などの情報を盛り込んだ防災マップを作成した。

事業メニューの内容、イメージ

・国、滋賀県が作成・公表した洪水浸水想定区域図、地先の安全度マップ、土砂災害警戒区域などのデータを湖南省防災マップに反映し、市民の防災意識の向上、自主防災体制の充実を図る。



事業メニューの実施事例

令和3年4月に全戸配布
防災講座等でも活用中



事業メニューの効果

- ・防災マップを避難行動に直結する効果的なものとするため、「災害避難地図」として活用することができる。
- ・家族間の避難についての話し合いに役立つ、マイタイムラインの活用。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	湖南省防災マップの作成 各地域、小中学校において防災マップを活用した防災出前講座を実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	湖南省防災マップの更新 県の指定した土砂災害(特別)警戒区域や河川被害想定に基づく『地先の安全度マップ』の更新に伴い(令和7年度予定)、防災マップを更新する。(全戸配布予定) 各地域、小中学校において防災マップを活用した防災出前講座を実施。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	湖南省防災マップの作成 各地域、小中学校において防災マップを活用した防災出前講座を実施。			

構成員 高島市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動事業

高島市

- 市内の河川を行政と地域住民が協働で管理するとともに、堤防等の河川管理施設の機能維持を図る。
- 活動する自治会等には交付金を交付し、自治活動を支援する。

事業メニューの内容、イメージ

- ・ 草木の刈取りおよび伐採除去作業
- ・ ごみその他の汚物除去作業
- ・ 障害竹木の除去作業
- ・ 堆積した土砂の除去作業 (川ざらえ)



事業メニューの実施事例



川ざらえ

事業メニューの効果

地域住民の自主的な活動であり、かつ、行政と役割分担し、協働により河川を管理する事で、河川の氾濫等を防止するとともに、堤防等の河川管理施設の機能維持が図れる。



河川堤防の草刈

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	集落内を流れる河川(一級河川を含む)の除草や土砂撤去を、区・自治会単位で実施している。活動にあたり、交付金を交付し、支援している。 参加団体数:140自治会(うち、土地改良区1団体) 参加者数 :延べ8,023人			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R8年度 (予定)	実施内容	集落内を流れる河川(一級河川を含む)の除草や土砂撤去を、区・自治会単位で実施している。活動にあたり、交付金を交付し、支援する。 参加予定団体数:142自治会(うち、土地改良区1団体) 参加予定者数 :延べ8,500人			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R9年度 (予定)	実施内容	R9年度以降も継続して、区・自治会単位で除草作業等を実施する予定。			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了

構成員 高島市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：普通河川整備事業

高島市

- 普通河川を整備することにより、安全性を高め、地域住民の安心で安全な生活の確保を図る。
- 集落内の河川を整備する自治会等に補助金を交付し、自治活動を支援する。

事業メニューの内容、イメージ

近年の集中豪雨による河川の越水、家屋等への浸水被害を防止するために、河川を整備を行う。

身近な河川整備事業

区・自治会から要望のある河川の中で緊急性がある河川を整備する。

集落道路河川等整備事業(河川・水路整備事業)

自治会等が行う河川整備に補助金を交付し、自治活動を支援する。



えり本川整備状況

事業メニューの効果

河川を整備することにより、排水機能が確保され、河川の越水や護岸崩壊の防止につながり、地域住民の安心で安全な生活が確保される。



事業メニューの実施事例

整備前



整備後



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備が必要な河川について、優先度を踏まえて順次、整備をすすめる。 ・夙本川護岸改修工事、浦地区流路工整備工事(設計) ・身近な河川整備工事 (1ヶ所) ・集落道路河川等整備事業補助金 (3件)			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備が必要な河川について、優先度を踏まえて順次、整備をすすめる。 ・浦地区流路工整備工事 ・身近な河川整備工事 (2ヶ所) ・集落道路河川等整備事業補助金 (3件)			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	整備が必要な河川について、優先度を踏まえて順次、整備をすすめる。 ・身近な河川整備工事 ・集落道路河川等整備事業補助金			

構成員 高島市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金事業

高島市

農家の減少や高齢化等により農村の恵みを維持することが困難になっていることから、農家や非農家、地域の大人から子どもまで集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理など保全活動を支援することにより、農業・農村が有する多面的機能の維持・増進を図る。

事業メニューの内容、イメージ

多面的機能支払交付金事業の構成

農地維持支払交付金と資源向上支払交付金で構成される。

農地維持支払交付金

多面的機能を支える共同活動を支援します。

支援対象
 ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持などの基礎的保全活動
 ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成 など

資源向上支払交付金

地域資源（農地、水路、農道など）の質的向上を図る共同活動を支援します。

支援対象
 ・水路、農道、ため池の軽微な補修
 ・農業排水の透視度調査、生きもの調査
 ・施設の長寿命化[※]のための活動 など

※長寿命化：老朽化が進む農地周りの水路の補修・更新

事業メニューの効果

集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理など保全活動を支援することにより、農業・農村が有する多面的機能の維持・増進が図れる。

【農業・農村の有する多面的機能】

- 洪水を防ぐ機能
- 川の流れを安定させる機能
- 土砂崩れを防ぐ機能
- 土の流出を防ぐ機能
- 農村の景観を保全する機能
- 文化を継承する機能
- など

【交付額】

	農地維持支払	資源向上支払 (共同)				資源向上支払 [※] (施設の長寿命化) (1ha単位)
		標準型	環境保全型	防災減災型	生態系保全型	
田	2,200	1,300	1,800	1,800	1,800	4,400
畑	1,500	800	1,080	800	800	2,000
農路	180	120	180	120	120	400

※活動面積に応じて交付金を交付

事業メニューの実施事例



農地法面の草刈り

水路の泥上げ



水路のひび割れ補修

水路法面の初期補修



水守当番による排水調査

水路の更新・補修

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	集落ぐるみで行う農用地・水路・農道などの保全活動や軽微な補修、老朽用水路の長寿命化(更新)活動に交付金を交付し支援する。 予定(集落)組織数:5活動組織(106集落) 対象面積:3,518ha ※施設長寿命化活動/予定組織(集落)数:2活動組織(34集落) 対象面積:1,190ha			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R8年度 (予定)	実施内容	集落ぐるみで行う農用地・水路・農道などの保全活動や軽微な補修、老朽用水路の長寿命化(更新)活動に交付金を交付し支援する。 予定(集落)組織数:5活動組織(106集落) 対象面積:3,518ha ※施設長寿命化活動/予定組織(集落)数:2活動組織(34集落) 対象面積:1,190ha			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R9年度 (予定)	実施内容	集落ぐるみで行う農用地・水路・農道などの保全活動や軽微な補修、老朽用水路の長寿命化(更新)活動に交付金を交付し支援する。 予定(集落)組織数:5活動組織(106集落) 対象面積:3,518ha ※施設長寿命化活動/予定組織(集落)数:2活動組織(34集落) 対象面積:1,190ha			
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了

構成員 高島市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：中山間地域等直接支払交付金事業

高島市

農業生産条件が不利な中山間地域等において、集落等を単位に行う農業生産活動を支援することにより、「洪水防止機能」「河川流況安定機能」などの農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る。

事業メニューの内容、イメージ

地域振興立法で指定された地域において、傾斜がある等の基準を満たす農用地を対象に、集落等を単位に維持・管理していくための協定を締結し、それに従い農業生産活動を行う場合に面積に応じて一定額を交付する仕組み。

対象地域

- 「特定農山村法」「山村振興法」
- 「過疎地域自立促進特別措置法」
- 「半島振興法」「離島振興法」
- 「沖縄振興特別措置法」
- 「奄美群島振興開発特別措置法」
- 「小笠原諸島振興開発特別措置法」
- 「棚田地域振興法」等によって指定された地域

対象農用地

- ①急傾斜地（田：1/20以上）
（畑・草地など：15°以上）
- ②緩傾斜地（田：1/100以上1/20未満）
（畑・草地など：8°以上15°未満）
- ③小区画・不整形な田
- ④高齢化率・耕作放棄率の高い集落にある農用地
- ⑤積算気温が低く、草地比率の高い草地
- ⑥上記の基準に準じて、知事が定める農用地

事業メニューの効果

農家の減少や高齢化等が進展する中で、平地に比べ農業生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動を継続するため、集落等を単位に行う農業生産活動を支援することで農業・農村の有する多面的機能の維持・増進が図れる。
(多面的機能：洪水を防ぐ機能、川の流れを安定させる機能、土砂崩れを防ぐ機能など)

【交付額】

地目	区分	交付単価 (円/10a)	地目	区分	交付単価 (円/10a)
田	急傾斜(1/20以上)	21,000	草地	急傾斜(15°以上)	10,500
	緩傾斜(1/100以上)	8,000		緩傾斜(8°以上)	3,000
畑	急傾斜(15°以上)	11,500		草地比率の高い草地(準池地)	1,500
	緩傾斜(8°以上)	3,500	採草放牧地	急傾斜(15°以上)	1,000
				緩傾斜(8°以上)	300

※活動面積に応じて交付金を交付

事業メニューの実施事例



農家による簡易整備

景観作物の作付け



食品加工

機械の共同利用



放牧による耕作放棄地の発生防止

鳥獣被害の防止

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	集落等を単位に行う農地の整備、景観作物の作付け、鳥獣被害対策等の農地生産活動に、交付金を交付し支援する。			
		取組集落数:39集落 対象面積:650ha			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落等を単位に行う農地の整備、景観作物の作付け、鳥獣被害対策等の農地生産活動に、交付金を交付し支援する。			
		取組集落数:39集落 対象面積:650ha			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落等を単位に行う農地の整備、景観作物の作付け、鳥獣被害対策等の農地生産活動に、交付金を交付し支援する。			
		取組集落数:39集落 対象面積:650ha			

構成員 高島市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：防災ハザードマップの作成・啓発

高島市

事業の概要

- ①本市が有する災害リスクについて、住民が行う避難行動等に役立つ情報をまとめ、全戸に配布
- ②「最大浸水想定」、「避難行動の判定フロー」等の各種法制度の改正に伴う修正・バージョンアップを行う
- ③緊急避難体制の確立に向けた基礎資料として、出前講座を通して啓発し、地区防災計画の作成を推進する

現在の内容、イメージ

【高島市防災ハザードマップ】：R4.3月更新

【対象とする災害】

浸水、土砂災害、地震、原子力災害

【浸水、土砂災害の想定】

- ・中小河川、小水路等の外水・内水氾濫を含め、地先の最大浸水深を表示
- ・各種土砂災害の指定地を表示

【その他】

- ・啓発面の充実に注力
- ・過去の災害記録をできる限り反映
- ・役立つ豆知識を掲載



事業メニューの目指す効果等

①出前講座を通じた周知・啓発



出前講座の様子

②住民主体のDIG・HUGへの展開



HUGの様子

③緊急避難体制の確立、地区防災計画の作成推進



避難訓練の様子

更新した内容

基本コンセプトを継承しながら、対応力向上に向けたバージョンアップを行う。

【ポイント】

- ・法制度の改正に対応（最大浸水想定規模など）
- ・浸水深のみならず流速のリスクも表示
- ・避難の種別、避難の基準、方法等を充実
- ・わかりやすく、扱いやすい体裁とした

【その他】

- ・データは市のGIS防災コンテンツに搭載し、災害対策等に活用する

【安曇川浸水想定（最大浸水想定）】



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災ハザードマップの周知啓発等 防災出前講座等を通じて、ハザードマップの活用と自助・共助の必要性について啓発を行い、自主防災組織等の強化や地区防災計画の作成の推進を図った。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災ハザードマップの周知啓発等 防災出前講座等を通じて、ハザードマップの活用と自助・共助の必要性について啓発を行い、自主防災組織等の強化や地区防災計画の作成の推進を図る。 また、滋賀県が浸水想定区域図を更新することに伴い、市の水害ハザードマップも更新を行う。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災ハザードマップの周知啓発等 防災出前講座等を通じて、ハザードマップの活用と自助・共助の必要性について啓発を行い、自主防災組織等の強化や地区防災計画の作成の推進を図る。			

構成員 高島市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策




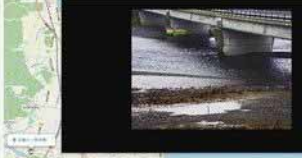

事業名：河川防災カメラによる状況把握	高島市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 県により主要河川8箇所を設置されていた河川カメラに加え、市が単独で5箇所を増設し監視体制を強化 ○ 情報(映像)は市ホームページで市民に公開し、大雨時の警戒と早めの避難の参考情報としてもらう ○ 市の警戒体制において各種対策を判断する際、雨量・水位情報等と併せて極めて重要な情報手段 	
<p>事業メニューの内容、イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度に5箇所を設置(市単独) ○ 雨量情報、河川水位情報等と併せて活用し、監視・対策を強化する。 ○ 配備する河川(中小1級河川) 【市単独】知内川1箇所、百瀬川1箇所、石田川1箇所、麻生川1箇所、八田川1箇所 【県設置】石田川3箇所、安曇川3箇所、鴨川2箇所 	
<p>事業メニューの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県の土木防災情報システムおよび河川カメラを補完し、市内のほぼ全域の1級河川が遠隔監視できるようになった。 ○ ホームページを通して、市民への具体的な情報提供が実現した。 	<p>事業メニューの実施事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座等による周知・啓発 H P 高島市河川防災カメラシステムの紹介と操作方法  <ul style="list-style-type: none"> ○ その他の備える対策 ・簡易量水計の設置(高島市水害協議会)  <p>住民の意識醸成と早期避難のタイミングをつかむ方法として簡易量水計を設置 1級河川安曇川 朽木村井地区</p>
 <p>滋賀県土木防災情報システム</p>	 <p>高島市河川防災カメラシステム</p>

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川防災カメラによる状況把握			
		市内の主要河川に防災カメラを設置し、風水害時に正確な現場状況の把握を行い、迅速に市民へ情報提供できるよう努めた。 ・市設置:5箇所 ・県設置:8箇所 計13箇所設置			
R8年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川防災カメラによる状況把握			
		市内の主要河川に防災カメラを設置し、風水害時に正確な現場状況を把握し、迅速に市民へ情報提供できるよう努める。			
R9年度(予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川防災カメラによる状況把握			
		市内の主要河川に防災カメラを設置し、風水害時に正確な現場状況を把握し、迅速に市民へ情報提供できるよう努める。			

構成員 高島市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：高島市総合防災情報システムによる状況把握	高島市
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報システムの導入を市単独で実施し河川への監視体制および災害対応の強化 ○ 全職員の同時アクセスが可能のため、災害時の情報共有および指示事項の共有が可能 ○ 市内の被害状況や河川状況を1画面で確認することができ、避難判断時に極めて重要なシステム 	
<p>事業メニューの内容、イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和06年度にシステムを導入(市単独) ○ システム内にて市内の被害状況、河川情報(河川カメラ)、河川水位情報、雨量情報などを1画面でリアルタイムに情報取得し、河川の監視や災害への迅速な対応を強化する。 ○ 同システムに多メディア配信機能を導入したことにより、メール配信(エリアメール・市自メール)、防災行政無線放送、SNS等への配信を一括で行うことが可能となり、住民への情報提供を強化した。 	<div style="text-align: center;">  <p>総合防災情報システム</p> </div>
<p>事業メニューの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 河川情報(河川水位等)と市内被害情報(土砂災害等)を1画面で確認することが可能となり、住民への避難情報発令の判断を正確かつ迅速に対応することが実現した。 ○ 被害情報(未確認、確認済、対応中、対応済)ごとにアイコンの色が変わることにより、確認・指示漏れが解消が実現した。 ○ 多メディア配信機能により、市民への迅速な情報提供が実現した。 	<p>事業メニューの実施事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ システムを活用した防災訓練による職員の熟練度の向上 ○ 災害による活用 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>訓練時の状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>各観測所の降水量、河川水位の確認画面</p> </div> </div>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>システムから観望できる河川防犯カメラ映像</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>被害対応等の対応状況一覧</p> </div> </div>	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	高島市総合防災情報システムの導入 高島市総合防災情報システムを導入し、災害時に市内の被害状況および河川情報等を正確かつリアルタイムに現場状況を把握し、迅速な災害対応を実施できるよう努めた。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	高島市総合防災情報システムによる状況把握 高島市総合防災情報システムを導入し、災害時に市内の被害状況および河川情報等を正確かつリアルタイムに現場状況を把握し、迅速な災害対応を実施できるよう努める。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	高島市総合防災情報システムによる状況把握 高島市総合防災情報システムを導入し、災害時に市内の被害状況および河川情報等を正確かつリアルタイムに現場状況を把握し、迅速な災害対応を実施できるよう努める。			

構成員 高島市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：ヨシ群落保全事業

高島市

ヨシが持つ湖岸侵食防止機能、水質保全機能等により、豊かな生物相の育成を図るため、市内の団体や、ボランティアにより、琵琶湖岸のヨシ群落の保全活動を行う。作業を通じた環境学習の場とする。

事業メニューの内容、イメージ

- ヨシ刈り
新芽の成長促進、病害虫の繁殖防止等を目的として、生育しているヨシの刈取りを行う。
- 火入れ
新芽の成長促進、病害虫の繁殖防止等を目的として、刈り取ったヨシの焼却を行う。



事業メニューの実施事例

ヨシ刈り



火入れ



事業メニューの効果

- 県内の琵琶湖等に分布するヨシ群落は、干拓、埋め立て湖岸堤の整備などにより、昭和30年代と比べて減少傾向にあったが、現在では昭和28年と同程度にまで回復している。
- ヨシ刈り、火入れ作業、刈り取ったヨシを材料にしたヨシ笛の作成等により環境学習、環境啓発に寄与している。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖岸のヨシ群落のヨシ刈り・火入れを市内の団体やボランティアにより実施。 場 所：高島市新旭町針江 ヨシ刈り参加者：163名 火入れ参加者(見込み)：30名程度 作業面積：20,000㎡			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖岸のヨシ群落のヨシ刈り・火入れを市内の団体やボランティアにより実施。 場 所：高島市新旭町針江 ヨシ刈り参加者(見込み)：150名 火入れ参加者(見込み)：30名程度 作業面積：20,000㎡			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	琵琶湖岸のヨシ群落のヨシ刈り・火入れを市内の団体やボランティアにより実施。 場 所：高島市新旭町針江 ヨシ刈り参加者(見込み)：150名 火入れ参加者(見込み)：30名程度 作業面積：20,000㎡			

構成員 高島市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：特定外来水生植物除去事業

高島市

近年、琵琶湖、河川、水田等において、特定外来水生植物が繁茂し、在来水生植物の駆逐や河川の閉塞等が問題視されていることから、ボランティア団体等が行う特定外来水生植物の除去作業を支援する。

事業メニューの内容、イメージ

近年、ナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイ等の特定外来水生植物が琵琶湖、河川、水田等で繁茂しており、在来水生植物の駆逐、河川の閉塞等の影響が問題視されている。
県が行っている外来水生植物除去事業とは別に、ボランティア団体等が市内で行う除去活動について、参加協力、処分手数料の免除、処理施設への運搬等の支援を行っている。



事業メニューの実施事例

ナガエツルノゲイトウ除去作業



事業メニューの効果

- 大規模な繁殖区域において特定外来水生植物の除去ができた。
- 除去作業を通じて環境啓発に寄与した



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	R7年度に関してはボランティア団体等から搬入免除の要請が無かったため、現時点では活動支援の実績は無い。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	高島市内の琵琶湖や河川等において、ボランティア団体が行う、特定外来水生植物除去活動の支援を予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	高島市内の琵琶湖や河川等において、ボランティア団体が行う、特定外来水生植物除去活動の支援を予定。			

構成員 高島市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：産卵繁殖場保全事業

高島市

ヨシ帯の清掃活動を行いニゴロブナやホンモロコの産卵繁殖場を保全する。

事業メニューの内容、イメージ

- ・ニゴロブナやホンモロコが産卵繁殖する場であるヨシ帯に、浮遊・散在する廃棄物の回収・処理をする。
- ・地元漁業協同組合に事業委託を行い、船舶を用いてヨシ帯の中心部まで清掃する。
- ・処理困難物(タイヤやコンクリートブロックなど)の場所の特定・市への報告



事業メニューの実施事例



船舶を用いた清掃活動



人力による清掃活動

事業メニューの効果

- ・船舶を用いることにより、ヨシ帯の中心部まで清掃を行うことができ、ヨシ帯の機能の保全が図れる。
- ・ヨシ帯および周辺環境の変化に対して監視機能が働く。



廃棄物の浮遊・散在



清掃活動



ヨシ帯の保全

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ヨシ帯に浮遊・散在する廃棄物の回収・処理を、地元漁業協同組合に委託 委託団体数:4団体 実施時期 : 11月から12月の間 活動人数:52人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ヨシ帯に浮遊・散在する廃棄物の回収・処理を、地元漁業協同組合に委託 委託団体数:4団体 実施時期 : 11月から12月の間 活動人数(見込み):50人			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ヨシ帯に浮遊・散在する廃棄物の回収・処理を、地元漁業協同組合に委託 委託団体数:4団体 実施時期 : 11月から12月の間 活動人数(見込み):50人			

構成員 東近江市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：雨水浸透槽設置事業（吸込槽の設置）

東近江市

- 吸込槽の効率的な配置により雨水の流出抑制を行い、河川の負荷低減を図る
- 透水係数が高い地区において住宅地の浸水被害リスクを低減させる
- 公有地の駐車場やグラウンドの土地を活用する

事業メニューの内容、イメージ

【目的】

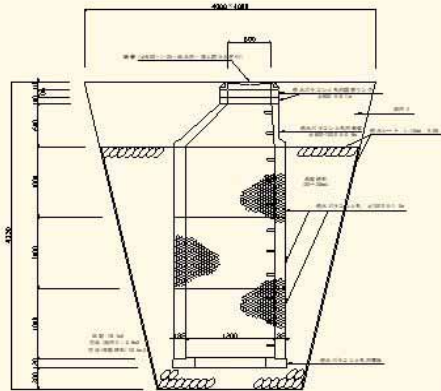
- ・ 土壌の透水係数が高い地域において、市道の雨水を地下に浸透させ、河川の負荷軽減を図る。

【設置する深さの目安】

- ・ GLから3.0m以下

【設置する施設の大きさ】

- ・ 1号～3号マンホール



事業メニューの実施事例

○ 吸込槽の設置状況



○ 大雨時の吸込状況



事業メニューの効果

- ・ 一定範囲に吸込槽を設置することで、集水面積内で透水性舗装と同等の効果を得る
- ・ 道路の新設、既設にかかわらず道路側溝と接続することで、透水性舗装と比べ安価・短時間で地下浸透効果ある整備が図れる。
- ・ 地下浸透施設の用地確保のため、公共施設の駐車場や公園などの地下空間を有効活用する。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水浸透槽設置事業(吸込槽・集水柵の設置) 市政要望のあった箇所に集水柵1基を設置			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水浸透槽設置事業(吸込槽・集水柵の設置) 市政要望のあった箇所に予算に応じて設置			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	雨水浸透槽設置事業(吸込槽・集水柵の設置)			

各構成員の進捗状況

構成員 東近江市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名 多面的機能支払交付金

東近江市

- 地域住民が共同で行う農用地、水路、農道などの地域資源の保全活動や保全管理のための推進活動を支援する
- 農家や地域の大人から子ども達みんなが力を合わせて取り組む活動を応援する交付金事業
- 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る

事業メニューの内容、イメージ

多面的機能支払交付金事業の構成

農地維持支払交付金

- ・多面的機能を支える共同活動を支援
- 活動例) 農用地法面の草刈り、水路泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動など

資源向上支払交付金

- ・地域資源(農用地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動を支援
- 活動例) 水路、農道、ため池の軽微な補修、植栽による景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動、老朽化が進む農業用水路等の施設の長寿命化のための活動など

事業メニューの効果

農村地域の過疎化や高齢化などにより農村の恵みを維持することが困難になりつつある現代において、農家や非農家、地域住民が協力して行う地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進することで、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮が図れる。

農業・農村の有する多面的機能

- ・水田は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生きものを育てている。また、美しい農村の風景は私たちの安らぎの空間となっている。

事業メニューの実施事例

- 農用地や農道の草刈り、排水路の泥上



- 水路の目地詰め、畦畔の補修



- 生態系保全(生き物観察会)、景観形成(植栽活動)



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援			
	取組組織	152組織			
	取組面積	7,039ha / 8,330ha (84.5%)			
	事業費	251,229千円			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援			
	取組組織	152組織			
	取組面積	7,057ha / 8,330ha (84.7%)			
	事業費	253,372千円			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援			
	取組組織	152組織			
	取組面積	7,057ha / 8,330ha (84.7%)			
	事業費	253,372千円			

構成員 東近江市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：開発区域内における調整池等流出抑制施設の設置（都市
計画法第33号第1項第3号関連）

東近江市

- 開発区域内の雨水排水を放流する水路、河川等に十分な流下能力がなく、開発区域周辺及び下流流域に溢水等の被害の生ずるおそれがある場合は、調整池等流出抑制施設の設置等が必要となる
- 東近江市八日市地区(丘陵、山裾、愛知川沿い、各河川の直近その他不適切と考えられる地区を除く。)では、開発区域周辺に流末がない等の場合、浸透型流出抑制施設(吸込槽)を設置できる場合がある

事業メニューの内容、イメージ

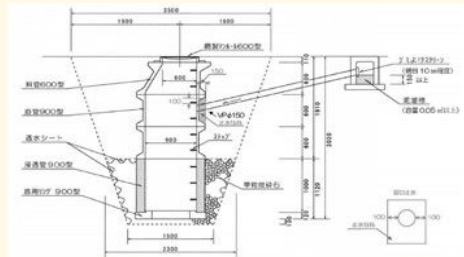
調整池

- ・集中豪雨などの局地的な出水により、河川の流下能力を超過する可能性がある洪水を一時的に貯留する施設



吸込槽

- ・雨水排水を河川に放流せず地下に浸透させる施設



事業メニューの実施事例

○調整池



○吸込槽



事業メニューの効果

- ・開発区域及びその周辺の地域への溢水等による被害を抑制することができる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	開発区域内における調整池等流出抑制施設の設置			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	開発区域内における調整池等流出抑制施設の設置			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	開発区域内における調整池等流出抑制施設の設置			

構成員 東近江市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：林業従事者就業者育成事業

東近江市

○ 林業従事者及び林業就業者の高齢化や担い手が不足している現状に対応するために、担い手育成に係る費用の一部を市が支援する。

事業メニューの内容、イメージ

1 事業の対象

- (1) 林業に従事及び就業に必要な資格取得に係る経費
- (2) 研修(林業経営、機械作業、伐採作業など)受講に係る経費

2 補助対象者

- (1) 東近江市に住所を有する者
- (2) 東近江市に住所又は事業所を有する森林組合、生産森林組合又は林業者の組織する団体

3 補助率及び上限額

経費の1/2(上限額35,000円)

事業メニューの実施事例

○チェーンソー伐木等特別教育



○重機を活用した作業道敷設研修



事業メニューの効果

- ・林業従事者及び就業者の技術向上が図れる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	研修受講に係る経費を助成			
	補助実績0件				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	研修受講に係る経費を助成			
	予算3件分				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	研修受講に係る経費を助成			

構成員 東近江市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：施業集約化促進組織支援事業

東近江市

○ 市内の私有林の所有規模は零細であり、個々の森林所有者が単独で効率的な施業を行うことが困難であるため、隣接する複数の所有者を取りまとめ、効率的及び安定的な林業経営を確立することを目的に、施業を集約化しようとする自治会等に対して支援する

事業メニューの内容、イメージ

- 1 事業の対象
 - (1) 施業集約化に向けた会議費用等
 - (2) 消耗品費
- 2 補助対象者
 - 施業集約化をしようとする自治会や林業経営体など
- 3 補助率及び上限額
 - 2,000円/ha

事業メニューの実施事例

○ 施業集約化に向けた会議①



○ 施業集約化に向けた会議②



事業メニューの効果

- ・森林経営計画の認定
- ・施業集約化に伴う搬出間伐等の実施

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事業廃止			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 東近江市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：向田川排水対策築堤事業 東近江市

- 土地利用一体型水防対策として、輪中堤を設置する
- 河川に近接する住宅地の浸水被害リスクを低減させる
- 過去の洪水規模の大雨から堤防で住宅地内を守る

事業メニューの内容、イメージ

一級河川愛知川左岸に位置するドリームハイツは、愛知川堤防と普通河川向田川が流れ込む二線堤との間に形成された低平地の住宅地であり、平成25年8月の台風18号において、住宅地の一部に浸水被害が発生した。浸水被害の状況を検証して原因の特定を行うとともに、再度の浸水を防止するため浸水対策施設を整備した。浸水対策施設は、3施設で構成

- 1 ドリームハイツ内の住宅地を囲む輪中堤防
- 2 市道を封鎖することで堤防の役割を果たす陸開(りっこう)の設置
- 3 住宅地内の内水を強制排除するための排水ポンプ施設

事業メニューの効果

【計画規模】 平成25年台風18号洪水規模
 【堤防高】 TP+96.700m
 【住宅地の地盤高】TP+95.370m
 【整備効果】
 ・計画規模程度の洪水から住宅地など保全対象を浸水から守る



平成25年台風18号

事業メニューの実施事例

1 輪中堤防



2 市道の陸開



3 排水ポンプ車



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

各構成員の進捗状況

構成員 東近江市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：集約都市形成支援事業(立地適正化計画)

東近江市

○ 都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導により集積したまちづくりへの取組を推進しようとするもの(都市再生特別措置法に基づく、立地適正化計画)

事業メニューの内容、イメージ

本市におけるコンパクトに集積したまちとは、全てを中心部のみを集約しようとするものではない。もちろん、農村部の農家等を都市部に集めようというものでもなく、農業に従事する方が農村集落に居住し続けるのは当然のことである。

ここでは、たとえ人口が減少しても持続可能なまちの機能を維持することを目的とし、集落と拠点をつなぎ、拠点間では互いに不足する機能を補完し合う多極ネットワーク型の東近江市版コンパクトシティの形成を目指そうとするもの。

拠点性の高い八日市地域に「都市拠点」、能登川地域に「副次都市拠点」、各支所、コミュニティセンター等を中心に「地域拠点」、「コミュニティ拠点」を設定し、公共交通等により地域拠点から都市拠点・副次都市拠点へとつながる多極ネットワーク型の都市構造の構築・維持を目指す。



図：東近江市 将来都市構造図

事業メニューの効果

- ・人口が減少しても持続可能なまちの機能を維持する。
- ・公共交通等により地域拠点から都市拠点・副次都市拠点へとつながる多極ネットワーク型の都市構造の構築・維持をする。

事業メニューの実施事例

- ・平成29年(2017年)3月策定

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画の適切な運用及び進行管理			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画の適切な運用及び進行管理			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	立地適正化計画の適切な運用及び進行管理 一部更新予定			

構成員 東近江市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：共助・自助の補助事業（水防資材支給、土のうステーションの設置）

東近江市

- 土のうステーションを設置し、即座に水防活動を行えるようにする。
- 自治会組織内で土のうを作成できるように、資材支給等の支援を行う。
- 短時間で局地的に降る集中豪雨などの浸水被害の軽減を図る。

事業メニューの内容、イメージ

- ・希望する自治会に対し、土のう袋や山砂等の水防資材を支給し、自主防災活動の一環として水防活動に取り組むことを支援する。
- ・希望する自治会に対し、市が購入した土のうステーションを設置する。
- ・自治会や自主防災組織に対して、出前講座にて土のう作成、土のう工法(積み土のう工法、月の輪工法など)に職員を派遣して、指導している。

事業メニューの実施事例

○山砂等の資材支給



○土のうステーションの設置状況



事業メニューの効果

- ・資材を支給することで、各自治会の水防費用の負担を軽減することができる。
- ・自治会等が主体となり自主防災活動に取り組むことができる。
- ・あらかじめ土砂を詰めた状態で土のうを備蓄しておくことで、有事に袋詰め作業や移送の負担を軽減でき、浸水対策や避難行動に十分な時間を確保することができる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	共助・自助の補助事業 土のうステーション 1箇所に設置(累計32基) 自治会向けに水防用資材(山砂、土のう袋)の支給			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	共助・自助の補助事業 土のうステーション・・・市政要望に基づき予算の範囲で設置 水防用資材(山砂、土のう袋)の支給・・・予算の範囲で支給 土のうづくり指導・・・地元からの要請があれば実施			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	共助・自助の補助事業 土のうステーション・・・市政要望に基づき予算の範囲で設置 水防用資材(山砂、土のう袋)の支給・・・予算の範囲で支給 土のうづくり指導・・・地元からの要請があれば実施			

構成員 東近江市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：河川監視カメラによる状況把握

東近江市

- 本市における水防重点箇所には市が単独で河川6箇所、道路3箇所を設置している。
- 市ホームページで一般に公開し、大雨時、早めの避難の判断材料として情報提供を行う。

事業メニューの内容、イメージ

- ◆平成27年度から河川監視カメラの設置を開始し、現在水防重点箇所である河川やアンダーパスに計9基設置している。
- ◆警戒体制時には、河川監視カメラを監視し、情報収集を行う。



◆河川監視カメラ



◆道路監視カメラ(全方位)

事業メニューの効果

- ◆警戒体制時において、従来では現場確認のパトロールにより情報収集を行っていたが、河川監視カメラを設置、監視することにより、情報をリアルタイムに、安全に入手することができ、迅速かつ効率的な対応を実現した。

事業メニューの実施事例

- ◆ ホームページ掲載画面



◆ホーム画面



◆河川(一級河川)



◆道路(アンダーパス)

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川監視カメラ 現在設置されている河川監視カメラの運用保守 令和7年度河川監視カメラ新規設置0基(累計9基) 不具合が発生した河川監視カメラを1基更新			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川監視カメラ 現在設置されている河川監視カメラの運用保守 予算の範囲内で水防重点箇所があれば新規設置予定			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川監視カメラ 現在設置されている河川監視カメラの運用保守 予算の範囲内で水防重点箇所があれば新規設置予定			

構成員 東近江市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：重要水防区域の河川パトロール

東近江市

- 重要水防区域河川について河川管理者と市で共同パトロールを行う。
- 5年間で市内全域を点検し、現状を把握する。
- 危険箇所が発見された場合、対策を講じることで災害発生時の被害を軽減する。

事業メニューの内容、イメージ

- ・洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な区域を示す重要水防区域は、その重要度によって、3つに区分されている。
- ・3つのうち最も重要とされる「特に重要な水防区域(水防上最も重要な区間)」について、河川管理者(県)と市が共同でパトロールを行う。



重要水防区域図(東近江市付近)

事業メニューの効果

- ・5年間で市内全域を点検し、現状を把握する。
- ・危険箇所が発見された場合、災害発生前に対策を講じることができる。
- ・河川管理者(県)と共同でパトロールを実施し、重要水防区域河川について共通の認識を持つことで連携強化を図る。

事業メニューの実施事例

○パトロール実施状況①



○パトロール実施状況②



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	重要水防区域の河川パトロール 河川管理者(県)と市による共同点検を実施(令和7年5月27日) ※2018-2022の5箇年で点検箇所を一巡し、再度2023-2027の5箇年で点検を実施 県水防計画に反映			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	重要水防区域の河川パトロール 河川管理者(県)と市による共同点検を実施 県水防計画に反映			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	重要水防区域の河川パトロール 河川管理者(県)と市による共同点検を実施 県水防計画に反映			

構成員 東近江市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ハザードマップ作成事業 東近江市

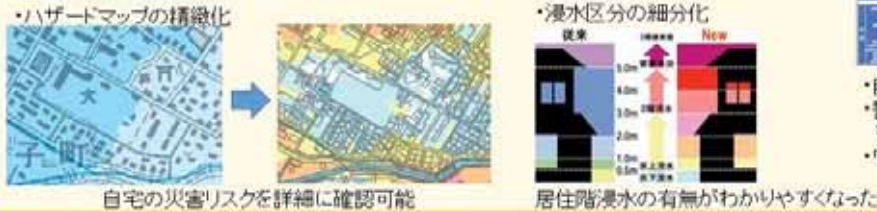
- 最新の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に対応したハザードマップを作製
- 各家庭での防災減災対策についての内容を拡充した防災マップとして市内全戸に配布
- 冊子を補完する内容を市ホームページにて公開(他言語、視覚障害者対応、町丁目別洪水ハザードマップ)

事業メニューの内容、イメージ

1 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の反映



2 より詳細な浸水深を確認



3 「我が家の防災計画」

・防災マップを順に読み進めることで、各家庭の防災計画が作成できる構成



- ・自宅の災害リスクや避難時の要配慮者の確認
- ・警戒レベルに合わせた自分や家族の避難行動を記入
- ・ワークショップ形式での出前講座の実施

事業メニューの効果

- ・最新の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に係る災害リスクを周知することができる。
- ・新しい災害想定を基に各家庭の状況に合わせた防災計画を作成し、地域全体の防災意識の向上を図ることができる。
- ・より多くの方にハザードマップ(防災マップ)を活用していただける。

事業メニューの実施事例

- 防災マップ



(令和3年5月発行)

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

構成員 東近江市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：防災マップ普及啓発事業 東近江市

- 自治会や学校での出前講座や説明動画の市ホームページへの掲載により防災マップの普及啓発を図る
- 防災マップの定期的な周知により防災への意識付けを図る

事業メニューの内容、イメージ

- ・マイ・タイムライン「我が家の防災計画」の作成方法を説明するワークショップ形式の出前講座の実施
- ・防災マップを活用した避難訓練実施の推進
- ・自治会回覧等を通じた防災マップの定期的な周知



「我が家の防災計画」



出前講座のスライド例

事業メニューの実施事例

○ 地元自治会での出前講座



○ 地元小・中・高校での出前講座



○ 防災リーダー養成講座



事業メニューの効果

- ・実際に「我が家の防災計画」を作成してもらうことで、自分事として防災について考えてもらうことができる。
- ・市ホームページや自治会回覧等を通じて周知することで、より多くの市民に啓発し、防災への意識付けを図ることができる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災マップ普及啓発事業 防災出前講座(R7.4.1-R8.1.31) 29回 防災リーダー養成講座(年4回) 受講者12名			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災マップ普及啓発事業 防災出前講座 防災リーダー養成講座			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災マップ普及啓発事業 防災出前講座 防災リーダー養成講座			

構成員 米原市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：内水氾濫対策

米原市

◆公共下水道事業（雨水幹線整備）
水路整備（醒井地区、宇賀野地区）

事業メニューの内容、イメージ

- ◆宇賀野地区
 - ・ボックスカルバート 900～1100×600
L=86.7m（整備済み）
 - ・水路工 L=22m（令和6年度整備済み）
 - ・水路工 L=30m（令和7年度実施予定）
 - ・水路工 L=45m（令和8年度実施予定）
 - ・水路工 L=63m（令和9年度実施予定）
 - ・水路工 L=45m（令和10年度実施予定）
- ◆醒井地区
 - ・水路工 L=170.0m（整備済み）
 - ・水路工 L=40.0m（整備済み）



事業メニューの実施事例

宇賀野地区水路工事（実施前）



宇賀野地区水路工事（整備後）



事業メニューの効果

降雨のピーク時に排水できる水路を整備することにより、住宅等への被害を回避した。

内水対策：計画降雨量1/10

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業（雨水幹線整備） ・米原市宇賀野地先において、水路整備工事を一部実施予定（L=30m）			
R8年度 （予定）	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業（雨水幹線整備） ・米原市宇賀野地先において、水路整備工事を一部実施予定（L=45m）			
R9年度 （予定）	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業（雨水幹線整備） ・米原市宇賀野地先において、水路整備工事を一部実施予定（L=63m）			

構成員 米原市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：内水氾濫対策

米原市

- ◆河川愛護活動事業（ふるさとの川づくり協働事業）
 - ・地域で行う河川管理事業（除草清掃、伐木・伐竹）
 - ・地域で行う河川保全事業（川ざらえ）

事業メニューの内容、イメージ

河川愛護活動（ふるさとの川づくり協働事業）とは、滋賀県、市町、住民が連携して地域を流れる河川（一級河川）の維持管理を行う事業である。

【令和7年度実績】

- ◆除草清掃
 - ・市内61団体
- ◆川ざらえ
 - ・市内3団体
- ◆伐木・伐竹
 - ・市内6団体



事業メニューの実施事例

川ざらえ
(朝日地区外2地区)



伐木・伐竹
(大清水地区外5地区)



事業メニューの効果

河川愛護活動を行うことにより、河川の流水効果の向上が図れる。

また、地域住民が積極的に参加することにより、地域の河川を地域で守り育てていく、という意識の向上につながる。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業(ふるさとの川づくり協働事業) 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会単位で実施 ◆除草清掃 市内61団体 ◆伐木・伐竹 市内6団体 ◆川ざらえ 市内3団体 参加者:延べ約5,000人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業(ふるさとの川づくり協働事業) 各自治会単位で除草作業を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業(ふるさとの川づくり協働事業) 各自治会単位で除草作業を実施予定。			

構成員 米原市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：流域の雨水貯留機能の向上

米原市

- ◆米原地区雨水洪水対策事業
 - ・米原洪水対策調整池整備
 - ・米原駅東雨水調整池整備

事業メニューの内容、イメージ

米原駅周辺

地下に2基の調整池を設置し、洪水時に雨水を調整池に流入させ、降雨のピーク後に排水ポンプで水路に排水する。

(整備内容)

- ・米原駅前雨水調整池整備事業 (調整池 734m³)
- ・米原駅東雨水調整池整備事業 (調整池 900m³)



既存集落からの排水先には国道・J Rがあることから琵琶湖側へ十分な排水ができず、洪水時、常に被害が発生する状況であったため、駅東口周辺の区画整理事業を契機に排水河川を整備するとともに、調整池の整備を合わせて行った。

事業メニューの効果

米原駅周辺

- ・内水対策：計画降雨量1/10
- ・流域面積：34.56ha

事業メニューの実事例

①米原洪水対策調整池



②米原駅東雨水調整池



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原地区雨水洪水対策事業 施設の点検、維持管理			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原地区雨水洪水対策事業 施設の点検、維持管理			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原地区雨水洪水対策事業 施設の点検、維持管理			

構成員 米原市

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：流域の雨水貯留機能の向上

米原市

- ◆長岡地区 雨水洪水対策
 - ・長岡雨水バイパス管整備事業

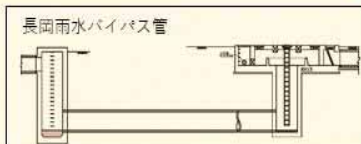
事業メニューの内容、イメージ

長岡地区

雨水バイパス管を設置し、集落の雨水を下流の河川に放流する。

- ・長岡雨水バイパス管整備事業
(φ1350 L=360m)

洪水時に天野川が増水し、集落内から流れ込む河川の排水を受け入れることができず、浸水被害が度々発生している状況であったため、整備を行った。



事業メニューの効果

長岡地区

- ・内水対策：計画降雨量1/10
- ・流域面積：27.0ha

事業メニューの実施事例

①長岡地区 (雨水バイパス管)



②長岡地区 (雨水バイパス管)



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	長岡地区雨水洪水対策 施設の点検、維持管理			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	長岡地区雨水洪水対策 施設の点検、維持管理			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	長岡地区雨水洪水対策 施設の点検、維持管理			

構成員 米原市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：水災害ハザードエリアにおける土地利用・住み方の工夫

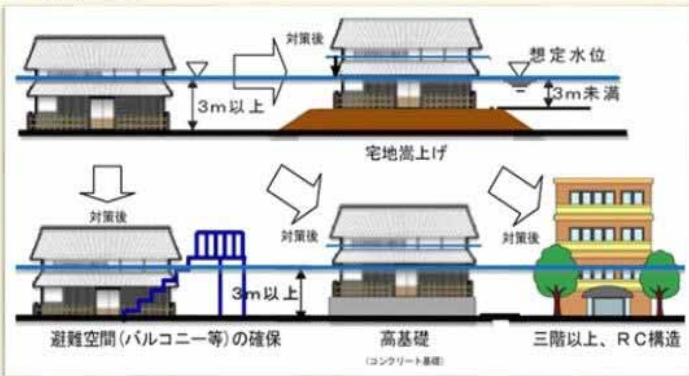
米原市

【米原市宅地嵩上げ浸水対策促進事業補助金交付要綱】

- ◆浸水警戒区域における宅地の嵩上げ工事等に対して補助金を交付します。
(令和3年度 当初予算額 1,000千円)

事業メニューの内容、イメージ

- ◆滋賀県流域治水の推進に関する条例に基づき浸水警戒区域に指定された区域内において、浸水被害を回避または軽減するために住宅所有者等が行う宅地の嵩上げ工事等に要する経費の一部を補助します。

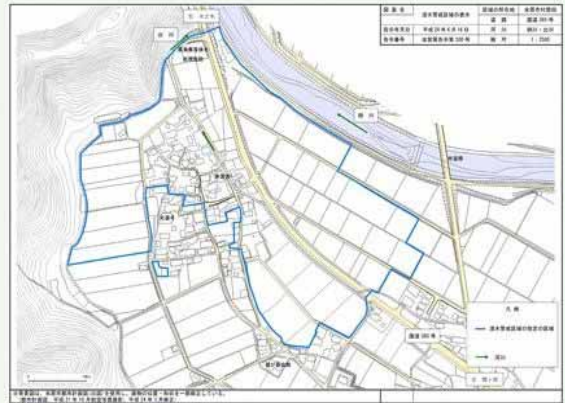


● 補助金額は、下表A、B、Cのうち最も安価なものを採用します。

	算式	金額(円)
A. 補助上限額		4,000,000
B. 標準工事費	下記の条件により算出した標準工事費×1/2 ・工法：土盛り工法(なお、嵩上げのみを実施する場合は免家を含む) ・面積：補助する建築物の建物面積の2倍 ・高さ：想定水位-2.99m-地盤高標準	想定水位および既存建物面積により算定する額
C. 申請者の見積額	※嵩上げ等に係る経費分×1/2	(見積額×1/2)

補助対象

- ◆浸水警戒区域に指定された時点で区域内に現存する建築物のうち、県条例による建築許可の基準(*)を満たさない住宅



(※)県条例による建築許可の基準

- ①県が定める想定水位以上に、居室や避難上有効な屋上がある
- ②想定水位以下の構造が鉄筋等の水に浮かない構造であるか、想定水位と基礎上面高の差が3m未満であること。

例えばこのような場合は？



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原市宅地嵩上げ浸水対策促進事業補助金交付要綱 平成30年に米原市宅地嵩上げ浸水対策促進事業補助金交付要綱を制定 令和7年度補助実績なし			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原市宅地嵩上げ浸水対策促進事業補助金交付要綱			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原市宅地嵩上げ浸水対策促進事業補助金交付要綱			

構成員 米原市

(個票)

被害対象を減少させるための対策

事業名：下水道浸水被害軽減総合事業

米原市

◆内水浸水リスクマネジメント推進事業
(雨水出水浸水想定区域図の作成、雨水管理総合計画の作成)

事業メニューの内容

近年、気候変動の影響により、全国各地で水災害が激甚化・頻発化し、今後も降雨量がさらに増大すること等が懸念されることから、令和3年度に流域治水関連法が施行されました。
同法令では、各市町において内水ハザードマップ(想定し得る最大規模の降雨に対応した雨水出水浸水想定区域を示したものの)公表のため、令和7年度までに同マップを作成することが義務付けられました。
当市においては、雨水出水浸水想定区域図の作成、雨水管理総合計画の作成を実施する予定です。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水ハザードマップの作成 浸水想定区域図作成業務委託中			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水ハザードマップの作成 内水ハザードマップの作成			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	内水ハザードマップの作成 内水ハザードマップの作成			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：洪水氾濫対策

米原市

- ◆地域への活動支援
 - ・土のう袋、砂等水防資材の自治会への配布
 - ・姉川ダム管理演習にかかる連絡体制の構築（12自治会）

事業メニューの内容、イメージ

- ◆土のう袋配布
世帯数に応じて、各自治会に土のう袋を配布。
- ◆姉川ダム管理演習の連絡体制
ダム放流時における関係機関への通知やサイレン等を鳴らし、管理演習を行う。



事業メニューの実施事例

- ◆姉川ダム施設地元確認作業



事業メニューの効果

- ◆土のう袋配布
各自治会に土のう袋を配布し、水害に強いまちづくりに努めている。
- ◆姉川ダム管理演習の連絡体制
関係機関への連絡やダム管理に対する関係住民への理解等を深める。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域への活動支援 ◆土のう袋配布 依頼のあった10自治会に1,350袋 配布 ◆姉川ダム管理演習 令和7年5月21日に米原市曲谷地区から伊吹地区間の姉川沿いについてスピーカ放送とサイレンを鳴らして管理演習を実施			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域への活動支援 ◆土のう袋配布 依頼のあった自治会に順次配布を行う予定 ◆姉川ダム管理演習 姉川ダム管理事務所主導のもと管理演習を実施予定			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地域への活動支援 ◆土のう袋配布 依頼のあった自治会に順次配布を行う予定 ◆姉川ダム管理演習 姉川ダム管理事務所主導のもと管理演習を実施予定			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：洪水氾濫対策

米原市

◆独立行政法人水資源機構および入江干拓土地改良区との3者による情報交換会を実施

事業メニューの内容、イメージ

令和7年6月に市、独立行政法人水資源機構、入江干拓土地改良区、その他関係行政機関と連絡会を実施。併せて、大雨時の内水排除やポンプ室等について、当機構および改良区により説明を受けて理解を深める。



事業メニューの実施事例

説明文や図表を挿入



事業メニューの効果

連絡会では、内水排除操作時の情報伝達手段に関する事、その他施設内の見学を実施しました。

市広報誌に独立行政法人水資源機構の内水排除に関する記事を掲載し、市民に当施設の役割について理解を深めていただきました。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	独立行政法人水資源機構、入江干拓土地改良区、その他関係行政機関による情報交換 令和7年6月18日に情報交換会を実施済み			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	独立行政法人水資源機構、入江干拓土地改良区、その他関係行政機関による情報交換			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	独立行政法人水資源機構、入江干拓土地改良区、その他関係行政機関による情報交換			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：洪水氾濫対策

米原市

- ◆河川監視カメラの整備
 - ・米原市独自のカメラ整備（一級河川丹生川・一級河川出川）
 - ・滋賀県が設置する河川カメラでの情報共有化

事業メニューの内容、イメージ

- ◆河川監視カメラ整備（独自）

米原市内に4か所カメラを設置

- ◆滋賀県との情報共有

滋賀県が設置する河川監視カメラの映像共有



事業メニューの効果

- ◆河川監視カメラ整備（独自）
市内4ヶ所に、河川専用の監視カメラを設置し、水位等に注意し緊急時の備えとしている。

- ◆滋賀県との情報共有
情報共有を行うことで、より多くの情報から河川現状を把握できる。



事業メニューの実施事例

- ◆河川の状況



- ◆河川監視カメラの映像



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川監視カメラの整備			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川監視カメラの整備			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川監視カメラの整備			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

- 防災ハザードマップの更新
- 地域防災計画の更新

事業メニューの内容、イメージ

- 防災ハザードマップの更新
最新のハザード情報を反映した防災ハザードマップの更新を行う。
外国人や子供にも分かりやすく伝わるよう、多言語版および子ども版のハザードマップを作成する。
- 地域防災計画の更新
能登半島地震をはじめ、近年発生した各種自然災害の教訓や課題を踏まえ、地域防災計画の見直しを行う。



事業メニューの実施事例



写真は令和3年に改定した米原市の防災ハザードマップ

事業メニューの効果

- 防災ハザードマップの更新
最新のハザード情報を反映した防災ハザードマップを整備することにより、市民が自らの居住地や生活圏における災害リスクを正確に把握でき、早期避難や適切な避難行動につながる。
- 地域防災計画の更新
能登半島地震をはじめとする近年の災害の教訓や課題を地域防災計画に反映することで、実効性の高い災害対応体制を構築でき、発災時の被害軽減および迅速な応急・復旧対応につながる。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	実施内容	防災ハザードマップ・地域防災計画の更新			
		防災ハザードマップ・地域防災計画の業務委託中			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災ハザードマップ・地域防災計画の更新			
		防災ハザードマップ・地域防災計画の業務委託中			
		防災ハザードマップの全戸配布			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災ハザードマップ・地域防災計画の更新			
		防災ハザードマップ・地域防災計画の周知			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

◆避難時の対策および支援

- ・避難支援プラン（個別計画）の作成および避難訓練
- ・長浜養護学校と災害時における協定の締結
- ・市内中学校の生徒による避難所運営、炊き出し訓練
- ・要配慮者利用施設の避難確保対策

●避難支援プラン（個別計画）の作成および避難訓練

○避難行動要支援者の名簿登録および避難支援プランの作成

- ・R1～6年度 要支援者名簿に記載のある全ての自治会において、個別計画の作成を推進
- ・市の作成支援体制
 - ①地域担当職員制度による作成支援（人的支援）
 - ②がんばる自治会への応援（自治会交付金の加算）

○要支援者対応型訓練の推進

- ・避難支援プランの活用（訓練を通じて「つながり」づくり）
- ・障がい者【先進事例】（重度の方の避難訓練→「課題・気づき」→「改善・対策」→「安心」



▲近所の高齢者を車で送り、公民館へ避難



↑ 車いすの方の訓練
← 人工呼吸器の方の訓練の様子



【地域ぐるみの避難行動】災害への備えは、住民同士の支えあい・助け合いが重要！

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難時の対策および支援 ・個別計画の作成を推進。（計画作成対象となる100自治会中83自治会で個別計画を作成済）			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難時の対策および支援 ・個別計画の作成を推進。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難時の対策および支援 ・個別計画の作成を推進。			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市⑩

●長浜養護学校と災害時における協定の締結

- 協定相手：長浜養護学校
- 協定日：令和元年10月31日
- 協定概要：「災害時における福祉避難所としての利用に関する協定」



・長浜養護学校を米原市の福祉避難所（市内8か所目）に位置づけ、風水害等の大規模災害が発生した際、避難に支援を要する市民（要配慮者等）の受け入れや、避難生活等の支援を円滑に実施するため、設備、人材、物資の確保に協力いただきます。

●柏原中学校の全校生徒による避難所運営・炊き出し訓練



※米原市総合防災訓練に柏原中学校生徒と一緒に訓練を実施

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難対策等の強化 ・地域の防災訓練等の支援を実施			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難対策等の強化 ・随時、地域の防災訓練等の支援を行う。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難対策等の強化 ・随時、地域の防災訓練等の支援を行う。			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

●要配慮者利用施設の避難確保対策について

○避難確保計画策定の取組経過

- ・H30年度「ワークスさかた」をモデル施設として、計画の作成支援を実施
- ・R1、R2年度
 - ①庁内関係課の連携により、市としての推進方針の共通認識を図る。
 - ②各担当課を通じて、要配慮者施設にアプローチ（事例の情報提供、作成支援等）

○市の地域防災計画への位置づけ（対象施設の見直し）

- ①琵琶湖、姉川、天野川の洪水浸水想定の変更
(1/200→想定最大規模)
- ②保育園、認定こども園、幼稚園、学校等の施設を追加

年度	対象施設数	避難確保計画作成済施設数
R7(2025)	81	77施設



保育園での水害避難訓練の様子
(保護者の方への引き渡し避難)

【作成のポイント】各施設の既存計画（非常時対応）への追記による計画づくりを推奨

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	要配慮者利用施設の避難確保対策について ・各担当課を通じて、対象施設にアプローチを実施 (避難確保計画 対象施設数81施設中77施設作成済)			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	要配慮者利用施設の避難確保対策について ・各担当課を通じて、対象施設にアプローチを実施			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	要配慮者利用施設の避難確保対策について ・各担当課を通じて、対象施設にアプローチを実施			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

- ◆米原市における災害時の活動支援事業
 - ・ドローンを利用した災害支援活動、市民参加型の災害訓練
 - ・電気自動車を活用した「災害連携協定」の締結
 - ・コロナ禍における避難所の感染対策の強化
 - ・運送車両提供に関する「災害連携協定」の締結

●ドローンを活用した災害状況の確認および災害訓練

○市内のドローン利活用団体との協定

市内の団体と、ドローンによる災害時の情報収集活動の協定締結を行った。災害発生時、ドローンを活用することで、被害現場の上空写真や動画を撮影でき、迅速な情報収集が可能である。また危険な現場に情報収集担当者が最接近する必要がなく、二次災害防止にもつながる。

○ドローンを活用した災害訓練

ドローン5基を導入し、市災害対策本部に上空偵察班を設置。消防等の関係機関やドローン利活用団体と合同訓練を実施することで、非常時のための準備を行っている。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原市における災害時の活動支援事業			
		●市総合防災訓練 ・ドローンを活用した上空偵察訓練を実施 ・運送車両提供に関する「災害連携協定」に基づき、災害時の運送車両の受け渡し・物資運搬の訓練を実施			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原市における災害時の活動支援事業			
		引続きドローンを活用した上空偵察訓練を実施していく。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	米原市における災害時の活動支援事業			
		引続きドローンを活用した上空偵察訓練を実施していく。			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

●電気自動車を活用した「災害連携協定」の締結

- 協定相手：日産自動車(株)・滋賀日産自動車(株)
- 協 定 日：令和2年9月24日
- 協定概要：「災害時の電力供給の確保」
- ・米原市では、新たに公用車として電気自動車(EV)を導入し、災害で停電が発生した際、災害連携協定により、市が指定する避難所に、「日産リーフ」の貸与協力を受け、災害時において電力供給ができる体制を整え、避難所の円滑な運営を図ります。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難対策等の強化			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難対策等の強化 検討中			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	避難対策等の強化 検討中			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

●運送車両提供に関する「災害連携協定」の締結

- 協定相手：(株)トヨタレンタリース滋賀
- 協 定 日：令和3年6月29日
- 協定概要：「災害時の運送車両の確保、提供」

・米原市内で災害が発生したとき、または発生する恐れがあるときに、(株)トヨタレンタリース滋賀が所有する運送車両を提供するもので、災害時における物資等の運搬に必要な車両や要支援者の避難に必要な車いす仕様の福祉車両の調達を行えることで、避難体制の強化を図ります。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害連携協定」の締結			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害連携協定」の締結			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害連携協定」の締結			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

●生活物資供給および駐車場の一部使用に関する「災害連携協定」の締結

- 協定相手：ゲンキー株式会社
- 協定日：令和7年1月31日
- 協定概要：「災害時における生活物資供給および駐車場の一部使用」

・米原市では、災害が発生した場合に備え、ゲンキー株式会社と「災害時における生活物資供給および駐車場の一部使用に関する協定」を締結しています。本協定に基づき、災害時には市内のゲンキー店舗において、食料品や日用品などの生活物資の供給協力を受けるとともに、駐車場の一部を避難者支援等のために使用させていただきます。

●損害調査結果の提供および利用に関する「災害連携協定」の締結

- 協定相手：三井住友海上火災保険株式会社
- 協定日：令和7年5月27日
- 協定概要：「損害調査結果の提供および利用」

・米原市では、災害により被災した住民が早期に生活再建できるよう、三井住友海上火災保険株式会社と協定を締結しています。本協定に基づき、同社が実施する損害調査結果の提供およびその活用を通じて、住家被害認定調査の円滑化や被災者支援の迅速化を図るほか、住家被害認定調査に関する研修の実施など、人材育成・体制強化にも連携して取り組みます。



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害連携協定」の締結			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害連携協定」の締結 ホテル等宿泊施設との連携協定締結			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	「災害連携協定」の締結 ホテル等宿泊施設との連携協定締結			

構成員 米原市

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：避難体制等の強化

米原市

●気象防災ワークショップ（風水害編）

- 開催日：令和6年1月22日（月）
- 参加者：市災害対策本部の班員 30人程度
- 講師：彦根地方気象台（地域防災官、防災気象官他）
 - ・顔の見える関係づくり（米原市×気象庁 連携強化）
 - ・防災気象情報の活用（雨雲の動き、雨量・時間予測など）
 - ・市職員の災害対応力の強化（的確な避難判断・対策等）
 - ・災害対策本部ワークショップによる訓練



●電力会社への視察

- ・顔の見える関係づくり（連携強化）
- ・市職員の災害対応力の強化（的確な避難判断・対策等）



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ワークショップの開催、各種視察			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ワークショップの開催、各種視察 災害時に連携が必要となる事業者との連携強化を図る。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ワークショップの開催、各種視察 災害時に連携が必要となる事業者との連携強化を図る。			

構成員 米原市

(個票)

グリーンインフラの取組

事業名：天野川ビワマス遡上プロジェクト会議

米原市

◆生物多様性の保全等を進めるためのモデル事業として「米原市天野川ビワマス遡上プロジェクト会議」を発足

事業メニューの内容

【米原市天野川ビワマス遡上プロジェクト(平成28年度～平成29年度)】

- 第1目標 天野川にビワマスが遡上し、繁殖できる環境をつくる(天野川丹生川合流点までのビワマスの遡上)
- 第2目標 市民とともに、ビワマスを活かしたまちづくりを展開する

米原市ビワマスまちづくりプラン

1 市民ビワマス見守りプロジェクト

活動内容

- (1) 本格魚道の維持管理
- (2) 簡易魚道の設置
- (3) ビワマス観察会の開催(密漁監視体制)
- (4) ビワマス自然繁殖のアシスト
- (5) その他(ビワマス料理研究)

中核事業



H24.9 簡易魚道設置



天野川岩盤地先 本格魚道

2 ビワマスもっと知ろうよプロジェクト

活動内容

- (1) まいばらビワマスストーリー
- (2) テレビ等でのビワマス情報の発信
- (3) ビワマス冷蔵庫ふ化実験
- (4) 小学校でのビワマスふ化実験
- (5) 公共施設でのビワマスふ化実験

中核事業



H24.9 簡易魚道設置



H24.9 簡易魚道設置

3 ビワマスの美味しさ伝えようプロジェクト

活動内容

- (1) ビワマス取扱店舗数の拡大
- (2) ビワマス特産品の開発
- (3) ビワマスブランド化の推進(A級グルメまいばらビワマス)

中核事業



ビワマスのお刺身



びわマスバーガー

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事業としては終了			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事業としては終了			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	事業としては終了			

構成員 日野町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：公共下水道事業 雨水排水対策

日野町

- 市街化区域の雨水排水整備を行い、浸水エリアの解消を図る
- 時間最大雨量50mmの降雨に対応できる排水施設を確保
- 事業主体：日野町

事業メニューの内容、イメージ

浸水のないまちづくりが地域の安心とにぎわいを支える



事業メニューの実施事例



雨水対策で改良された水路

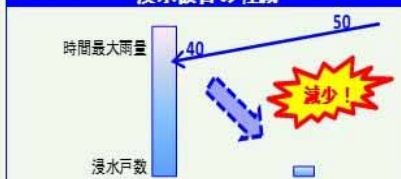
事業メニューの効果

平成25年8月の台風により時間40mmの降雨により多数の建物浸水が発生したことから、雨水排水整備を行うことで、時間最大雨量50mmの降雨に対応し、建物浸水の発生を防止する。

浸水被害の軽減



浸水被害の軽減



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業 雨水排水対策 下流地域から継続的に整備区域を延長する。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業 雨水排水対策 下流地域から継続的に整備区域を延長する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	公共下水道事業 雨水排水対策 下流地域から継続的に整備区域を延長する。			

構成員 日野町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動事業

日野町

- 河川の維持管理について、地域住民による愛護活動を支援し、地域住民との協働を推進・活性化する。
- 自治会等が行う、河川の除草、川ざらえ、竹林伐採の活動に対して、費用を助成する。
- 町内河川29河川、面積664千㎡で実施。参加団体55団体、参加地域人口 3,300人

事業メニューの内容、イメージ

- ・ 除草
人力除草工、ハンドガイト式機械除草、重機による機械除草
- ・ 川ざらえ
重機による堆積土砂の浚渫、河床整正
- ・ 竹林伐採
河川法面の竹林伐採
- ・ 一級河川においては、県より町を介して自治会等に委託し、費用を助成。その他の河川には町から費用を助成。

事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- ・ 除草は、町内の河川 29河川で実施。
面積は664千㎡、参加地域住民3,300人。
(令和7年度実績)
- ・ 川ざらえは、町内の河川 14河川で実施。
参加団体18団体、
(令和7年度実績)
- ・ 竹林伐採は、町内の河川
(令和7年度は実施地区無)

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業 河川の維持管理について、地域住民による愛護活動を支援し、自治会等が行う、河川の除草、川ざらえ、竹林伐採の活動に対して、費用を助成する。 町内河川29河川、面積664千㎡で実施。参加団体55団体、参加地域人口 3,300人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業 河川の維持管理について、地域住民による愛護活動を支援し、自治会等が行う、河川の除草、川ざらえ、竹林伐採の活動に対して、費用を助成する。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護活動事業 河川の維持管理について、地域住民による愛護活動を支援し、自治会等が行う、河川の除草、川ざらえ、竹林伐採の活動に対して、費用を助成する。			

構成員 日野町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

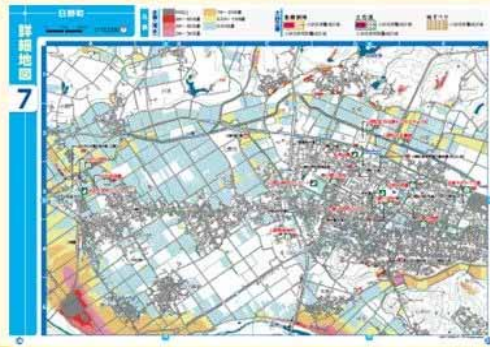
事業名：防災マップの作成

日野町

○ 風水害の自然災害への備えや対策、浸水想定区域図、土砂災害警戒区域図などの情報を盛り込み、防災マップの作成を行った。

事業メニューの内容、イメージ

- ・国、滋賀県が作成・公表した浸水想定区域図、地先の安全度マップ、土砂災害警戒区域などのデータを防災マップに反映し、自主防災体制の充実を図る。



事業メニューの実施事例

令和3年度に全戸配布



事業メニューの効果等

- ・防災マップを避難行動に直結する効果的なものとするため、「防災避難地図」として活用することができる。
- ・緊急時に備え家庭間での話し合う資料としての活用

避難場所や経路を再確認



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災マップの作成 防災知識の普及啓発に使用。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災マップの作成 防災知識の普及啓発に使用。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災マップの作成 防災知識の普及啓発に使用。			

構成員 竜王町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動事業

竜王町

- 河川の維持管理について、地域住民による愛護活動を支援し、地域住民との協働を推進・活性化する。
- 自治会等が行う、一級河川の除草、川ざらえの活動に対して、県より市町を介して委託し費用助成する。
- 町内一級河川全14河川で実施。

事業メニューの内容、イメージ

- ・ 除草
 - 人力除草工(肩掛け式草刈り機)
 - ハンドガイド式機械除草工(自走式草刈り機)
 - 重機による機械除草工(バックホウ取付型草刈り機)
- ・ 川ざらえ
 - 小型重機+小型トラックによる堆積土砂の浚渫作業
- ・ 県より市町を介して自治会等に委託し、費用助成する。

事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- ・ 地域との協働による河川の維持管理により、水害被害を未然に防止するとともに環境美化を図る。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による町内河川(一級河川等)の除草作業 地域の河川(一級河川等)の除草、川ざらえ(浚渫)を地元自治会単位で実施。 除草 年間実施数:31自治会等、参加者:延べ2,700人 川ざらえ 年間実施数:7自治会等			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による町内河川(一級河川等)の除草作業 R8年度以降、毎年各自治会単位で除草、川ざらえ(浚渫)を実施予定。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による町内河川(一級河川等)の除草作業 R8年度以降、毎年各自治会単位で除草、川ざらえ(浚渫)を実施予定。			

構成員 竜王町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：農地維持（水路の泥上げ）事業

竜王町

- 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援
- 水路の泥上げを行うことにより、通水能力を維持
- 地域住民などで構成させる活動組織に対して、交付金を交付

事業メニューの内容、イメージ



農地維持支払
 ・多面的機能を支える共同活動を支援
 ※担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押し。
 支援対象
 農地法面の草刈り 水路の泥上げ

事業メニューの実施事例



水路の泥上げ



事業メニューの効果

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進。また、これにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮される。

交付単価（円/10 a）

	農地維持支払	資源向上支払（共同）				資源向上支払 [※] （施設の長寿命化） [上級単価]
		標準型	環境保全型	防災減災型	生態系保全型	
田	2,200	1,300	1,800	1,800	1,800	4,400
畑	1,500	800	1,080	800	800	2,000
草地	180	120	180	120	120	400

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地元団体等による町内河川・水路の維持管理作業 地元地域を流れる河川・水路の泥上げ作業を地元団体単位で実施。 年間実施数：26団体			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地元団体等による町内河川・水路の維持管理作業 R8年度以降、毎年各地元団体単位で泥上げ作業を実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	地元団体等による町内河川・水路の維持管理作業 R8年度以降、毎年各地元団体単位で泥上げ作業を実施予定。			

構成員 竜王町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：竜王町洪水・土砂災害ハザードマップ作成業務

竜王町

- 滋賀県の地先の安全度マップと日野川浸水想定区域図を反映した洪水・土砂災害ハザードマップを作成し、全戸に配布することにより、防災意識の向上および自主防災組織の活性化等を図る。

事業メニューの内容、イメージ



A1 表面に防災啓発等、裏面にハザードマップを掲載。

事業メニューの実施事例

自主防災組織による避難訓練



竜王町総合防災訓練



事業メニューの効果

ハザードマップを全戸に配布することで、各家庭や地域の災害リスクを知り、防災意識の向上につなげることができる。また、自主防災組織等における避難ルートの作成や防災訓練に活用することができる。

A1 サイズ一面を全体地図とすることで避難想定等に活用しやすい。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 令和7年度末に更新される滋賀県地先の安全度マップおよび洪水浸水想定区域図に対応したハザードマップを令和8年度に作成するため、交付金の申請などを実施。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 令和7年度末に更新される滋賀県地先の安全度マップおよび洪水浸水想定区域図に対応したハザードマップを作成、町内全戸に配布および町ホームページで公開予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 令和8年度に町ホームページに公表するとともに全戸に配布済			

構成員 竜王町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ため池ハザードマップ作製事業

竜王町

- ため池の決壊等により下流域に大きな影響を及ぼす防災重点ため池についてハザードマップを作成
- ため池が有する多面的な機能の一つとして洪水調整機能を発揮
- 防災訓練や災害学習などに活用することにより地域の危険度や課題を整理し避難計画へ反映できる。

事業メニューの内容、イメージ

①作成目的の整理

作成目的の整理、作成範囲の検討

②対象災害の選定

対象災害の選定、想定被害形態の検討

③浸水想定区域の検討

災害規模や条件の設定、被害予測の検討

④記載内容の選定

基図の選定、ため池情報、避難活用情報等

⑤表現方法の検討

表現方法の決定、データ入力

⑥運用と活用

周知、記載内容の更新、地域防災計画への反映等

事業メニューの効果

ため池ハザードマップを整備・活用することにより、災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図ることができるほか、作成の過程で住民自身が地域の危険箇所を知ることができたり、あるいは災害時の対処方法を検討することで、日頃の防災意識を高めることに役立ちます。



事業メニューの実施事例



マップの情報



浸水想定

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ作成事業 (R2年度)防災重点ため池の決壊に対応したハザードマップの作成。 作成ため池数28／対象ため池数28 (R3年度)対象地域全戸に配布。町ホームページで公開。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容				

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：竜王町内水監視システム（IoT水位センサー）設置事業

竜王町

○ 小型IoT水位センサーを町内の中小河川9箇所に設置し活用

事業メニューの内容、イメージ

水位センサーおよびWebアプリを活用し、河川の水位状況をリアルタイム・リモートで把握することにより、情報収集の迅速化による適切な避難情報の発令、浸水被害の軽減、水位データの利活用、災害時パトロールの軽減による災害対応リソースの確保を目的に令和4年度に町内の中小河川9箇所に水位センサー（超音波式）を設置・Webアプリの構築を行った。



事業メニューの実施事例

令和5年度には実際に台風第2号(梅雨前線による大雨)の際に活用した。リアルタイムに内水の水位を監視することができ、非常に有用であった。

設置状況 中津井川 弓削(下別当橋)



事業メニューの効果

中小河川の水位をリアルタイム・リモートで把握できるようになったことから、水位状況を迅速に収集できるようになった。リモートで詳細な水位を確認できることから、災害時のパトロールの回数を減らすこともでき、職員の安全対策、災害対応リソースの確保できる効果がある。

Webアプリでは、一見して各水位を確認することができる↓



年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	(令和4年度)小型IoT水位センサーを町内9箇所に設置 (令和5年度以降)設置した水位センサーの保守、点検			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	小型IoT水位センサーの保守および点検			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	小型IoT水位センサーの保守および点検			

構成員 竜王町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：竜王町防災士育成事業

竜王町

○ 地域(自治会)から推薦された方を対象に防災士試験に係る費用を負担し、地域で活躍してもらう防災士を育成する。

事業メニューの内容、イメージ

自主防災組織の取り組みは自治会ごとに組織され、自主防災訓練をはじめとして、地域防災力の要となる取組を行っているが、自治会長が自主防災組織の長としている組織も多く、役員改選などで早年の取組みで終結することが多い。このことから、地域に根差した防災士を育成することで、地域における中心的な防災の取組みを行ってもらい、継続的に取り組んでもらうことで、地域防災力の向上を目指す。



事業メニューの実施事例

令和6年度には2名、令和7年度には6名の防災士試験に係る費用を負担し、防災士取得を支援。

事業メニューの効果

防災士は、企業や地域など様々な分野で資格を取得し、活躍されているが、地域防災力の向上においては、地域に根差した防災士を育成することが肝要であり、地域(自治会)からの推薦された方を対象として防災士試験の取得を支援することで、防災士取得後は、地域で活躍してもらえることが期待できる。
防災士取得後は地域における中心的な防災の取組みを行ってもらい、継続的に取り組んでもらうことで、地域防災力を向上させる効果が期待できる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災士育成事業 自治会から推薦された5名の方の防災士取得を支援			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災士育成事業 自治会から推薦された方の防災士取得を支援			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	防災士育成事業 自治会から推薦された方の防災士取得を支援			

構成員 愛荘町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護事業

愛荘町

- 自治会が町内一級・普通河川内で除草、川ざらえ等を行う
- 河川を常に美しく保ち水害防止と、住民が安心・安全に利用できる河川作り
- 自治会に対して、滋賀県、愛荘町より予算の範囲内で補助金を交付

事業メニューの内容、イメージ

愛荘町では、自治会が行う河川の維持管理に対して、滋賀県からの補助金とあわせて自治会に交付しています。

《補助対象作業》

- ① 堤防に生じる雑草の刈り取り
- ② 河川敷地内の損害竹木の除却
- ③ 堤防のゴミくず等の除却および河川敷地内の清掃

事業メニューの効果

台風発生等の出水期に備え、町内一級・普通河川内で住民の安心・安全な利用、水害対策並びに河川美化を目的とした除草、川ざらえ等の作業により、災害を未然に防ぐ事ができます。また、生命・財産を守り、住環境の安定につながられます。

事業メニューの実施事例





年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業 草刈り 一級河川 27自治会(普通河川 重複含む) 204,089㎡ 普通河川のみ 5自治会 60,495㎡ 浚渫(川ざらえ) 1自治会			
R8年度 予定	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業 町内一級・普通河川での除草、川ざらえ等を地元自治会単位で実施予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業 町内一級・普通河川での除草、川ざらえ等を地元自治会単位で実施予定。			

構成員 愛荘町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ハザードマップ更新事業	愛荘町
<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年度実施事業 ○ 滋賀県地先の安全度マップの更新に伴い、町内ハザードマップの更新を行うもの ○ 全戸配付の実施により、住民の防災意識の醸成 ○ 1級河川愛知川および宇曾川における最大浸水想定について、別添資料として追加 	
<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">事業メニューの内容、イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年12月に作成した愛荘町防災ガイドブックを最新版に更新する。 ・滋賀県地先の安全度マップの更新に伴い、居住地域の浸水想定や土砂災害警戒情報を提供する。 ・避難経路の確認や災害に対する備え、備蓄等の情報を提供する。 ・全戸配付の実施に出前講座や自主防災組織等で活用する。 	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">事業メニューの実施事例</p> <div style="text-align: center;">  <p>愛荘町防災ガイドブック (令和3年3月改訂) 抜粋</p> </div> 
<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">事業メニューの効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に愛荘町防災ガイドブックの掲載内容について、滋賀県地先の安全度マップの更新等を反映し、最新版（令和3年3月改訂）に更新した。 ・居住地域の浸水想定や土砂災害警戒情報を提供することにより、有事の際に適切な判断および避難行動につながる。 ・避難経路の確認や災害に対する備え、備蓄等の防災意識の向上につながる。 ・出前講座や自主防災組織等での活用により、地域における防災意識の向上や防災に対する備えにつながる。 	

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ更新事業 令和2年度に実施済み。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ更新事業 令和2年度に実施済み。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ更新事業 令和2年度に実施済み。 ハザードマップ更新予定。			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：多面的機能支払交付金事業

豊郷町

- 集落ぐるみで行う農地や水路の維持管理など保全活動を支援
- 「洪水防止機能」「河川流況安定機能」など、農業・農村の有する多面的機能の維持・増進を図る
- 活動を実施する組織に対して、活動面積に応じて交付金を交付

事業メニューの内容、イメージ

1. 世代をつなぐ農村まると保全向上対策の構成

農地維持支払交付金と農道向上支払交付金から構成されます。

農地維持支払交付金

多面的機能を支える民間活動を支援します。

支援対象

- ・農地活用の早回り、水路の泥上げ、農道の遊歩維持などの基礎的保全活動
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理機能の育成 など

農道向上支払交付金

地域資源（農地、水路、農道など）の質的向上を図る民間活動を支援します。

支援対象

- ・歩道、農道、ため池の簡単な補修
- ・農業従事者の高齢化対策、生活者の誘導
- ・農道の長寿化のための活動 など

2. 交付単価

事業メニュー	農地維持支払交付金		農道向上支払交付金	
	単価	面積	単価	面積
農地維持支払交付金	1,000円	100㎡	1,000円	100㎡
農道向上支払交付金	1,000円	100㎡	1,000円	100㎡

事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

- 農地を農地として維持する活動の実施により、農地の持つ多面的機能が維持・発揮される。
- ・土砂の流出を防ぐなどの国土の保全。
- ・川の流れを安定させる水源の涵養。
- ・生態系などの自然環境の保全。
- ・良好な景観などの形成。 etc

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落において農地の水路の維持管理など保全活動を実施していく。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落において農地の水路の維持管理など保全活動を実施していく。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	集落において農地の水路の維持管理など保全活動を実施していく。			

構成員 豊郷町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護事業

豊郷町

- 自治会等が行う市内一級河川内での草刈り、川ざらえ等の河川愛護活動事業
- 堤防等河川管理施設の機能維持を図る
- 活動を実施する自治会等に対し、交付要綱の算定基準に基づいた交付金を交付する

事業メニューの内容、イメージ

河川愛護活動・地域活動支援



事業メニューの実施事例



実施前



実施後

事業メニューの効果

治水上の観点から、県が管理する河川区域内における、土砂堆積を敷き均しすることにより、治水対策に資する。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会等で実施。 年間実施数: 5団体 参加者: 延べ303人			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内河川(一級河川等)の除草作業 地元地域を流れる河川(一級河川を含む)の除草作業を地元自治会等で実施予定。 年間実施予定数: 5団体 参加予定者: 延べ300人			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	自治会等による市内河川(一級河川等)の除草作業 R9年度以降、毎年各自治会等で除草作業を実施予定。			

構成員 豊郷町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：豊郷町総合防災マップ更新事業

豊郷町

安全安心なまちづくりの実現に向けた総合的な防災・危機管理体制の整備と充実を図るため、過年度に作成した豊郷町総合防災マップを、最新の知見に基づいた更新を行い、災害に対する日常からの備えと安全な生活環境の推進に向けたマップの作成を目的とする。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例

現在作成中の為、実施事例はありません。

事業メニューの効果

防災マップを全戸配布することで、普段から災害に対する危機意識の向上を図れる。

また災害時に、何をすべきか、何が必要なかを冷静に判断ができ、素早く避難することができるなどの効果がある。

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 最新の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に対応したハザードマップの作成中。			
R8年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ハザードマップ作成事業 最新の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に対応したハザードマップの作成中。			
R9年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	最新の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に対応したハザードマップの作成。			

構成員 甲良町

(個票)

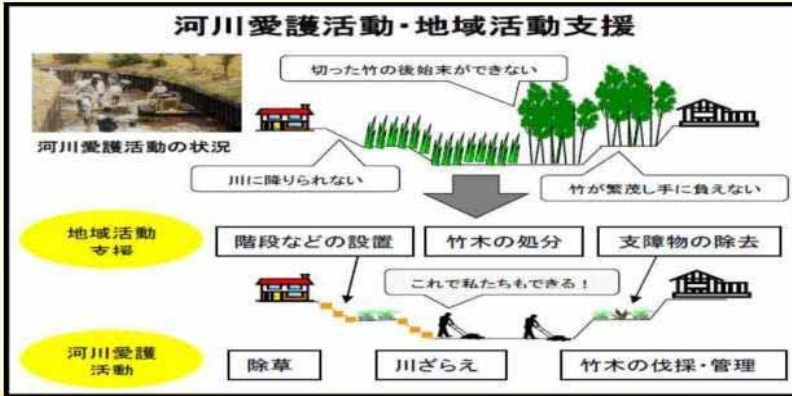
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護事業

甲良町

- 治水上の観点から、行政と地域の自主的な活動による住民等の役割分担の元、協同による河川管理を図る
- 堤防等河川管理施設の機能維持
- 町内の一級河川沿いの草刈り等作業に対して、予算の範囲内において委託料の支払いを行う。
(年間予算：298千円)

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例

作業前



作業後



事業メニューの効果

記載要領

- ・ 河川の維持管理
- ・ 堤防等河川管理施設の機能維持

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業 町内の一級河川沿いの草刈り等の作業を行った。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業 町内の一級河川沿いの草刈り等の作業に対して、予算の範囲内において委託料の支払いを行う。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業 町内の一級河川沿いの草刈り等の作業に対して、予算の範囲内において委託料の支払いを行う。			

構成員 甲良町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策

甲良町

○資源向上支払交付金(共同)に取り組んでいる活動組織は水守当番および透視度調査を毎年実施する。代かき期3回、田植え期1回を排水路溝畔の漏水で確認。透視度計で下流域1か所以上から調査。変動の確認の為に毎年同じ場所を実施。5年計画で実施。

事業メニューの内容、イメージ



事業メニューの実施事例



事業メニューの効果

①農業を行っている集落が環境保全を目的とした水質調査を定期的に行うことにより下流域の水質汚染を抑える。②水路の点検を行うことにより水路の亀裂等の劣化場所を特定し著しい水漏れ等を防ぎ、災害時の水路の氾濫等を抑え下流域の安定をはかる事ができる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 農業を行っている集落が環境保全を目的とした水質調査を定期的に行うことにより下流域の水質汚染を抑える。水路の点検を行うことにより水路の亀裂等の劣化場所を特定し著しい水漏れ等を防ぎ、災害時の水路氾濫等を抑え下流域の安定をはかる。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 農業を行っている集落が環境保全を目的とした水質調査を定期的に行うことにより下流域の水質汚染を抑える。水路の点検を行うことにより水路の亀裂等の劣化場所を特定し著しい水漏れ等を防ぎ、災害時の水路氾濫等を抑え下流域の安定をはかる。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 農業を行っている集落が環境保全を目的とした水質調査を定期的に行うことにより下流域の水質汚染を抑える。水路の点検を行うことにより水路の亀裂等の劣化場所を特定し著しい水漏れ等を防ぎ、災害時の水路氾濫等を抑え下流域の安定をはかる。			

構成員 甲良町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：甲良町総合防災マップ作成事業

甲良町

甲良町が目指す安全安心なまちづくりの実現に向けて、防災・危機管理意識の向上を図るため、平成31年3月に滋賀県が公表した犬上川の浸水想定区域図を基に洪水ハザードマップを作成し、同時に土砂災害ハザードマップ・地震ハザードマップの更新を行う。また、洪水・土砂災害・地震ハザードマップ、滋賀県が作成している地先の安全度マップすべてを一冊の冊子にし、甲良町総合防災マップとして啓発のため住民に配布する。

事業メニューの内容、イメージ

甲良町総合防災マップ
表紙（案）



事業メニューの実施事例

現在作成中のため、
実施事例はありません。

事業メニューの効果

- ・自分たちが暮らしている地域がどのような災害のリスクを有しているのかを、住民一人ひとりに認識してもらい、災害時に備えて、防災意識の向上を図る。
- ・何をすべきか、何が必要かが冷静に判断でき、いち早く避難することができる。

年度	進捗状況				
	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップ作成事業 令和3年度に甲良町総合防災マップを作成し、全戸配布を行った。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップ作成事業 令和8年度に水害部分のみ更新し、ホームページに掲載する予定。			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	総合防災マップ作成事業 令和8年度に水害部分のみ更新し、ホームページに掲載する予定。			

構成員 甲良町

(個票)

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

事業名：ため池ハザードマップ

甲良町

- ため池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深および避難活動を図る。
- ため池の貯水機能等を把握することで直接河川への流入を防ぐことができる。
- 事業実施主体:町 事業の特徴:ため池の貯水許容範囲を越えた場合の氾濫区域の想定

事業メニューの内容、イメージ



凡例

- ✕ 決壊地点
- 🏠 広域避難場所
- 🏠 一時避難場所
- 🏠 福祉施設

※避難計算において仮定したもので、必ずしもこの地点が決壊するわけではありません。
***** 氾濫水の到達時間

想定浸水区域

- 5.0m以上
- 2.0~5.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.5m未満

浸水深の目安

災害時における決壊地点等の検討を行い、浸水区域や浸水高さのシミュレーションを行う。

事業メニューの実事例



事業メニューの効果

□ ため池ハザードマップの活用方法 (急な事態に備えましょう。)

- 【1】 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。
・自分や家族などの居場所と、浸水区域や浸水深の到達時間を確認しましょう。
・緊急時には避難場所を確認し、避難所には目印をつけておきましょう。
- 【2】 避難場所を決めておきましょう。
・浸水区域や浸水深の到達時間より、どこへ避難するか決めておきましょう。
・避難経路がなかったり避難途中で浸水した場合には緊急避難できる場所も探しておきましょう。
・家族の連絡先を確認しておきましょう。
- 【3】 避難場所までの避難経路を覚えておきましょう。
・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
・避難所から浸水した場合には緊急避難できる場所を探しておきましょう。
- 【4】 日頃から家族や地域で話し合いましょう。
・浸水時に速く知らせるよう、日頃から家族や地域で連絡と話し合いましょう。
・避難時に支障がなければ避難所への連絡手段や移動方法を決めておきましょう。
- 【5】 防災情報の入手先を確認しておきましょう。
・ため池の近所が被災すると、短時間で決壊する可能性がありますので、日頃から防災情報が入り込めるよう確認しておきましょう。
- 【6】 甲良町の公表している他の防災資料もご覧ください。
・甲良町上野宮町地区浸水および防犯マップ (重点対策地域資料/防災防犯マップ) には、避難に関する詳しい情報を掲載しています。このマップと併せて活用し、急な事態に備えましょう。



年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ 令和3年度に関係集落に説明会、配布を行った。			
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ			
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	ため池ハザードマップ			

構成員 多賀町

(個票)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

事業名：河川愛護活動	多賀町
<input type="checkbox"/> 草刈および伐採作業 <input type="checkbox"/> 流下能力の確保 <input type="checkbox"/> 各自治会および各種団体	
<事業メニューの内容、イメージ> 豊かな自然とともに生きる多賀町を目指し、自然と人が共生する豊かな環境づくりを実現するため、住民参加、協働による河川保全活動を推進します。	<事業メニューの実施事例> 着工前 
<事業メニューの効果> ・環境美化が図られるとともに、流下能力の確保が保たれます。 ・地域住民コミュニティの場となり、共助の助長が促されます。 ・河川に対する愛護意識の高揚が図られます。	着工後 
	

年度	進捗状況				
R7年度	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業			
	河川(一級河川)の除草作業を地元自治会単位で実施。 年間実施数：26自治会				
R8年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業			
	R8年度以降、毎年各自治会単位で除草作業を実施予定。				
R9年度 (予定)	進捗度合	①準備段階	②実施中	③概ね完了	④完了
	実施内容	河川愛護事業			
	R9年度以降、毎年各自治会単位で除草作業を実施予定。				